

## 【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書

【提出先】 関東財務局長殿

【提出日】 2020年6月25日提出

【計算期間】 新光グローバル・ハイイールド債券ファンド米ドルコース 第19特定期間  
新光グローバル・ハイイールド債券ファンド豪ドルコース 第19特定期間  
新光グローバル・ハイイールド債券ファンドブラジルリアルコース 第19特定期間  
新光グローバル・ハイイールド債券ファンドメキシコペソコース 第14特定期間  
新光グローバル・ハイイールド債券ファンドトルコリラコース 第14特定期間  
新光グローバル・ハイイールド債券ファンドマネープールファンド 第19期  
(自 2019年9月26日至 2020年3月25日)

【ファンド名】 新光グローバル・ハイイールド債券ファンド米ドルコース  
新光グローバル・ハイイールド債券ファンド豪ドルコース  
新光グローバル・ハイイールド債券ファンドブラジルリアルコース  
新光グローバル・ハイイールド債券ファンドメキシコペソコース  
新光グローバル・ハイイールド債券ファンドトルコリラコース  
新光グローバル・ハイイールド債券ファンドマネープールファンド

【発行者名】 アセットマネジメントOne株式会社

【代表者の役職氏名】 取締役社長 菅野 暁

【本店の所在の場所】 東京都千代田区丸の内一丁目8番2号

【事務連絡者氏名】 酒井 隆

【連絡場所】 東京都千代田区丸の内一丁目8番2号

【電話番号】 03-6774-5100

【縦覧に供する場所】 該当事項はありません。

## 第一部【ファンド情報】

### 第1【ファンドの状況】

#### 1【ファンドの性格】

##### (1)【ファンドの目的及び基本的性格】

###### a. ファンドの目的及び基本的性格

###### <各通貨コース>

各ファンドは、追加型投信/海外/債券に属し、主として投資信託証券に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

###### <マネープールファンド>

当ファンドは、追加型投信/国内/債券に属し、主としてわが国の短期公社債に実質的に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行います。

委託者は、受託者と合意のうえ、各ファンドにつき金5,000億円を限度として信託金を追加することができます。

委託者は、受託者と合意のうえ、上記の限度額を変更することができます。

各ファンドは、一般社団法人投資信託協会が定める商品分類において、以下のように分類・区分されます。

#### 商品分類表

##### <各通貨コース>

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)
単位型  <b>追加型</b>	国内  <b>海外</b>  内外	株式  <b>債券</b>  不動産投信  その他資産 ( )  資産複合

(注) 各ファンドが該当する商品分類を網掛け表示しています。

## &lt;マネープールファンド&gt;

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)
単位型	国内	株式
		債券
	海外	不動産投信
追加型		その他資産 ( )
	内外	資産複合

(注) 当ファンドが該当する商品分類を網掛け表示しています。

## 商品分類の定義

## &lt;各ファンド共通&gt;

追加型投信	一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の投資信託財産とともに運用されるファンドをいう。
国内	目論見書または投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に国内の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
海外	目論見書または投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に海外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
債券	目論見書または投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に債券を源泉とする旨の記載があるものをいう。

## 属性区分表

&lt;各通貨コース&gt;

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態
株式 一般	年1回	<b>グローバル</b> <b>(除く日本)</b>	ファミリーファンド
大型株 中小型株	年2回	日本	
債券	年4回	北米	<b>ファンド・オブ・</b> <b>ファンズ</b>
一般	年6回(隔月)	欧州	
公債	<b>年12回(毎月)</b>	アジア	為替ヘッジ
社債		オセアニア	あり( )
その他債券	その他( )	なし	
クレジット属性 ( )	中南米		
不動産投信	アフリカ		
<b>その他資産</b> <b>(投資信託証券</b> <b>(債券 社債</b> <b>低格付債))</b>	中近東(中東)		エマージング
資産複合 ( )			
資産配分固定型			
資産配分変更型			

(注) 各ファンドが該当する属性区分を網掛け表示しています。

## &lt;マネープールファンド&gt;

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態
株式	年1回	グローバル	
一般			
大型株	<b>年2回</b>	<b>日本</b>	
中小型株			
	年4回	北米	
債券			
一般	年6回(隔月)	欧州	<b>ファミリーファンド</b>
公債			
社債	年12回(毎月)	アジア	
その他債券			
クレジット属性 ( )	日々	オセアニア	
	その他( )	中南米	
不動産投信		アフリカ	ファンド・オブ・ ファンズ
<b>その他資産</b>			
<b>(投資信託証券(債 券一般))</b>		中近東(中東)	
		エマージング	
資産複合 ( )			
資産配分固定型			
資産配分変更型			

(注) 当ファンドが該当する属性区分を網掛け表示しています。

## 属性区分の定義

### <各ファンド共通>

その他資産（投資信託証券（債券 社債 低格付債））	投資信託証券への投資を通じて、実質的に債券 社債（低格付債）に投資を行います。
その他資産（投資信託証券（債券 一般））	投資信託証券への投資を通じて、実質的に債券 一般に投資を行います。
年2回	目論見書または投資信託約款において、年2回決算する旨の記載があるものをいう。
年12回（毎月）	目論見書または投資信託約款において、年12回（毎月）決算する旨の記載があるものをいう。
グローバル（除く日本）	目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益が世界（除く日本）の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
日本	目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益が日本の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
ファミリーファンド	目論見書または投資信託約款において、親投資信託（ファンド・オブ・ファンズにのみ投資されるものを除く。）を投資対象として投資するものをいう。
ファンド・オブ・ファンズ	「投資信託等の運用に関する規則」第2条に規定するファンド・オブ・ファンズをいう。
為替ヘッジなし（注）	目論見書または投資信託約款において、為替のヘッジを行わない旨の記載があるものまたは為替のヘッジを行う旨の記載がないものをいう。

（注）属性区分の「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

各通貨コースはファンド・オブ・ファンズ方式、マネーボールファンドはファミリーファンド方式で運用します。このため、組み入れている資産を示す「属性区分表」の投資対象資産（その他資産（投資信託証券））と、収益の源泉となる資産を示す「商品分類表」の投資対象資産（債券）とは異なります。

商品分類および属性区分の定義については、一般社団法人投資信託協会のホームページ（<https://www.toushin.or.jp/>）をご参照ください。

## ファンドの仕組み

### <各通貨コース>

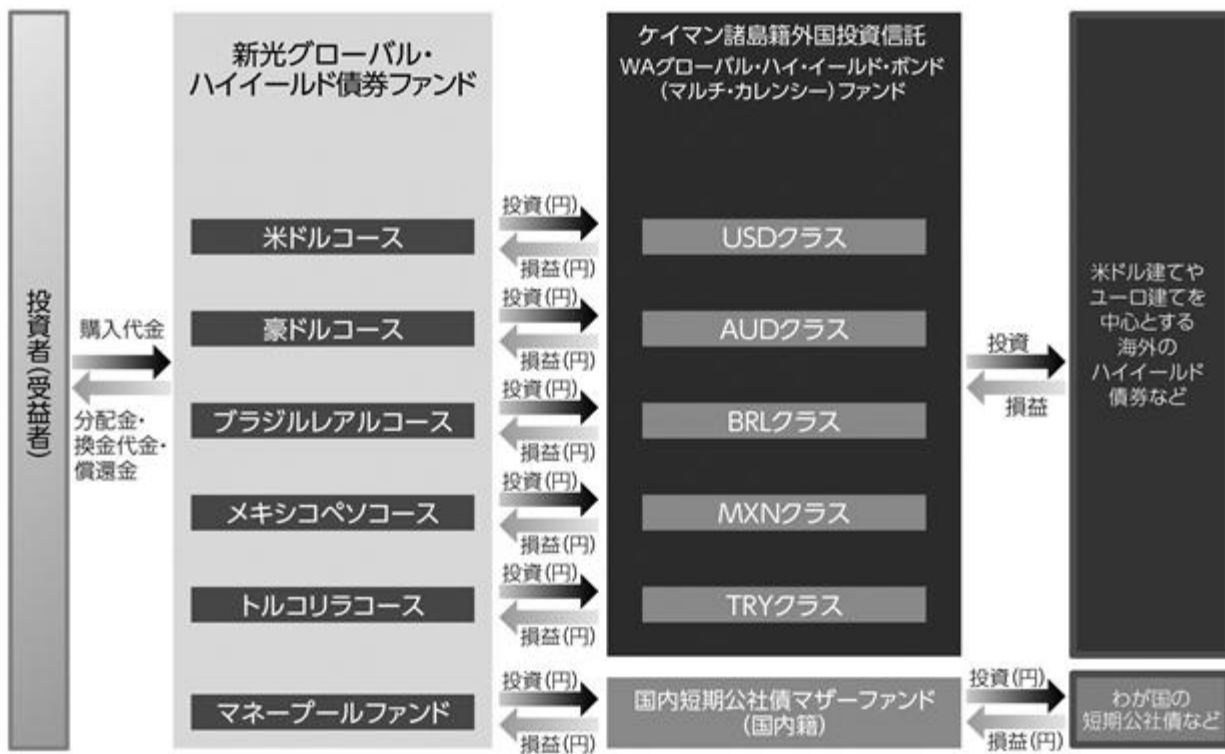
各通貨コースの運用は「ファンド・オブ・ファンズ方式」で行います。

ファンド・オブ・ファンズとは、投資信託証券への投資を目的とする投資信託のことで、一般に投資対象に選んだ複数の投資信託証券を組み入れて運用する仕組みを「ファンド・オブ・ファンズ方式」といいます。

### <マネープールファンド>

マネープールファンドの運用は「ファミリーファンド方式」で行います。

「ファミリーファンド方式」とは、投資者のみなさまからお預かりした資金をベビーファンド（当ファンド）としてとりまとめ、その資金の全部または一部をマザーファンドに投資することにより、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。マザーファンドの損益はベビーファンドに反映されます。



各通貨コースはケイマン諸島籍外国投資信託以外に国内短期公社債マザーファンドにも投資を行います。

WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドの各クラスの受益証券は円建てで発行されます。

## b. ファンドの特色

ファンドの特色をよりご理解いただくため、「新光グローバル・ハイイールド債券ファンド」を構成する他のファンドに関する記載をする場合があります。

# 1 各通貨コースは、主として海外の高利回り社債(以下「ハイイールド債券」といいます。)に実質的な投資を行い、高水準のインカムゲインの確保と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。

- 各通貨コースは、ケイマン諸島籍外国投資信託「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンド」(以下「ハイイールド・ボンド・ファンド」という場合があります。運用:ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシー)と国内投資信託「国内短期公社債マザーファンド」(運用:アセットマネジメントOne株式会社)を投資対象とするファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。

※詳しくは後述の「ウエスタン・アセットについて」および「ファンドの仕組み」をご覧ください。

- 各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市況動向などを勘案して決定するものとし、ハイイールド・ボンド・ファンドの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。

※ハイイールド・ボンド・ファンドが、償還した場合または商品の同一性が失われた場合は、委託会社は受託会社と合意のうえ投資信託契約を解約し、信託を終了させます。

※投資対象とするハイイールド・ボンド・ファンドにおいて、効率的な運用を目的として、市場金利や企業の信用状態に関連するデリバティブ取引を行う場合があります。

## 【マネープールファンド】

マネープールファンドは、国内短期公社債マザーファンド(以下「マザーファンド」という場合があります。)への投資を通じて、わが国の短期公社債に実質的に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行います。

マネープールファンドの運用は「ファミリーファンド方式」で行います。

※詳しくは後述の「ファンドの仕組み」をご覧ください。

※マザーファンドと同様の運用方針に基づき、わが国の短期公社債などに直接投資する場合があります。

※マネープールファンドは、スイッチング以外の購入のお申し込みはできません。



## 2 投資対象とする外国投資信託における為替取引の対象通貨の違いにより、6つの通貨コースとその他にマネープールファンドがあります。また、各通貨コースおよびマネープールファンド間でのスイッチングが可能です。

- 通貨コースは円コース、米ドルコース、豪ドルコース、ブラジルリアルコース、メキシコペソコース、トルコリラコースの6コースから選択できます。  
※各通貨コースの信託期間は、円コース、米ドルコース、豪ドルコース、ブラジルリアルコースが2025年9月25日まで、メキシコペソコース、トルコリラコースが2020年9月25日までとなります。信託期間が異なりますのでご注意ください。
- 各通貨コースが投資対象とする外国投資信託では、原則として投資対象資産の発行通貨を売り予約し、各通貨コースの対象通貨を買い予約する為替取引を行います。
- 円コースでは、実質的に円を買い予約する為替取引により、対円で為替ヘッジを行い為替変動リスクを軽減する運用を行います。為替変動リスクを完全に排除できるものではなく、為替変動の影響を受ける場合があります。

アセットマネジメントOneが設定・運用する特定のファンドとの間において  
スイッチングができる場合があります。

※スイッチングのお取り扱いの有無や対象ファンドなどは、販売会社により異なります。また、販売会社によっては一部のファンドのみのお取り扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社でご確認ください。



WESTERN ASSET

### ウエスタン・アセットについて

設立:1971年

本部:ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシー(米国カリフォルニア州パサデナ)

ウエスタン・アセットは、ウエスタン・アセット・マネジメント・グループを構成する世界の各運用拠点、現地法人等の総称であり、ニューヨーク証券取引所に上場する米国大手資産運用持株会社であるレグ・メイソン・インクの100%子会社です。

また、ウエスタン・アセットは、米国カリフォルニア州パサデナの米国現地法人・ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシーを本部として、その他にニューヨーク、ロンドン、東京、シンガポール、メルボルン、サンパウロに運用拠点を有する、債券(バンクローンを含む)運用に特化したグローバル運用サービスを展開する世界有数の運用会社です。

#### 【ウエスタン・アセットの強み】

世界主要国の各債券セクターに配置された運用プロフェッショナルで構成されたグローバルな運用体制を持ち、債券市場全般にわたる幅広い専門性を強みにしています。

※2020年3月末現在

## 各通貨コースの収益の源泉

### 1. ハイイールド債券への投資

- ◆各通貨コースは、海外のハイイールド債券を実質的な投資対象とすることで、高水準のインカムゲインの確保と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指します。

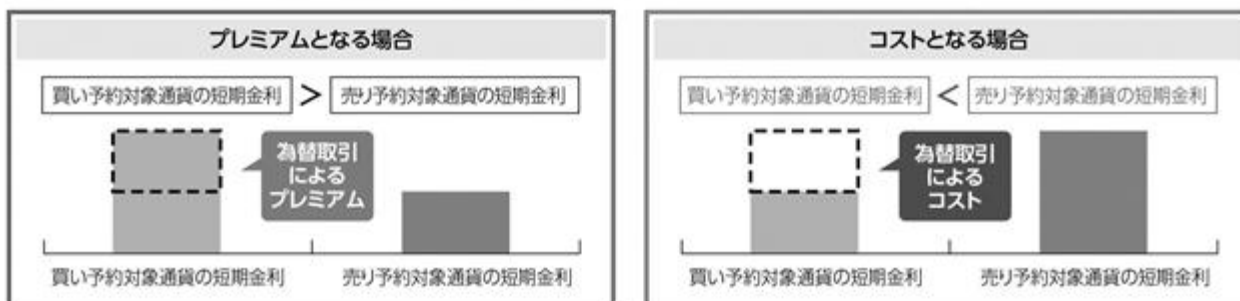
#### ハイイールド債券とは

一般に、ハイイールド債券とは、格付けがBB格相当以下の社債(企業が発行する債券)を指します。投資適格債(BBB格相当以上の債券)と比較してデフォルト(債務不履行)リスクが高くなる(信用力が低くなる)一方で、利回り水準が高いという特徴があります。また、ハイイールド債券では、発行体の信用状況の悪化や金利の上昇が価格下落要因となる一方、発行体の信用状況の改善や金利の低下は価格上昇要因となります。

※信用格付けについては、上位格に近いものにプラス、下位格に近いものにマイナスなどの表示をすることがあります。各通貨コースが主要投資対象とするハイイールド・ボンド・ファンドはBB+格相当以下を主な投資対象とします。

## 2. 為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)とコスト(金利差相当分の費用)

- ◆各通貨コースでは、原則として実質的に組み入れるハイイールド債券などの発行通貨を売り予約し、各通貨コースの対象通貨を買い予約する為替取引を行います。
- ◆通貨(国)により金利水準は異なるため、ハイイールド債券などの発行通貨よりも短期金利の高い通貨のコースを選択した場合は、当該通貨とハイイールド債券などの発行通貨の短期金利差相当分のプレミアムが期待されます。  
一方、当該通貨の短期金利がハイイールド債券などの発行通貨の短期金利よりも低い場合には、通常、短期金利差相当分のコストが発生します。金利差の変動により、プレミアムまたはコストは変動します。



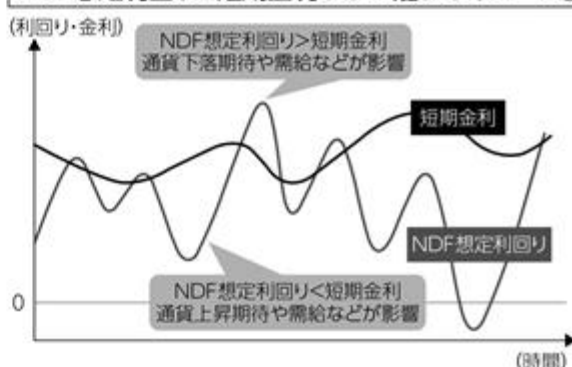
※上記の図はあくまでもイメージであり、実際の為替取引によって得られるプレミアムまたはコストの大きさを保証するものではありません。

- ◆一部の新興国通貨(ブラジルレアル)では、規制や為替市場が未発達なことなどから、為替取引が機動的に行えないことがあるため、「NDF取引」を使用する場合があります。

## NDF(ノン・デリバブル・フォワード)取引について

- ◆NDF取引とは、為替先渡取引の一種で、主に金融機関との相対取引で行われます。また、当該通貨の受け渡しは発生せず、主に米ドルなどの主要通貨で差金決済を行います。
- ◆NDF取引は、通常の買い予約・売り予約する為替取引と比べ、取引参加者が少ないことや、当局による金融・資本市場における制約などから、市場裁定が働きにくいだけでなく、取引参加者の為替見通しを反映した需給の影響をより強く受けることがあります。そのため、取引価格から推計されるNDF想定利回りが、取引時点における短期金利水準から大きくかい離することがあります。

### NDF想定利回りと短期金利がかい離するイメージ図



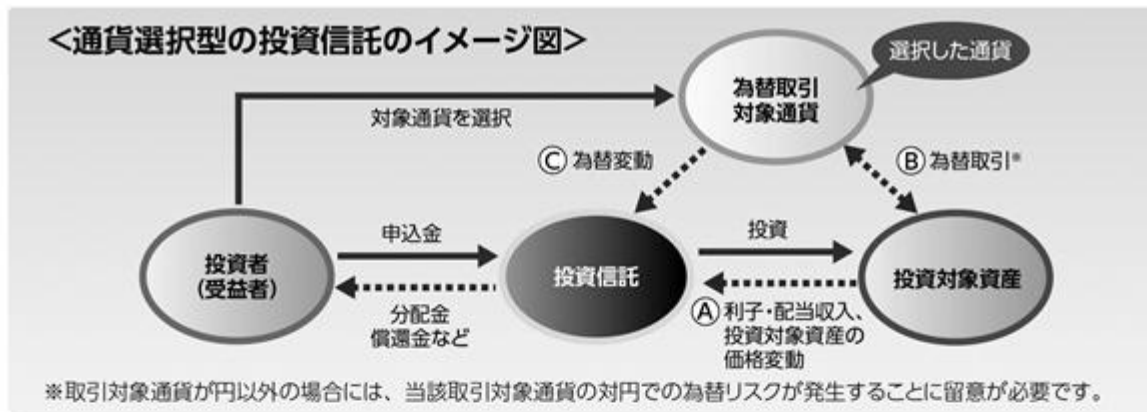
※上記はイメージ図であり、各ファンドのパフォーマンスとは異なります。

NDF想定利回りは、通貨に対する需給や通貨の上昇期待が反映され、マイナスになる場合もあります。その場合、為替取引によるプレミアムの減少やコストの発生により、ファンドのパフォーマンスに影響を与えることがあります。

## 3. 為替変動による損益(円コースを除く)

- ◆実質的に各通貨コースの対象通貨を買い予約する為替取引を行うことによって、各通貨コースは対象通貨の変動の影響を受けます。各通貨コースの対象通貨に対して円安となった場合には為替差益が発生し、円高となった場合には為替差損が発生します。新興国の通貨の値動きは先進国の通貨と比べて相対的に大きくなる傾向があります。また、通貨危機や経済危機においては大きく下落する可能性もあります。

## 通貨選択型ファンドの収益のイメージ



◆通貨選択型の投資信託は、株式や債券などといった投資対象資産に加えて、為替取引の対象となる円以外の通貨も選択することができるよう設計された投資信託です。

◆通貨選択型の投資信託の収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。

## ①投資対象資産による収益(上図A部分)

- ・投資対象資産が値上がりした場合や利子・配当が支払われた場合は、基準価額の上昇要因となります。
- ・逆に、投資対象資産が値下がりした場合には、基準価額の下落要因となります。

## ②為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)(上図B部分)

- ・「選択した通貨」(コース)の短期金利が、投資信託の「投資対象資産の通貨」の短期金利よりも高い場合は、その金利差による「プレミアム」が期待できます。
- ・逆に、「選択した通貨」(コース)の短期金利のほうが低い場合には、「コスト」が生じます。
- ・なお、「選択した通貨」と「投資対象資産の通貨」が同一通貨の場合、為替取引によるプレミアムやコストは発生しません。

※新興国通貨の場合などは、金利差がそのまま反映されない場合があります。

## ③為替変動による収益(上図C部分)

- ・上図B部分とは異なり、上図C部分については為替取引を行っていないため、「選択した通貨」(円を除く。以下同じ)の円に対する為替変動の影響を受けることとなります。
- ・「選択した通貨」が対円で上昇(円安)した場合は、為替差益を得ることができます。
- ・逆に、「選択した通貨」が対円で下落(円高)した場合は、為替差損が発生します。

◆これまで説明しました内容についてまとめますと、以下のようになります。

これらの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。

収益の源泉	利子・配当収入 投資対象資産の価格変動	為替取引による プレミアム/コスト	為替差益/為替差損
収益を得られる ケース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投資対象資産の市況の好転(金利の低下、発行体の信用状況の改善など)*</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選択した通貨の短期金利が投資対象資産の通貨の短期金利を上回る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選択した通貨が対円で上昇(円安)</li> </ul>
損失やコストが 発生するケース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投資対象資産(債券など)の価格の上昇</li> <li>・投資対象資産(債券など)の価格の下落</li> <li>・投資対象資産の市況の悪化(金利の上昇、発行体の信用状況の悪化など)*</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレミアム(金利差相当分の収益)の発生</li> <li>・コスト(金利差相当分の費用)の発生</li> <li>・選択した通貨の短期金利が投資対象資産の通貨の短期金利を下回る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・為替差益の発生</li> <li>・為替差損の発生</li> <li>・選択した通貨が対円で下落(円高)</li> </ul>

\*投資対象資産の価格の上昇/下落の要因は、資産の種類(株式、債券、不動産など)により異なります。

## ■ 分配方針

### 【各通貨コース】

原則として、毎月25日(休業日の場合は翌営業日。)の決算時に、収益の分配を行います。



◆分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)などの全額とします。

#### ●円コース/米ドルコース/豪ドルコース/ブラジルリアルコース

分配金額は、経費控除後の利子・配当等収益を中心に安定した分配を行うことを目標に委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

「原則として、利子・配当等収益を中心に安定分配を行う」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移することなどを示唆するものではありません。また、基準価額水準、運用の状況などによっては安定分配とならない場合があることにご留意ください。

#### ●メキシコペソコース/トルコリラコース\*

分配金額は、経費控除後の利子・配当等収益を中心に委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

\*メキシコペソコースとトルコリラコース(2013年6月21日設定)の分配方針の記載は、2012年6月1日より実施された一般社団法人投資信託協会によるルールに則ったものであり、実質的に他の通貨コースの分配方針と異なるものではありません。

◆上記にかかる分配金額のほか、分配対象額の範囲内で基準価額水準や市況動向などを勘案して委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

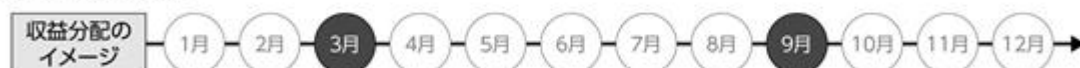
◆留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。

※運用状況により分配金額は変動します。

※上記はイメージ図であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

### 【マネープールファンド】

原則として、年2回(毎年3月、9月の各月25日。休業日の場合は翌営業日。)の決算時に、収益の分配を行います。



◆分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)などの全額とします。

◆分配金額は、委託会社が基準価額水準や市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

◆留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。

※運用状況により分配金額は変動します。

※上記はイメージ図であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

## 収益分配金に関する留意事項

◆投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。

投資信託から分配金が支払われるイメージ



◆分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。

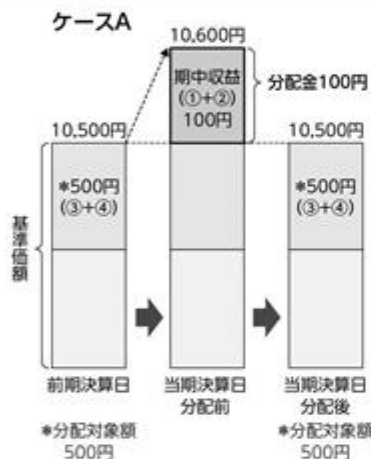
また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

### 分配金額と基準価額の関係(イメージ)

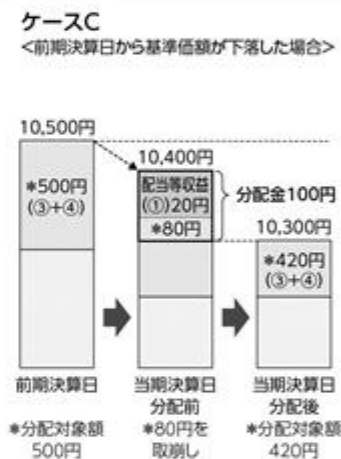
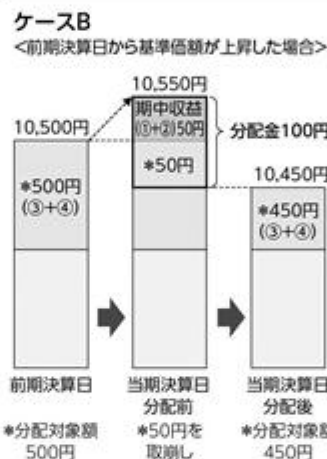
分配金は、分配方針に基づき、以下の分配対象額から支払われます。

①配当等収益(経費控除後)、②有価証券売買益・評価益(経費控除後)、③分配準備積立金、④収益調整金

#### 計算期間中に発生した収益の中から支払われる場合



#### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



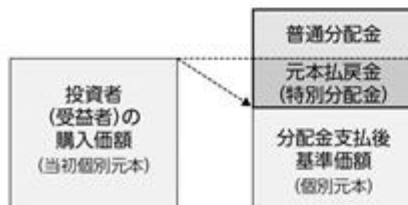
上記のそれぞれのケースにおいて、前期決算日から当期決算日まで保有した場合の損益を見ると、次の通りとなります。

ケースA: 分配金受取額100円+当期決算日と前期決算日との基準価額の差0円=100円  
 ケースB: 分配金受取額100円+当期決算日と前期決算日との基準価額の差▲50円=50円  
 ケースC: 分配金受取額100円+当期決算日と前期決算日との基準価額の差▲200円=▲100円

★A、B、Cのケースにおいては、分配金受取額はすべて同額ですが、基準価額の増減により、投資信託の損益状況はそれぞれ異なった結果となっています。このように、投資信託の収益については、分配金だけに注目するのではなく、「分配金の受取額」と「投資信託の基準価額の増減額」の合計額でご判断ください。  
 ※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではないのでご注意ください。

◆投資者(受益者)のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

#### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は、非課税扱いとなります。

#### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金: 個別元本(投資者(受益者)のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者(受益者)の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

## (2) 【ファンドの沿革】

## &lt;米ドルコース/豪ドルコース/ブラジルリアルコース/マネープールファンド&gt;

2010年10月8日	投資信託契約締結、ファンドの設定・運用開始
2014年6月25日	ファンドの名称にかかる約款変更の届出を提出
2015年6月23日	ファンドの名称にかかる約款変更の届出を提出
2016年10月1日	ファンドの委託会社としての業務を新光投信株式会社からアセットマネジメントOne株式会社に承継
2019年12月26日	信託期間を2025年9月25日までに変更

## &lt;メキシコペソコース/トルコリラコース&gt;

2013年6月21日	投資信託契約締結、ファンドの設定・運用開始
2014年6月25日	ファンドの名称にかかる約款変更の届出を提出
2015年6月23日	ファンドの名称にかかる約款変更の届出を提出
2016年10月1日	ファンドの委託会社としての業務を新光投信株式会社からアセットマネジメントOne株式会社に承継

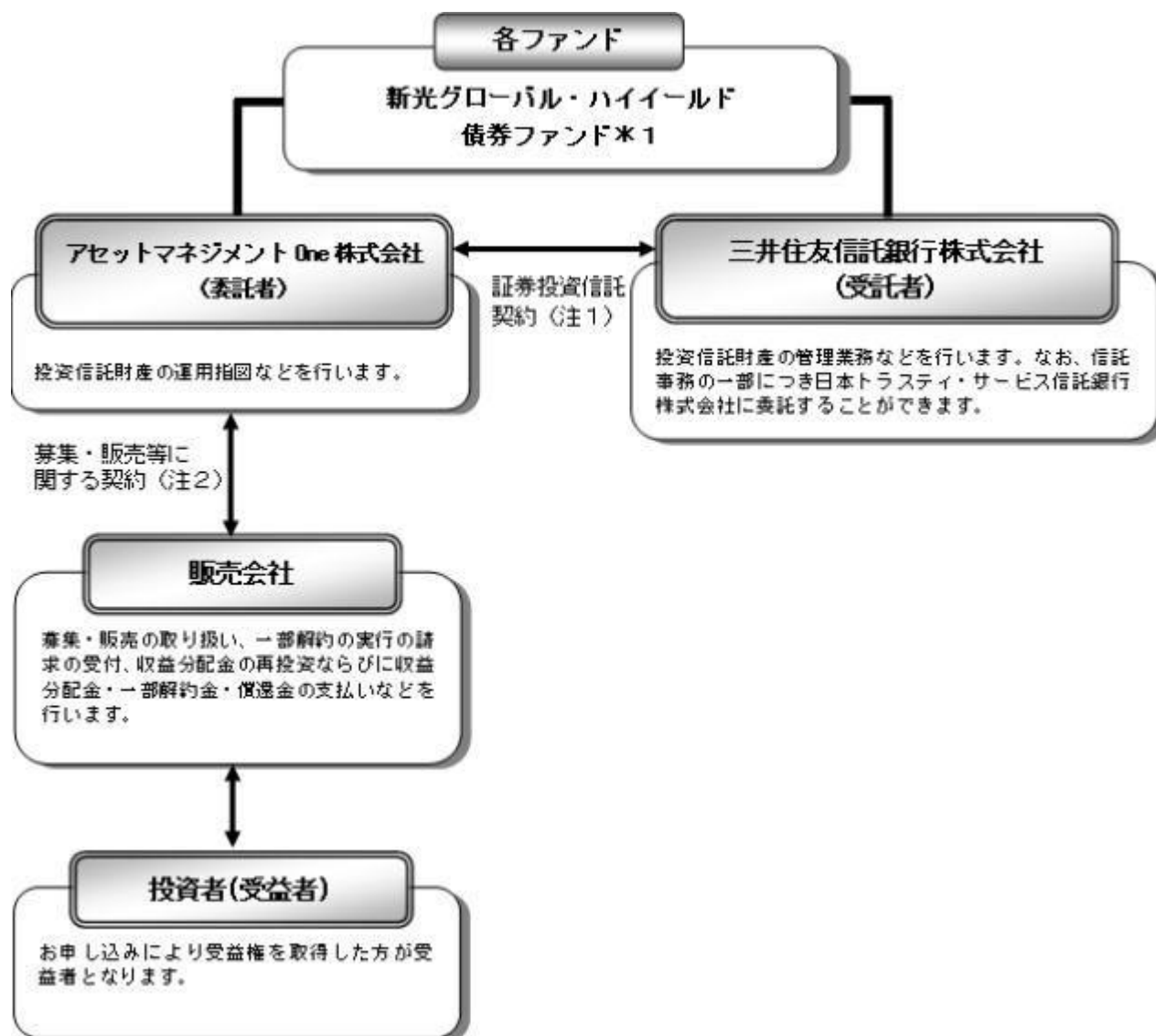
## (3) 【ファンドの仕組み】

## a. ファンドの仕組み

## &lt;各通貨コース&gt;

図中の\*1、\*2には次の表よりそれぞれあてはめてご覧ください。

*1	米ドルコース	豪ドルコース	ブラジルリアルコース	メキシコペソコース	トルコリラコース
*2	USDクラス	AUDクラス	BRLクラス	MXNクラス	TRYクラス



## (注1) 証券投資信託契約

委託者と受託者との間において「証券投資信託契約（投資信託約款）」を締結しており、委託者および受託者の業務、受益者の権利、受益権、投資信託財産の運用・評価・管理、収益の分配、信託の期間・償還等を規定しています。

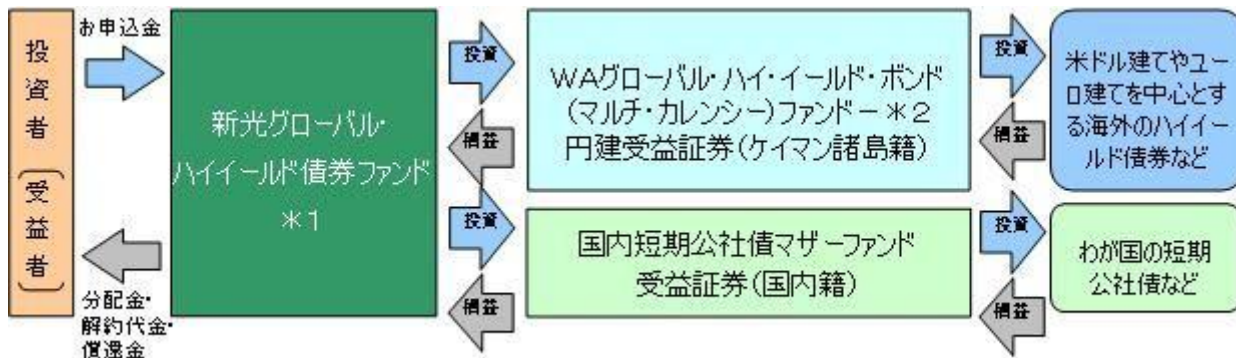
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社は、関係当局の許認可等を前提に、2020年7月27日付でJTCホールディングス株式会社および資産管理サービス信託銀行株式会社と合併し、株式会社日本カストディ銀行に商号を変更する予定です。（以下同じ）

## (注2) 募集・販売等に関する契約

委託者と販売会社との間において「証券投資信託に関する基本契約」を締結しており、販売会社が行う募集・販売等の取り扱い、収益分配金および償還金の支払い、解約の取り扱い等を規定しています。

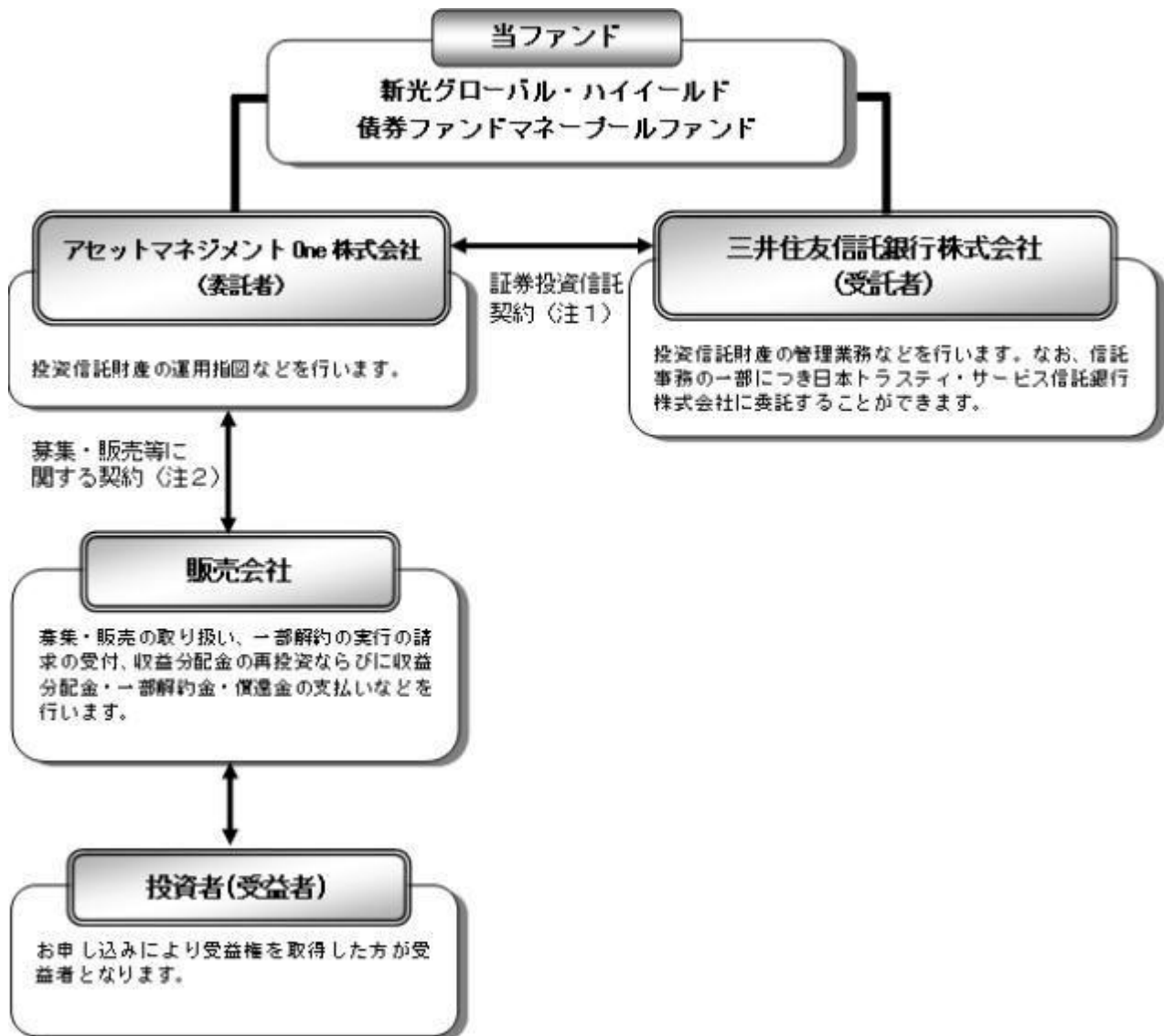
## &lt;ファンド・オブ・ファンズ方式の仕組み&gt;

各ファンドの運用は「ファンド・オブ・ファンズ方式」で行います。「ファンド・オブ・ファンズ方式」とは、複数の投資信託証券を組み合わせ、一つにまとめて運用する仕組みです。





## &lt;マネープールファンド&gt;



## (注1) 証券投資信託契約

委託者と受託者との間において「証券投資信託契約（投資信託約款）」を締結しており、委託者および受託者の業務、受益者の権利、受益権、投資信託財産の運用・評価・管理、収益の分配、信託の期間・償還等を規定しています。

## (注2) 募集・販売等に関する契約

委託者と販売会社との間において「証券投資信託に関する基本契約」を締結しており、販売会社が行う募集・販売等の取り扱い、収益分配金および償還金の支払い、解約の取り扱い等を規定しています。

## b. 委託会社の概況

名称：アセットマネジメントOne株式会社

本店の所在の場所：東京都千代田区丸の内一丁目8番2号

## 資本金の額

20億円（2020年3月31日現在）

## 委託会社の沿革

1985年7月1日	会社設立
1998年3月31日	「証券投資信託法」に基づく証券投資信託の委託会社の免許取得
1998年12月1日	証券投資信託法の改正に伴う証券投資信託委託業のみなし認可
1999年10月1日	第一ライフ投信投資顧問株式会社を存続会社として興銀エヌダブリュ・アセットマネジメント株式会社および日本興業投信株式会社と合併し、社名を興銀第一ライフ・アセットマネジメント株式会社とする。
2008年1月1日	「興銀第一ライフ・アセットマネジメント株式会社」から「DIAMアセットマネジメント株式会社」に商号変更
2016年10月1日	DIAMアセットマネジメント株式会社、みずほ投信投資顧問株式会社、新光投信株式会社、みずほ信託銀行株式会社（資産運用部門）が統合し、商号をアセットマネジメントOne株式会社に変更

## 大株主の状況

（2020年3月31日現在）

株主名	住所	所有株数	所有比率
株式会社みずほフィナンシャルグループ	東京都千代田区大手町一丁目5番5号	28,000株 <sup>1</sup>	70.0% <sup>2</sup>
第一生命ホールディングス株式会社	東京都千代田区有楽町一丁目13番1号	12,000株	30.0% <sup>2</sup>

1：A種種類株式（15,510株）を含みます。

2：普通株式のみの場合の所有比率は、株式会社みずほフィナンシャルグループ51.0%、第一生命ホールディングス株式会社49.0%

## 2【投資方針】

各通貨コースが投資する外国投資信託の\*には下記表をあてはめてご覧ください。

各通貨コース	WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンド-
米ドルコース	USDクラス
豪ドルコース	AUDクラス
ブラジルリアルコース	BRLクラス
メキシコペソコース	MXNクラス
トルコリラコース	TRYクラス

(注)各通貨コースが組み入れる外国投資信託の各クラスの運用方針につきましては、後述の「各ファンドが投資する投資信託証券の概要」をご参照ください。

## (1)【投資方針】

## a. 基本方針

## &lt;各通貨コース&gt;

各ファンドは、投資信託証券を主要投資対象として、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

## &lt;マネーブルファンド&gt;

当ファンドは、安定した収益の確保を目指した運用を行います。

## b. 運用の方法

## (イ) 主要投資対象

## &lt;各通貨コース&gt;

投資信託証券を主要投資対象とします。

## &lt;マネーブルファンド&gt;

国内短期公社債マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、公社債等に直接投資する場合があります。

## (ロ) 投資態度

## &lt;各通貨コース&gt;

以下の投資信託証券を通じて、主として海外の高利回り社債に実質的な投資を行い、高水準のインカムゲインの確保と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。

ケイマン諸島籍 外国投資信託	WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンド-* (以下「ハイイールド・ボンド・ファンド」といいます。)円建受益証券
内国証券投資信託 (親投資信託)	国内短期公社債マザーファンド受益証券

各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市況動向などを勘案して決定するものとし、ハイイールド・ボンド・ファンドの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。

各ファンドの資金動向、市況動向などによっては、また、やむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

ハイイールド・ボンド・ファンドが、償還した場合または約款に規定する事項の変更により商品の同一性が失われた場合は、委託者は受託者と合意のうえ投資信託契約を解約し、信託を終了させます。

<マネープールファンド>

マザーファンドへの投資を通じて主として本邦通貨建ての短期公社債に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行います。

ファンドの資金動向、市況動向などによっては、また、やむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

(注) マネープールファンドが投資するマザーファンドの運用方針につきましては、後述の「各ファンドが投資する投資信託証券の概要」をご参照ください。

(2) 【投資対象】

a. 投資の対象とする資産の種類

<各通貨コース>

各ファンドにおいて投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

1. 次に掲げる特定資産(「特定資産」とは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。)

- イ. 有価証券
- ロ. 金銭債権
- ハ. 約束手形

2. 次に掲げる特定資産以外の資産

- イ. 為替手形

<マネープールファンド>

当ファンドにおいて投資の対象とする資産(本邦通貨表示のものに限ります。)の種類は、次に掲げるものとします。

1. 次に掲げる特定資産

- イ. 有価証券
- ロ. デリバティブ取引にかかる権利(金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、約款に定めるものに限ります。)

ハ. 金銭債権

ニ. 約束手形

2. 次に掲げる特定資産以外の資産

- イ. 為替手形

b. 有価証券および金融商品の指図範囲等

<各通貨コース>

(イ) 委託者は、信託金を、主として次の第1号に掲げる外国投資信託の受益証券および第2号に掲げるアセットマネジメントOne株式会社を委託者とし、三井住友信託銀行株式会社を受託者として締結された親投資信託である国内短期公社債マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)の受益証券のほか、第3号から第7号に掲げる有価証券(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。)に投資することを指図します。

1. ケイマン諸島籍外国投資信託 WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンド - \*円建受益証券
2. 証券投資信託 マザーファンド受益証券
3. コマーシャル・ペーパー
4. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前号の証券の性質を有するもの
5. 国債証券、地方債証券、特別の法律により法人の発行する債券および社債券(新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券を除きます。)
6. 外国法人が発行する譲渡性預金証書
7. 指定金銭信託の受益証券(金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。)

なお、第1号に掲げる外国投資信託の受益証券および第2号に掲げる証券投資信託の受益証券を以下「投資信託証券」といい、第5号の証券を以下「公社債」といいます。公社債にかかる運用の指図は短期社債等への投資ならびに買い現先取引(売り戻し条件付きの買い入れ)および債券貸借取引(現金担保付き債券借り入れ)に限り行うことができるものとします。

(ロ) 委託者は、信託金を、上記(イ)に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。)により運用することを指図することができます。

1. 預金
2. 指定金銭信託(金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。)
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形

(ハ) 上記(イ)の規定にかかわらず、この信託の設定、解約、償還、投資環境の変動等への対応等、委託者が運用上必要と認めるときには、委託者は、信託金を、上記(ロ)に掲げる金融商品により運用することの指図ができます。

#### <マネープールファンド>

(イ) 委託者は、信託金を、主としてアセットマネジメントOne株式会社を委託者とし、三井住友信託銀行株式会社を受託者として締結された親投資信託である国内短期公社債マザーファンドの受益証券ならびに次に掲げる有価証券(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。有価証券は、本邦通貨表示のものに限ります。)に投資することを指図します。

1. 国債証券
2. 地方債証券
3. 特別の法律により法人の発行する債券
4. 社債券(新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券を除きます。新株予約権付社債については、会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの(会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。以下同じ。)に限ります。)

5. 特定目的会社にかかる特定社債券(金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。)
  6. 転換社債の転換および新株予約権(転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限ります。 )の行使により取得した株券
  7. 特別の法律により設立された法人の発行する出資証券(金融商品取引法第2条第1項第6号で定めるものをいいます。 )
  8. 協同組織金融機関にかかる優先出資証券(金融商品取引法第2条第1項第7号で定めるものをいいます。 )
  9. 特定目的会社にかかる優先出資証券または新優先出資引受権を表示する証券(金融商品取引法第2条第1項第8号で定めるものをいいます。 )
  10. コマーシャル・ペーパー
  11. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前各号の証券または証書の性質を有するもの
  12. 投資信託または外国投資信託の受益証券(金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。 )
  13. 投資証券もしくは投資法人債券または外国投資証券(金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。 )
  14. 外国貸付債権信託受益証券(金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。 )
  15. 預託証書(金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。 )
  16. 外国法人が発行する譲渡性預金証書
  17. 指定金銭信託の受益証券(金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。 )
  18. 抵当証券(金融商品取引法第2条第1項第16号で定めるものをいいます。 )
  19. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの
  20. 外国の者に対する権利で前号の有価証券の性質を有するもの
- なお、第6号の証券および第11号ならびに第15号の証券または証書のうち第6号の証券の性質を有するものを以下「株式」といい、第1号から第5号までの証券および第13号の証券のうち投資法人債券ならびに第11号および第15号の証券または証書のうち第1号から第5号までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といい、第12号および第13号の証券(投資法人債券を除きます。 )を以下「投資信託証券」といいます。
- (口) 委託者は、信託金を、上記(イ)に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。 )により運用することを指図することができます。
1. 預金
  2. 指定金銭信託(金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。 )
  3. コール・ローン
  4. 手形割引市場において売買される手形
  5. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
  6. 外国の者に対する権利で前号の権利の性質を有するもの

(ハ) 上記(イ)の規定にかかわらず、この信託の設定、解約、償還、投資環境の変動等への対応等、委託者が運用上必要と認めるときには、委託者は、信託金を、上記(ロ)に掲げる金融商品により運用することの指図ができます。

c. 先物

<マネープールファンドのみ>

(イ) 委託者は、わが国の取引所における有価証券先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。)、有価証券指数等先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。 )および有価証券オプション取引(金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。 )ならびに外国の取引所におけるわが国の有価証券にかかるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。なお、選択権取引は、オプション取引に含めるものとします(以下同じ。 )。

(ロ) 委託者は、わが国の取引所における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の取引所におけるわが国の金利にかかるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。

d. スワップ

<マネープールファンドのみ>

(イ) 委託者は、投資信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクを回避するため、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引(以下「スワップ取引」といいます。 )を行うことの指図をすることができます。

(ロ) スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。

(ハ) スワップ取引の指図にあたっては、当該投資信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額とマザーファンドの投資信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額のうち投資信託財産に属するとみなした額との合計額(以下「スワップ取引の想定元本の合計額」といいます。 )が、投資信託財産の純資産総額を超えないものとします。なお、投資信託財産の一部解約等の事由により、上記純資産総額が減少して、スワップ取引の想定元本の合計額が投資信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託者はすみやかに、その超える額に相当するスワップ取引の一部の解約を指図するものとします。

(ニ) 上記(ハ)において投資信託財産に属するとみなした額とは、マザーファンドの投資信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額にマザーファンドの投資信託財産の純資産総額に占める投資信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。

(ホ) スワップ取引の評価は、当該取引契約の相手方が市場実勢金利等をもとに算出した価額で評価するものとします。

(ヘ) 委託者は、スワップ取引を行うにあたり担保の提供あるいは受け入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受け入れの指図を行うものとします。

e. 金利先渡取引

<マネープールファンドのみ>

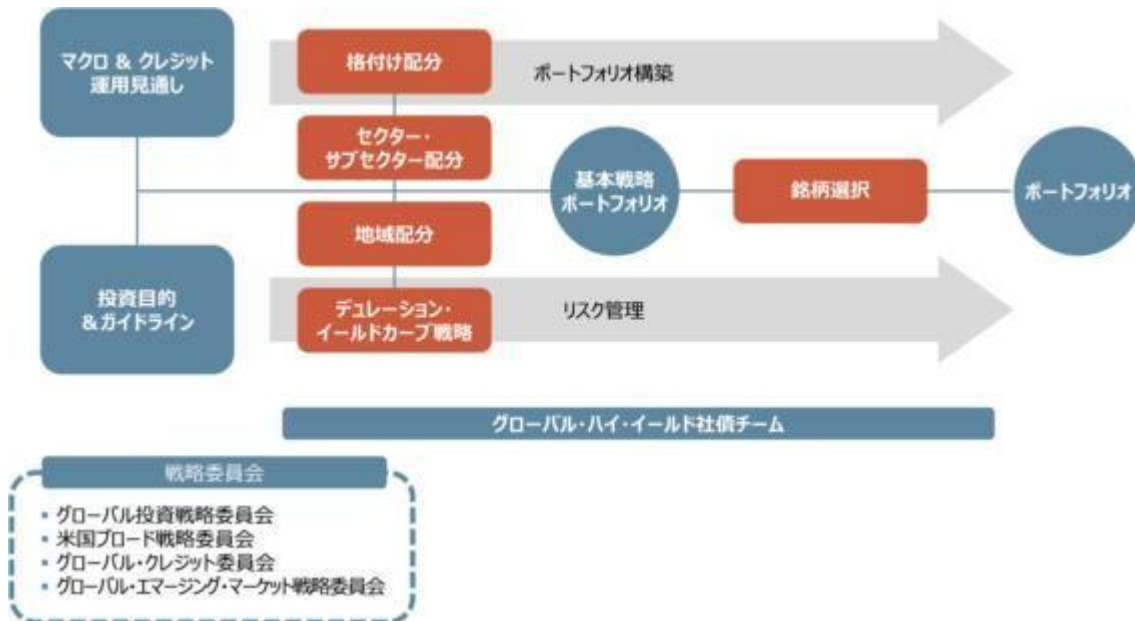
- (イ) 委託者は、投資信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクを回避するため、金利先渡取引を行うことの指図をすることができます。
- (ロ) 金利先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として信託期間を超えないものとし、ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- (ハ) 金利先渡取引の指図にあたっては、当該投資信託財産にかかる金利先渡取引の想定元本の総額とマザーファンドの投資信託財産にかかる金利先渡取引の想定元本の総額のうち投資信託財産に属するとみなした額との合計額(以下「金利先渡取引の想定元本の合計額」といいます。)が、投資信託財産にかかる保有金利商品の時価総額とマザーファンドの投資信託財産にかかる保有金利商品の時価総額のうち投資信託財産に属するとみなした額との合計額(以下「保有金利商品の時価総額の合計額」といいます。)を超えないものとします。なお、投資信託財産の一部解約等の事由により、上記保有金利商品の時価総額の合計額が減少して、金利先渡取引の想定元本の合計額が当該保有金利商品の時価総額の合計額を超えることとなった場合には、委託者は、すみやかに、その超える額に相当する金利先渡取引の一部の解約を指図するものとし、
- (ニ) 上記(ハ)においてマザーファンドの投資信託財産にかかる金利先渡取引の想定元本の総額のうち投資信託財産に属するとみなした額とは、マザーファンドの投資信託財産にかかる金利先渡取引の想定元本の総額にマザーファンドの投資信託財産の純資産総額に占める投資信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。また、マザーファンドの投資信託財産にかかる保有金利商品の時価総額のうち投資信託財産に属するとみなした額とは、マザーファンドの投資信託財産にかかる保有金利商品の時価総額にマザーファンドの投資信託財産の純資産総額に占める投資信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。
- (ホ) 金利先渡取引の評価は、当該取引契約の相手方が市場実勢金利等をもとに算出した価額で評価するものとし、
- (ヘ) 委託者は、金利先渡取引を行うにあたり担保の提供あるいは受け入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受け入れの指図を行うものとし、



## 各ファンドが投資する投資信託証券の概要

ファンド名	WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンド - USDクラス/AUDクラス/BRLクラス/MXNクラス/TRYクラス（以下、 当概要において、個別クラスを「クラス」といいます。）
形態	ケイマン諸島籍外国投資信託/円建受益証券
運用方針	主として世界各国の高利回り社債に分散投資を行い、高水準のインカムゲインの確保と 中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。また、効率的な運用を 目的として、市場金利や企業の信用状態に関連するデリバティブ取引を行う場合があります。 米ドル以外の通貨建債券へ投資した場合、原則として債券の発行通貨売り/米ドル買い の為替取引を行います。その上で、クラスごとに以下の為替取引を行います。 USDクラス：原則として、為替取引は行いません。 AUDクラス：原則として、米ドル売り、豪ドル買いの為替取引を行います。 BRLクラス：原則として、米ドル売り、ブラジルリアル買いの為替取引を行います。 MXNクラス：原則として、米ドル売り、メキシコペソ買いの為替取引を行います。 TRYクラス：原則として、米ドル売り、トルコリラ買いの為替取引を行います。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則として、信用格付けがBB+/Ba1格相当以下の証券に純資産総額の80%以上 を投資します。</li> <li>・同一発行体の証券への投資割合は、原則として純資産総額の5%以内とします。</li> <li>・有価証券の空売りは行いません。</li> <li>・純資産総額の10%を超える借り入れは行わないこととします。</li> <li>・流動性に欠ける資産への投資は、純資産総額の15%以内とします。</li> <li>・他のファンドへの投資は、純資産総額の5%以内とします。</li> <li>・通常の状態において、日本において有価証券に属する証券に純資産総額の50%以上を 投資します。</li> </ul>
信託期間	無期限
決算日	毎年3月31日
主な関係法人	<p>管理会社：ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・リミテッド 投資顧問会社：ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシー 副投資顧問会社：ウエスタン・アセット・マネジメント株式会社（東京） ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・ピーティ ー・リミテッド（シンガポール） ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・ピーティ ー・リミテッド（メルボルン） ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・DTVM・リ ミターダ（サンパウロ）</p> <p>受託会社兼管理事務代行会社：BNYメロン・ファンド・マネジメント（ケイマン）リ ミテッド 副管理事務代行会社：ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン 保管受託銀行：ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン</p>
信託報酬等	純資産総額に対し年率0.50%程度 上記料率には、管理会社、投資顧問会社、副投資顧問会社、受託会社、保管受託銀行な らびに管理事務代行会社への報酬が含まれます。ただし、これら報酬の中には取引頻度 に応じた額や最低支払額が設定されているものがあるため、取引頻度や資産規模など により上記料率を上回る場合があります。
そ の 他 の 費用・手数料	監査報酬、弁護士費用および登録機関兼名義書換代理人費用、当初設定にかかる諸費用 などが当該外国投資信託から支払われます。これらは定率でないため事前に概算料率や 上限額などを表示することができません。
収益分配方針	原則として、毎月、分配を行います。
運用開始日	2010年10月12日（USDクラス/AUDクラス/BRLクラス） 2013年6月24日（MXNクラス/TRYクラス）

## 運用プロセス



出所：ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシーの資料を基にアセットマネジメントOne作成

運用プロセスは2020年3月31日現在のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

ファンド名	国内短期公社債マザーファンド
形態	親投資信託
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主としてわが国の短期公社債に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行います。</li> <li>・ファンドの資金動向、市況動向などによっては、また、やむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。</li> </ul>
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式への投資は行いません。</li> <li>・外貨建資産への投資は行いません。</li> </ul>
信託期間	無期限
決算日	毎年10月31日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配方針	運用による収益は、信託終了時まで投資信託財産中に留保し、期中には分配を行いません。
信託報酬	報酬はかかりません。
信託設定日	2008年7月31日
委託会社	アセットマネジメントOne株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社

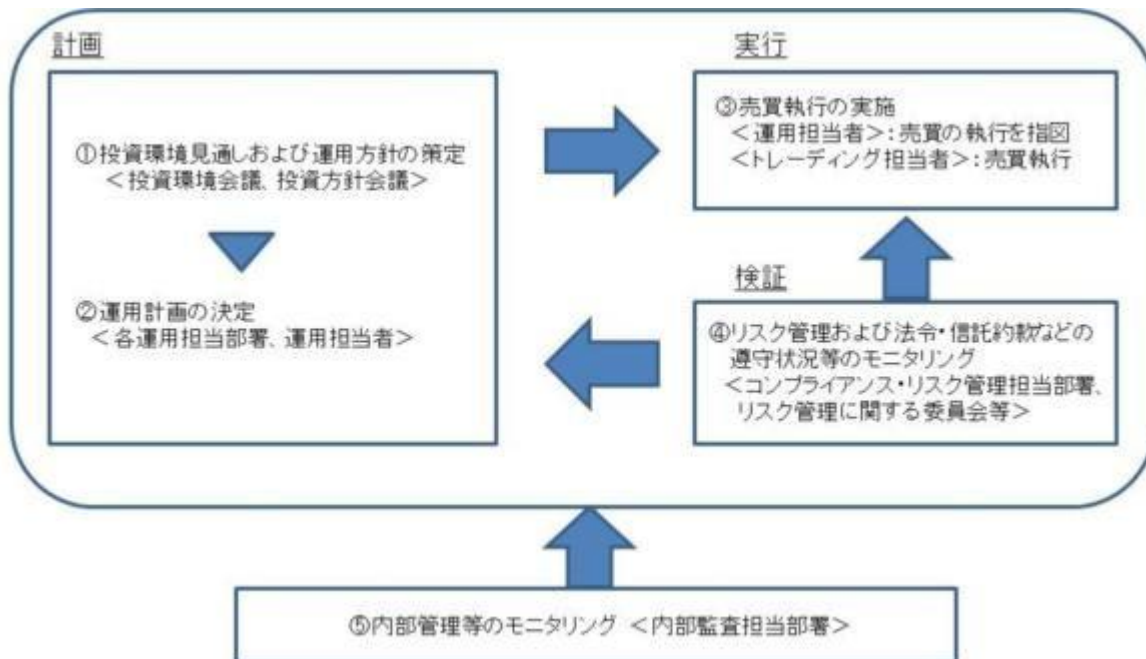
前述の各投資信託証券については、いずれも申込手数料はかかりません。

前述の各概要は、各投資信託証券の内容を要約したものであり、そのすべてではありません。

また、各概要は2020年6月25日現在のものであり、今後変更になる場合があります。

## (3) 【運用体制】

## a. ファンドの運用体制



## 投資環境見直しおよび運用方針の策定

経済環境見直し、資産別市場見直し、資産配分方針および資産別運用方針は月次で開催する「投資環境会議」および「投資方針会議」にて協議、策定致します。これらの会議は運用本部長・副本部長、運用グループ長等で構成されます。

## 運用計画の決定

各ファンドの運用は「投資環境会議」および「投資方針会議」における協議の内容を踏まえて、ファンド毎に個別に任命された運用担当者が行います。運用担当者は月次で運用計画書を作成し、運用本部長の承認を受けます。運用担当者は承認を受けた運用計画に基づき、運用を行います。

## 売買執行の実施

運用担当者は、売買計画に基づいて売買の執行を指図します。トレーディング担当者は、最良執行をめざして売買の執行を行います。

## モニタリング

運用担当部署から独立したコンプライアンス・リスク管理担当部署（人数60～70人程度）は、運用に関するパフォーマンス測定、リスク管理および法令・信託約款などの遵守状況等のモニタリングを実施し、必要に応じて対応を指示します。

定期的で開催されるリスク管理に関する委員会等において運用リスク管理状況、運用実績、法令・信託約款などの遵守状況等について検証・報告を行います。

## 内部管理等のモニタリング

内部監査担当部署（人数10～20人程度）が運用、管理等に関する業務執行の適正性・妥当性・効率性等の観点からモニタリングを実施します。

b．ファンドの関係法人に関する管理

当ファンドの関係法人である受託会社に対して、その業務に関する委託会社の管理担当部署は、内部統制に関する外部監査人による報告書等の定期的な提出を求め、必要に応じて具体的な事項に関するヒアリングを行う等の方法により、適切な業務執行体制にあることを確認します。

c．運用体制に関する社内規則

運用体制に関する社内規則として運用管理規程および職務責任権限規程等を設けており、運用担当者の任務と権限の範囲を明示するほか、各投資対象の取り扱いに関して基準を設け、ファンドの商品性に則った適切な運用の実現を図ります。

また、売買執行、投資信託財産管理および法令遵守チェック等に関する各々の規程・内規を定めています。

運用体制は2020年3月31日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

マネープールファンドについては、上記体制は、マザーファンドを通じた実質的な運用体制を記載しております。

(4) 【分配方針】

a．収益分配方針

<米ドルコース/豪ドルコース/ブラジルリアルコース>

収益分配は原則として、毎月25日（該当日が休業日の場合は翌営業日。）の決算時に以下の方針に基づき収益の分配を行います。

- 1．分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）などの全額とします。
- 2．分配金額は、経費控除後の利子・配当等収益を中心に安定した分配を行うことを目標に委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
- 3．上記2．にかかわらず、上記2．にかかる分配金額のほか、分配対象額の範囲内で基準価額水準や市況動向などを勘案して委託者が決定する額を付加して分配する場合があります。
- 4．留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。

<メキシコペソコース/トルコリラコース>

収益分配は原則として、毎月25日（該当日が休業日の場合は翌営業日。）の決算時に以下の方針に基づき収益の分配を行います。

- 1．分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）などの全額とします。
- 2．分配金額は、経費控除後の利子・配当等収益を中心に委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
- 3．上記2．にかかわらず、上記2．にかかる分配金額のほか、分配対象額の範囲内で基準価額水準や市況動向などを勘案して委託者が決定する額を付加して分配する場合があります。

4. 留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。

<マネープールファンド>

収益分配は年2回、原則として、3月、9月の各月25日(該当日が休業日の場合は翌営業日。)の決算時に以下の方針に基づき収益の分配を行います。

1. 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)などの全額とします。
2. 分配金額は、委託者が基準価額水準や市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
3. 留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。

b. 収益分配方式

<各通貨コース>

投資信託財産から生ずる毎計算期末における利益は、次の方法により処理します。

1. 分配金、配当金、利子およびこれらに類する収益から支払利息を控除した額(以下「配当等収益」といいます。)は、諸経費、信託報酬および当該信託報酬にかかる消費税等に相当する金額を控除した後、その残金を受益者に分配することができます。なお、次期以降の分配金にあてるため、その一部を分配準備積立金として積み立てることができます。
2. 売買損益に評価損益を加減した利益金額(以下「売買益」といいます。)は、諸経費、信託報酬および当該信託報酬にかかる消費税等に相当する金額を控除し、繰越欠損金のあるときは、その全額を売買益をもって補てんした後、受益者に分配することができます。なお、次期以降の分配にあてるため、分配準備積立金として積み立てることができます。

<マネープールファンド>

投資信託財産から生ずる毎計算期末における利益は、次の方法により処理します。

1. 配当金、利子、貸付有価証券にかかる品貸料およびこれらに類する収益から支払利息を控除した額(以下「配当等収益」といいます。)は、諸経費、信託報酬および当該信託報酬にかかる消費税等に相当する金額を控除した後、その残金を受益者に分配することができます。なお、次期以降の分配金にあてるため、その一部を分配準備積立金として積み立てることができます。
2. 売買損益に評価損益を加減した利益金額(以下「売買益」といいます。)は、諸経費、信託報酬および当該信託報酬にかかる消費税等に相当する金額を控除し、繰越欠損金のあるときは、その全額を売買益をもって補てんした後、受益者に分配することができます。なお、次期以降の分配にあてるため、分配準備積立金として積み立てることができます。

c. 損失の繰り越し

<各ファンド共通>

毎計算期末において、投資信託財産につき生じた損失は、次期に繰り越します。

d. 分配金の取り扱い

<各ファンド共通>

「分配金受取コース」の受益者の分配金は原則として、決算日から起算して5営業日までに、受益者に支払われます。

「分配金再投資コース」の受益者の分配金は、税金を差し引いた後、別に定める契約に基づき、全額再投資されます。

(5) 【投資制限】

投資信託約款に定める投資制限

<各通貨コース>

a. 投資信託証券への投資割合

投資信託証券への投資割合には制限を設けません。

b. 外貨建資産への投資割合

外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

c. 公社債の借り入れ

(イ) 委託者は、投資信託財産の効率的な運用に資するため、公社債の借り入れの指図をすることができます。なお、当該公社債の借り入れを行うにあたり担保の提供が必要と認めるときは、担保の提供の指図を行うものとします。

(ロ) 借り入れの指図は、当該借り入れにかかる公社債の時価総額が投資信託財産の純資産総額の範囲内とします。

(ハ) 投資信託財産の一部解約等の事由により、上記(ロ)の借り入れにかかる公社債の時価総額が投資信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託者はすみやかに、その超える額に相当する借り入れた公社債の一部を返還するための指図をするものとします。

(ニ) 借り入れにかかる品借料は投資信託財産中から支払われます。

d. 特別の場合の外貨建有価証券への投資制限

外貨建有価証券(外国通貨表示の有価証券をいいます。以下同じ。)への投資については、わが国の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。

e. 外国為替予約の指図

委託者は、投資信託財産に属する外貨建資産(外貨建有価証券、外国通貨表示の預金その他の資産をいいます。以下同じ。)について、当該外貨建資産の為替ヘッジのため、外国為替の売買の予約を指図することができます。

f. 資金の借り入れ

(イ) 委託者は、投資信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性に資するため、一部解約に伴う支払資金の手当て(一部解約に伴う支払資金の手当てのために借り入れた資金の返済を含みます。)を目的として、または再投資にかかる収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借り入れ(コール市場を通じる場合を含みます。)の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。

(ロ) 一部解約に伴う支払資金の手当てにかかる借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から投資信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間または受益者への解約代金支払開始日から投資信託財産で保有する有価証券等の解約代金入金日までの間、もしくは受益者への解約代金支払開始日から投資信託財産で保有する有価証券等の償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却代金、解約代金および償還金の合計額を限度とします。ただし、資金の借入額は、借入指図を行う日における投資信託財産の純資産総額の10%を超えないこととします。

- (八) 収益分配金の再投資にかかる借入期間は投資信託財産から収益分配金が支払われる日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。
- (二) 借入金の利息は投資信託財産中より支払われます。
- g. 利害関係人等との取引等
- (イ) 受託者は、受益者の保護に支障を生じることがないものであり、かつ信託業法、投資信託及び投資法人に関する法律ならびに関連法令に反しない場合には、委託者の指図により、投資信託財産と、受託者(第三者との間において投資信託財産のためにする取引その他の行為であって、受託者が当該第三者の代理人となって行うものを含みます。)および受託者の利害関係人、信託業務の委託先およびその利害関係人または受託者における他の投資信託財産との間で、約款に掲げる資産への投資等ならびに約款に掲げる取引その他これらに類する行為を行うことができます。
- (ロ) 受託者は、受託者がこの信託の受託者としての権限に基づいて信託事務の処理として行うことができる取引その他の行為について、受託者または受託者の利害関係人の計算で行うことができるものとします。なお、受託者の利害関係人が当該利害関係人の計算で行う場合も同様とします。
- (ハ) 委託者は、金融商品取引法、投資信託及び投資法人に関する法律ならびに関連法令に反しない場合には、投資信託財産と、委託者、その取締役、執行役および委託者の利害関係人等(金融商品取引法第31条の4第3項および同条第4項に規定する親法人等または子法人等をいいます。)または委託者が運用の指図を行う他の投資信託財産との間で、約款に掲げる資産への投資等ならびに約款に掲げる取引その他これらに類する行為を行うことの指図をすることができ、受託者は、委託者の指図により、当該投資等ならびに当該取引、当該行為を行うことができます。
- (ニ) 上記(イ)(ロ)(ハ)の場合、委託者および受託者は、受益者に対して信託法第31条第3項および同法第32条第3項の通知は行いません。
- h. デリバティブ取引等に係る投資制限
- デリバティブ取引等について、一般社団法人投資信託協会規則の定めるところにしたがい、合理的な方法により算出した額が投資信託財産の純資産総額を超えないものとします。
- i. 信用リスク集中回避のための投資制限
- (イ) 同一銘柄の投資信託証券への投資割合は、当該投資信託証券が一般社団法人投資信託協会規則に定めるエクスポージャーがルックスルーできる場合に該当しないときは、投資信託財産の純資産総額の100分の10を超えないものとします。
- (ロ) 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ100分の10、合計で100分の20を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託者は、一般社団法人投資信託協会規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行うこととします。
- j. ファンドの投資制限
- 投資信託証券および短期金融商品(短期運用の有価証券を含みます。)以外には投資を行いません。

<マネープールファンド>

a．株式への投資割合

委託者は、投資信託財産に属する株式の時価総額とマザーファンドの投資信託財産に属する株式の時価総額のうち投資信託財産に属するとみなした額との合計額が、投資信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません。

なお、株式は転換社債の転換および新株予約権（転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限りません。）の行使により取得したものに限りません。

上記において投資信託財産に属するとみなした額とは、投資信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額にマザーファンドの投資信託財産の純資産総額に占める当該資産の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。以下同じ。

b．投資信託証券への投資割合

委託者は、投資信託財産に属する投資信託証券の時価総額とマザーファンドの投資信託財産に属する投資信託証券の時価総額のうち投資信託財産に属するとみなした額との合計額が、投資信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図をしません。

c．投資する株式等の範囲

(イ) 委託者が投資することを指図する株式は、わが国の取引所に上場されている株式の発行会社の発行するもの、取引所に準ずる市場において取引されている株式の発行会社の発行するものとします。ただし、株主割当または社債権者割当により取得する株式については、この限りではありません。

(ロ) 上記(イ)の規定にかかわらず、上場予定の株式で目論見書等において上場されることが確認できるものについては委託者が投資することを指図することができるものとします。

d．同一銘柄への投資制限

(イ) 委託者は、投資信託財産に属する同一銘柄の株式の時価総額とマザーファンドの投資信託財産に属する当該株式の時価総額のうち投資信託財産に属するとみなした額との合計額が、投資信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図をしません。

(ロ) 委託者は、投資信託財産に属する同一銘柄の転換社債、ならびに転換社債型新株予約権付社債の時価総額とマザーファンドの投資信託財産に属する当該転換社債、ならびに転換社債型新株予約権付社債の時価総額のうち投資信託財産に属するとみなした額との合計額が、投資信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません。

e．外貨建資産への投資割合

外貨建資産への投資は行いません。

f．有価証券の貸し付けの指図および範囲

(イ) 委託者は、投資信託財産の効率的な運用に資するため、投資信託財産に属する株式および公社債を次の各号の範囲内で貸し付けの指図をすることができます。

1．株式の貸し付けは、貸付時点において、貸付株式の時価合計額が、投資信託財産で保有する株式の時価合計額の50%を超えないものとします。

2．公社債の貸し付けは、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、投資信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額を超えないものとします。

(ロ) 上記(イ)に定める限度額を超えることとなった場合には、委託者はすみやかに、その超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。

(ハ) 委託者は、有価証券の貸し付けにあたって必要と認めるときは、担保の受け入れの指図を行うものとします。



g. 公社債の借り入れ

- (イ) 委託者は、投資信託財産の効率的な運用に資するため、公社債の借り入れの指図をすることができます。なお、当該公社債の借り入れを行うにあたり担保の提供が必要と認めるときは、担保の提供の指図を行うものとします。
  - (ロ) 借り入れの指図は、当該借り入れにかかる公社債の時価総額が投資信託財産の純資産総額の範囲内とします。
  - (ハ) 投資信託財産の一部解約等の事由により、上記(ロ)の借り入れにかかる公社債の時価総額が投資信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託者はすみやかに、その超える額に相当する借り入れた公社債の一部を返還するための指図をするものとします。
- (二) 借り入れにかかる品借料は投資信託財産中から支払われます。

h. 資金の借り入れ

- (イ) 委託者は、投資信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性に資するため、一部解約に伴う支払資金の手当て(一部解約に伴う支払資金の手当てのために借り入れた資金の返済を含みます。)を目的として、または再投資にかかる収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借り入れ(コール市場を通じる場合を含みます。)の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。
  - (ロ) 一部解約に伴う支払資金の手当てにかかる借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から投資信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間または受益者への解約代金支払開始日から投資信託財産で保有する有価証券等の解約代金入金日までの間もしくは受益者への解約代金支払開始日から投資信託財産で保有する有価証券等の償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却代金、解約代金および償還金の合計額を限度とします。ただし、資金の借入額は、借入指図を行う日における投資信託財産の純資産総額の10%を超えないこととします。
  - (ハ) 収益分配金の再投資にかかる借入期間は投資信託財産から収益分配金が支払われる日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。
- (二) 借入金の利息は投資信託財産中より支払われます。

i. 利害関係人等との取引等

- (イ) 受託者は、受益者の保護に支障を生じることがないものであり、かつ信託業法、投資信託及び投資法人に関する法律ならびに関連法令に反しない場合には、委託者の指図により、投資信託財産と、受託者(第三者との間において投資信託財産のためにする取引その他の行為であって、受託者が当該第三者の代理人となって行うものを含みます。)および受託者の利害関係人、信託業務の委託先およびその利害関係人または受託者における他の投資信託財産との間で、約款に掲げる資産への投資等ならびに約款に掲げる取引その他これらに類する行為を行うことができます。
- (ロ) 受託者は、受託者がこの信託の受託者としての権限に基づいて信託事務の処理として行うことができる取引その他の行為について、受託者または受託者の利害関係人の計算で行うことができるものとします。なお、受託者の利害関係人が当該利害関係人の計算で行う場合も同様とします。

(八) 委託者は、金融商品取引法、投資信託及び投資法人に関する法律ならびに関連法令に反しない場合には、投資信託財産と、委託者、その取締役、執行役および委託者の利害関係人等(金融商品取引法第31条の4第3項および同条第4項に規定する親法人等または子法人等をいいます。)または委託者が運用の指図を行う他の投資信託財産との間で、約款に掲げる資産への投資等ならびに約款に掲げる取引その他これらに類する行為を行うことの指図をすることができ、受託者は、委託者の指図により、当該投資等ならびに当該取引、当該行為を行うことができます。

(二) 上記(イ)(ロ)(八)の場合、委託者および受託者は、受益者に対して信託法第31条第3項および同法第32条第3項の通知は行いません。

j. デリバティブ取引等に係る投資制限

デリバティブ取引等について、一般社団法人投資信託協会規則の定めるところにしたがい、合理的な方法により算出した額が投資信託財産の純資産総額を超えないものとします。

k. 信用リスク集中回避のための投資制限

一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ100分の10、合計で100分の20を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託者は、一般社団法人投資信託協会規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

法令に定める投資制限

<マネープールファンドのみ>

a. 同一の法人の発行する株式

委託者は、同一の法人の発行する株式を、その運用の指図を行うすべての委託者指図型投資信託につき投資信託財産として有する当該株式にかかる議決権の総数が、当該株式にかかる議決権の総数に100分の50の率を乗じて得た数を超えることとなる場合においては、投資信託財産をもって取得することを受託者に指図しないものとします。

(投資信託及び投資法人に関する法律第9条)

### 3【投資リスク】

#### (1) ファンドのもつリスク

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて値動きのある有価証券等(各通貨コースが投資する外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

また、投資信託は預貯金と異なります。

<各ファンド共通>

a. 信用リスク

公社債などの格付けの引き下げ等は、基準価額の下落要因となります。

公社債などの信用力の低下や格付けの引き下げ、債務不履行が生じた場合には、当該公社債などの価格は下落し、時には無価値になることもあります。これらの影響を受け、各ファンドの基準価額が下落する可能性があります。

特に各通貨コースにおいては実質的な主要投資対象がハイイールド債券となることから、投資適格の債券に投資する場合と比較して、信用リスクが高くなります。

b. 流動性リスク

投資資産の市場規模が小さいことなどで希望する価格で売買できない場合は、基準価額の下落要因となります。

有価証券などを売買する際、当該有価証券などの市場規模が小さい場合や取引量が少ない場合には、希望する時期に、希望する価格で、希望する数量を売買することができない可能性があります。特に流動性の低い有価証券などを売却する場合にはその影響を受け、各ファンドの基準価額が下落する可能性があります。

#### c. 金利変動リスク

金利の上昇(公社債の価格の下落)は、基準価額の下落要因となります。

公社債の価格は、金利水準の変化にともない変動します。一般に、金利が上昇した場合には公社債の価格は下落し、各ファンドの基準価額が下落する可能性があります。

#### <各通貨コース>

#### d. 為替変動リスク

為替相場の円高等は、基準価額の下落要因となります。

外貨建資産は、為替相場の変動により円換算価格が変動します。一般に、保有外貨建資産が現地通貨ベースで値上がりした場合でも、投資先の通貨に対して円高となった場合には、当該外貨建資産の円換算価格が下落し、各通貨コースの基準価額が下落する可能性があります。

各通貨コースが主要投資対象とする外国投資信託では原則として、各通貨コースの対象通貨を買い予約する為替取引を行うため、各通貨コースの基準価額は実質的に当該対象通貨の為替変動の影響を受けます。ただし、為替取引の状況によっては外国投資信託が保有する有価証券の発行通貨の影響を受ける場合があります。対象通貨が新興国通貨の場合には、為替変動リスクが相対的に高くなる可能性があります。各通貨コースの対象通貨の金利が実質的な投資対象資産の発行通貨の金利よりも低い場合には、その金利差相当分のコストがかかります。

#### e. カントリーリスク

投資する国・地域の政治・経済の不安定化等は、基準価額の下落要因となります。

投資対象国・地域の政治経済情勢、通貨規制、資本規制、税制などの要因によって資産価格や通貨価値が大きく変動する場合があります。これらの影響を受け、各通貨コースの基準価額が下落する可能性があります。

#### f. 特定の投資信託証券に投資するリスク

組入れる投資信託証券の運用成果の影響を大きく受けます。

各通貨コースが組み入れる投資信託証券における運用会社の運用の巧拙が、各通貨コースの運用成果に大きな影響を及ぼします。また、外国投資信託を通じて各国の有価証券に投資する場合、国内籍の投資信託から直接投資を行う場合に比べて、税制が相対的に不利となる可能性があります。

<各ファンド共通>

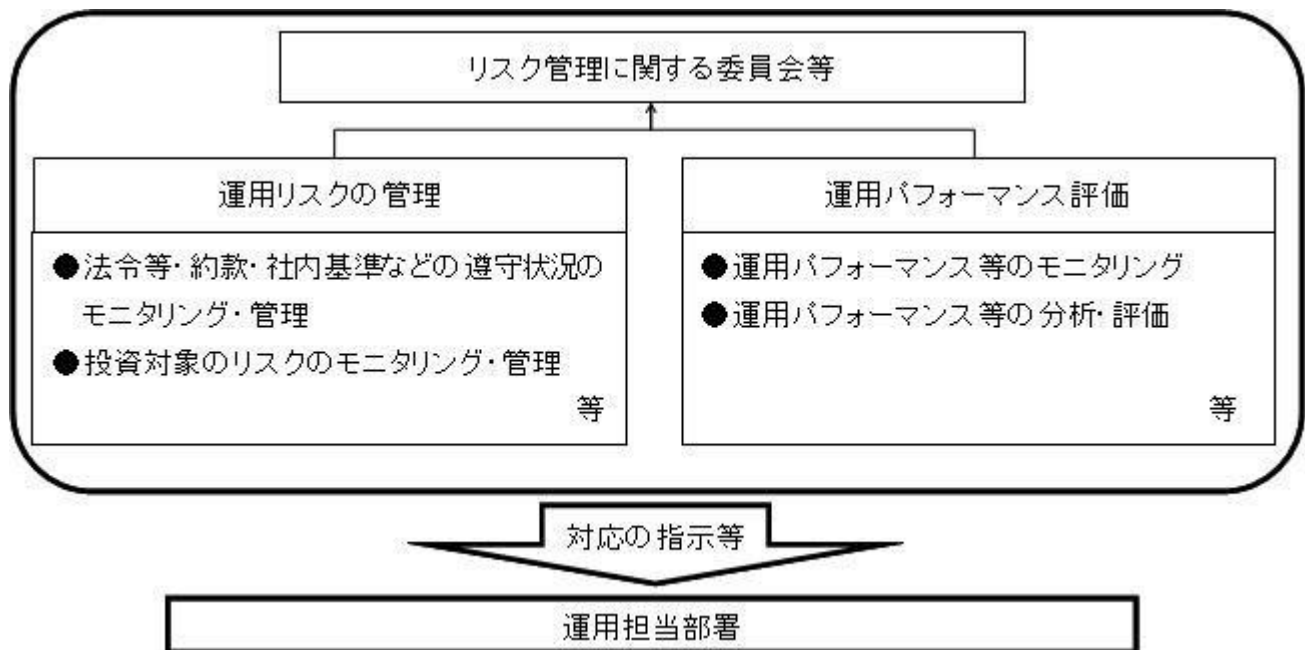
g. 投資信託に関する一般的ナリスクおよびその他の留意点

- (イ) 各ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- (ロ) 有価証券の貸付等においては、取引相手先の倒産等による決済不履行リスクを伴います。
- (ハ) 法令や税制が変更される場合に、投資信託を保有する受益者が不利益を被る可能性があります。
- (ニ) 投資信託財産の状況によっては、目指す運用が行われないことがあります。また、投資信託財産の減少の状況によっては、委託者が目的とする運用が困難と判断した場合、安定運用に切り替えることがあります。
- (ホ) 投資した資産の流動性が低下し、当該資産の売却・換金が困難になる場合などがあります。その結果、投資者の換金請求に伴う資金の手当てに支障が生じる場合などには、換金のお申し込みの受付を中止すること、およびすでに受け付けた換金のお申し込みを取り消す場合があります。
- (ヘ) 短期間に相当金額の解約申し込みがあった場合には、解約資金を手当てするために組入る有価証券を市場実勢より大幅に安い価格で売却せざるを得ないことがあります。この場合、基準価額が下落する要因となり、損失を被ることがあります。
- (ト) 証券市場および外国為替市場は、世界的な経済事情の急変またはその国における天災地変、政変、経済事情の変化もしくは政策の変更等の諸事情により閉鎖されることがあります。これにより各ファンドの運用が影響を被って基準価額の下落につながる可能性があります。
- (チ) 投資信託証券には、ファミリーファンド方式で運用をするものがあります。当該投資信託証券（ベビーファンド）が投資対象とするマザーファンドを同じく投資対象としている他のベビーファンドにおいて、設定・解約や資産構成の変更等によりマザーファンドの組入る有価証券等に売買が生じた場合、その売買による組入る有価証券等の価格の変化や売買手数料等の負担がマザーファンドの基準価額に影響を及ぼすことがあります。この影響を受け、当該投資信託証券（ベビーファンド）の価額が変動する可能性があります。
- マネープールファンドはファミリーファンド方式で運用しているため、他のベビーファンドの影響を受けマザーファンドの基準価額が下落した場合には、マネープールファンドの基準価額が下落する可能性があります。
- また、各通貨コースが主要投資対象とする投資信託証券にはファミリーファンド方式を採用している場合があり、上記のような要因で、各通貨コースの基準価額が変動する可能性があります。

## (2) リスク管理体制

委託会社におけるファンドの投資リスクに対する管理体制については、以下のとおりです。

- ・運用リスクの管理：運用担当部署から独立したコンプライアンス・リスク管理担当部署が、運用リスクを把握、管理し、その結果に基づき運用担当部署へ対応の指示等を行うことにより、適切な管理を行います。
- ・運用パフォーマンス評価：運用担当部署から独立したリスク管理担当部署が、ファンドの運用パフォーマンスについて定期的に分析を行い、結果の評価を行います。
- ・リスク管理に関する委員会等：上記のとおり運用リスクの管理状況、運用パフォーマンス評価等の報告を受け、リスク管理に関する委員会等は総合的な見地から運用状況全般の管理・評価を行います。



リスク管理体制は2020年3月31日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

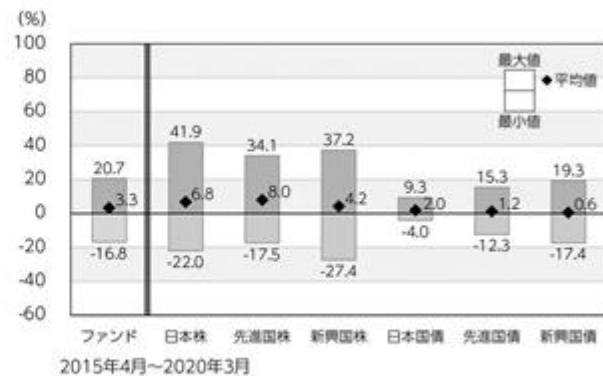
## &lt;参考情報&gt;

## ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移

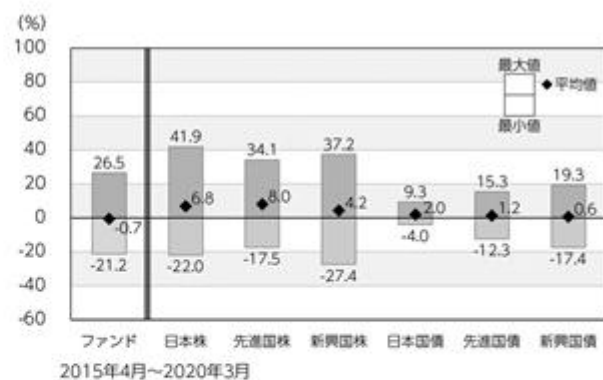
## 米ドルコース



## ファンドと他の代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較



## 豪ドルコース



\*ファンドの分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した基準価額が記載されていますので、実際の基準価額とは異なる場合があります。

\*ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されていますので、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

\*上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

\*全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

## <参考情報>

### ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移

#### ブラジルリアルコース



#### メキシコペソコース



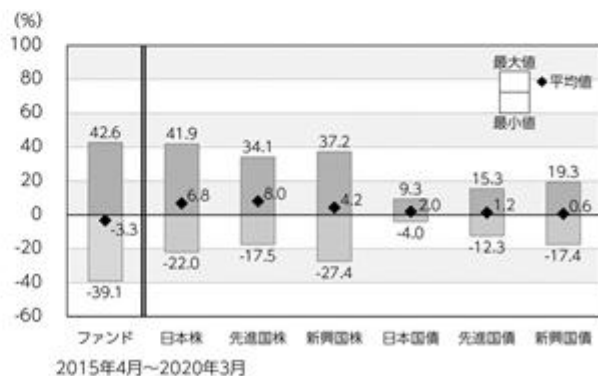
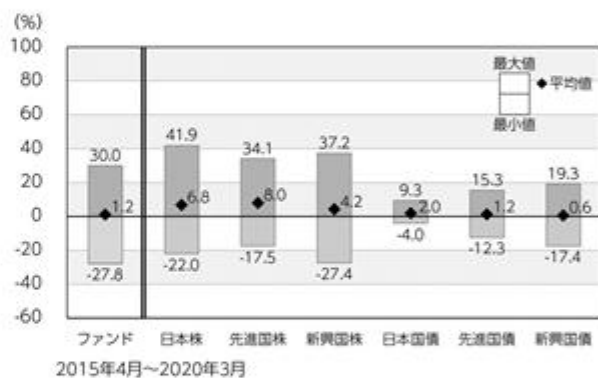
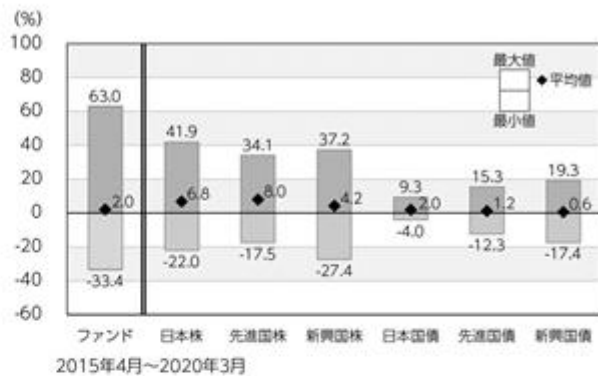
#### トルコリラコース



\*ファンドの分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した基準価額が記載されていますので、実際の基準価額とは異なる場合があります。

\*ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されていますので、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

### ファンドと他の代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較



\*上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

\*全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

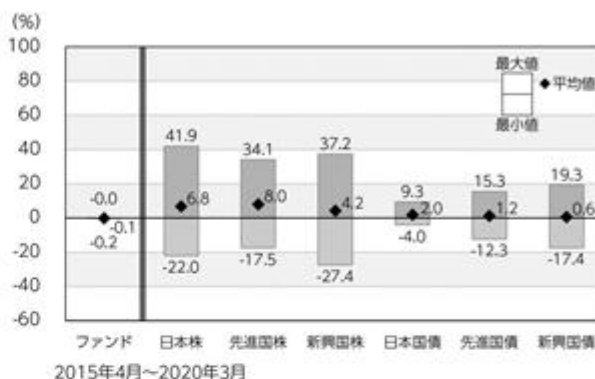
## <参考情報>

### ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移

#### マネーブルファンド



### ファンドと他の代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較



\*ファンドの分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した基準価額が記載されていますので、実際の基準価額とは異なる場合があります。

\*ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されていますので、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

\*上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

\*全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

### 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数(TOPIX) (配当込み)	「東証株価指数(TOPIX)」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所(統東京証券取引所)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、統東京証券取引所が有しています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)	「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)	「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
日本国債	NOMURA-BPI国債	「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)	「FTSE世界国債インデックス(除く日本)」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバシファイド(円ベース)	「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバシファイド」は、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注)海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



#### 4【手数料等及び税金】

##### （１）【申込手数料】

###### （イ）申込手数料

###### <各通貨コース>

申込手数料は、取得申込受付日の翌営業日の基準価額に、3.3%（税抜3.0%）を上限として販売会社がそれぞれ独自に定める手数料率を乗じて得た金額となります。商品および投資環境の説明・情報提供、購入の事務手続きなどの対価として販売会社にお支払いいただきます。当該手数料には消費税等が含まれます。

手数料について、詳しくは販売会社または下記にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

コールセンター 0120-104-694

（受付時間は営業日の午前9時～午後5時です。）

インターネットホームページ

<http://www.am-one.co.jp/>

なお、「分配金再投資コース」で収益分配金を再投資する場合は無手数料です。

ファンドの受益権の取得申込者が「償還乗り換え」<sup>1</sup>または「償還前乗り換え」<sup>2</sup>によりファンドの受益権を取得する場合、申込手数料の優遇を受けることができる場合があります。

ただし、上記の申込手数料の優遇に関しては、優遇制度の取り扱い、優遇の内容、優遇を受けるための条件等は販売会社ごとに異なりますので、詳しくは各販売会社でご確認ください。

1「償還乗り換え」とは、取得申込受付日前の一定期間内に既に償還となった証券投資信託の償還金等をもって、その支払いを行った販売会社でファンドの受益権を取得する場合をいいます。

2「償還前乗り換え」とは、償還することが決定している証券投資信託の償還日前の一定期間内において、当該証券投資信託の一部解約金をもって、その支払いを行った販売会社でファンドの受益権を取得する場合をいいます。

###### <マネープールファンド>

申込手数料はかかりません。

###### （ロ）スイッチング手数料

###### <各ファンド共通>

「新光グローバル・ハイイールド債券ファンド」構成ファンド間において、乗り換え（以下「スイッチング」<sup>3</sup>）といえます。）が可能です。また、委託者が設定・運用する特定のファンドとの間においてスイッチングができる場合があります。ただし、マネープールファンドのお買い付けはスイッチングの場合に限定します。

ファンド間のスイッチング手数料につきましては、販売会社にお問い合わせください。ただし、マネープールファンドへのスイッチングにつきましては無手数料とします。

スイッチングのお取り扱いの有無や対象ファンドなどは、販売会社により異なります。また、販売会社によっては、一部のファンドのみのお取り扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社でご確認ください。

なお、スイッチングの際には、換金時と同様の費用・税金がかかりますのでご注意ください。

3 「スイッチング」とは、「新光グローバル・ハイイールド債券ファンド」を構成するファンド(委託者が設定・運用する特定のファンドを含みます。)を換金した場合の手取金をもって、その換金請求受付日の販売会社の営業時間内に「新光グローバル・ハイイールド債券ファンド」を構成する他のファンド(当該特定のファンドを含みません。)の取得申し込みをすることをいいます。

## (2) 【換金(解約)手数料】

### a. 解約時手数料

<各ファンド共通>

ご解約時の手数料はありません。

### b. 信託財産留保額

<各通貨コース>

ご解約時に、解約申込受付日の翌営業日の基準価額に0.3%の率を乗じて得た額が信託財産留保額として控除されます。

「信託財産留保額」とは、ご解約による組入有価証券などの売却等費用について受益者間の公平を期するため、投資信託を途中解約される投資家にご負担いただくものです。なお、これは運用資金の一部として投資信託財産に組み入れられます。

<マネープールファンド>

信託財産留保額はありません。

## (3) 【信託報酬等】

## &lt;各通貨コース&gt;

各ファンド	<p>ファンドの日々の純資産総額に対して年率1.188% (税抜1.08%)</p> <p>信託報酬 = 運用期間中の基準価額 × 信託報酬率</p> <p>運用管理費用 (信託報酬) は、毎日計上 (ファンドの基準価額に反映) され、毎計算期末または信託終了のとき信託報酬にかかる消費税等に相当する金額とともにファンドから支払われます。</p> <table border="1" data-bbox="432 398 1380 696"> <thead> <tr> <th>支払先</th> <th>内訳 (税抜)</th> <th>主な役務</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託会社</td> <td>年率0.35%</td> <td>信託財産の運用、目論見書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価</td> </tr> <tr> <td>販売会社</td> <td>年率0.70%</td> <td>購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価</td> </tr> <tr> <td>受託会社</td> <td>年率0.03%</td> <td>運用財産の保管・管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価</td> </tr> </tbody> </table>	支払先	内訳 (税抜)	主な役務	委託会社	年率0.35%	信託財産の運用、目論見書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価	販売会社	年率0.70%	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価	受託会社	年率0.03%	運用財産の保管・管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
支払先	内訳 (税抜)	主な役務											
委託会社	年率0.35%	信託財産の運用、目論見書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価											
販売会社	年率0.70%	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価											
受託会社	年率0.03%	運用財産の保管・管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価											
投資対象とする 外国投資信託	<p>ハイイールド・ボンド・ファンドの純資産総額に対して年率0.50%程度</p> <p>(注) ただし、ハイイールド・ボンド・ファンドの報酬の中には取引頻度に応じた額や最低支払額が設定されているものがあるため、当該投資信託における取引頻度や資産規模などにより上記料率を上回る場合があります。</p>												
実質的な負担	<p>各ファンドの日々の純資産総額に対して年率1.688% (税抜1.58%) 程度</p> <p>上記はハイイールド・ボンド・ファンドを100%組入れた場合の数値です。実際の運用管理費用 (信託報酬) は、投資信託証券の組入状況に応じて変動します。</p>												

## &lt;マネープールファンド&gt;

ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.066% ~ 年率0.660% (税抜0.06% ~ 税抜0.60%)

信託報酬 = 運用期間中の基準価額 × 信託報酬率

運用管理費用 (信託報酬) は、毎日計上 (ファンドの基準価額に反映) され、毎計算期末または信託終了のとき信託報酬にかかる消費税等に相当する金額とともにファンドから支払われます。

当月の最初の営業日（委託会社の営業日をいいます。以下同じ。）から翌月の最初の営業日前日までの日々の信託報酬率は、月中平均コール・レート（短資協会が日々発表する無担保コール翌日物の加重平均レートの前月における平均値）に応じた下表の率とします。

月中平均コール・レート	0.15%未満	0.15%以上 0.30%未満	0.30%以上 0.60%未満	0.60%以上 1.00%未満	1.00%以上	-
信託報酬 （対純資産総額・年率） 税込 （税抜）	0.066% （0.06%）	0.165% （0.15%）	0.330% （0.30%）	0.550% （0.50%）	0.660% （0.60%）	-
支払先	内訳（税抜）（年率）					主な役務
委託会社	0.02%	0.05%	0.10%	0.20%	0.30%	信託財産の運用、目論見書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
販売会社	0.02%	0.05%	0.10%	0.20%	0.20%	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
受託会社	0.02%	0.05%	0.10%	0.10%	0.10%	運用財産の保管・管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価

#### （４）【その他の手数料等】

##### <各通貨コース>

- a. 投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、監査法人に支払うファンドの監査報酬、当該監査報酬にかかる消費税等に相当する金額および受託者の立て替えた立替金の利息（以下「諸経費」といいます。）は、受益者の負担とし、投資信託財産中から支払われます。
- b. 投資信託財産にかかる監査報酬は、毎日計上（ファンドの基準価額に反映）され、毎計算期末または信託終了のときに、当該監査報酬にかかる消費税等に相当する金額とともに投資信託財産中から支払われます。
- c. 証券取引に伴う手数料・税金等、各ファンドの組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料は、投資信託財産が負担します。この他に、売買委託手数料にかかる消費税および資産を外国で保管する場合の費用についても投資信託財産が負担します。
- d. 各通貨コースが投資対象とするハイイールド・ボンド・ファンドにおいても、有価証券等の売買手数料、税金、監査報酬、弁護士費用および登録機関兼名義書換代理人費用、当初設定にかかる諸費用などがかかります。
- e. 「その他の手数料等」については、定率でないもの、定時に見直されるもの、売買条件などに応じて異なるものなどがあるため、当該費用および合計額などを表示することができません。

手数料などの合計額については、購入金額や保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

<マネープールファンド>

- a . 投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、監査法人に支払うファンドの監査報酬、当該監査報酬にかかる消費税等に相当する金額および受託者の立て替えた立替金の利息（以下「諸経費」といいます。）は、受益者の負担とし、投資信託財産中から支払われます。
- b . 投資信託財産にかかる監査報酬は、毎日計上（ファンドの基準価額に反映）され、毎計算期末または信託終了のときに、当該監査報酬にかかる消費税等に相当する金額とともに投資信託財産中から支払われます。
- c . 証券取引に伴う手数料・税金等、当ファンドの組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料は、投資信託財産が負担します。この他に、売買委託手数料にかかる消費税等および資産を外国で保管する場合の費用ならびに先物取引・オプション取引等に要する費用についても投資信託財産が負担します。
- d . 「その他の手数料等」については、定率でないもの、定時に見直されるもの、売買条件などに応じて異なるものなどがあるため、当該費用および合計額などを表示することができません。  
手数料などの合計額については、購入金額や保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

（５）【課税上の取扱い】

各ファンドは、課税上「株式投資信託」として取扱われます。

a . 個人の受益者に対する課税

（イ）収益分配時

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については、配当所得として、20.315%（所得税15.315%（復興特別所得税を含みます。）および地方税5%）の税率で源泉徴収による申告不要制度が適用されます。なお、確定申告により、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用なし）のいずれかを選択することもできます。

詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

（ロ）解約時および償還時

解約時および償還時の差益（譲渡益）については、譲渡所得として、20.315%（所得税15.315%（復興特別所得税を含みます。）および地方税5%）の税率での申告分離課税が適用されます。

原則として確定申告が必要ですが、特定口座（源泉徴収口座）を利用する場合、20.315%（所得税15.315%（復興特別所得税を含みます。）および地方税5%）の税率による源泉徴収が行われます。

解約価額および償還価額から取得費用（申込手数料および当該手数料にかかる消費税等に相当する金額を含みます。）を控除した利益。

買取請求による換金の際の課税については、販売会社にお問い合わせください。

## (八) 損益通算について

解約(換金)時および償還時の差損(譲渡損)については、確定申告を行うことにより上場株式等(上場株式、上場投資信託(ETF)、上場不動産投資信託(REIT)、公募株式投資信託および特定公社債等(公募公社債投資信託を含みます。))など。以下同じ。)の譲渡益ならびに上場株式等の配当所得および利子所得の金額(配当所得については申告分離課税を選択したものに限り、)との損益通算ならびに3年間の繰越控除の対象とすることができます。また、特定口座(源泉徴収口座)をご利用の場合、その口座内において損益通算を行います(確定申告不要)。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

少額投資非課税制度「愛称：NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「愛称：ジュニアNISA(ジュニアニーサ)」をご利用の場合  
NISAおよびジュニアNISAは、上場株式や公募株式投資信託などにかかる非課税制度です。毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。なお、同非課税口座内で少額上場株式等にかかる譲渡損失が生じた場合には、課税上譲渡損失はないものとみなされ、他の口座の上場株式等の譲渡益および上場株式等の配当所得等の金額との損益通算を行うことはできませんので、ご注意ください。

### b. 法人の受益者に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の個別元本超過額については、15.315%(所得税15.315%(復興特別所得税を含みます。))の税率による源泉徴収が行われます。なお、地方税の源泉徴収は行われません。

買取請求による換金の際の課税については、販売会社にお問い合わせください。  
なお、益金不算入制度の適用はありません。

外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

上記は、2020年3月末現在のものです。税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になる場合があります。

課税上の取扱いの詳細については税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## 個別元本方式について

受益者毎の信託時の受益権の価額等を当該受益者の元本とする個別元本方式は次のとおりです。

### c．個別元本について

(イ) 受益者毎の信託時の受益権の価額等（申込手数料および当該申込手数料にかかる消費税等に相当する金額は含まれません。）が当該受益者の元本（個別元本）にあたります。

(ロ) 受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行うつど当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。

ただし、同一ファンドの受益権を複数の販売会社で取得する場合については販売会社毎に個別元本の算出が行われます。また、同一販売会社であっても複数支店等で同一ファンドの受益権を取得する場合は当該支店等毎に、「分配金受取コース」と「分配金再投資コース」の両コースで同一ファンドの受益権を取得する場合はコース別に個別元本の算出が行われる場合があります。

(ハ) 収益分配金に元本払戻金（特別分配金）が含まれる場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。（「元本払戻金（特別分配金）」については、「d．収益分配金の課税について」を参照。）

### d．収益分配金の課税について

収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分）の区分があります。

収益分配の際、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額の場合または当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

なお、収益分配金に元本払戻金（特別分配金）が含まれる場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

税法が改正された場合等は、上記内容が変更になることがあります。

5【運用状況】

(1)【投資状況】

新光グローバル・ハイイールド債券ファンド米ドルコース

令和2年3月31日現在

資産の種類	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	223,564,213	96.64
内 ケイマン諸島	223,564,213	96.64
親投資信託受益証券	300,477	0.13
内 日本	300,477	0.13
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）	7,473,536	3.23
純資産総額	231,338,226	100.00

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

（注2）資産の種類の内書は、当該資産の発行体又は上場金融商品取引所の国/地域別に表示しています。

新光グローバル・ハイイールド債券ファンド豪ドルコース

令和2年3月31日現在

資産の種類	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	910,735,957	97.02
内 ケイマン諸島	910,735,957	97.02
親投資信託受益証券	1,201,909	0.13
内 日本	1,201,909	0.13
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）	26,760,945	2.85
純資産総額	938,698,811	100.00

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

（注2）資産の種類の内書は、当該資産の発行体又は上場金融商品取引所の国/地域別に表示しています。

新光グローバル・ハイイールド債券ファンドブラジルリアルコース

令和2年3月31日現在

資産の種類	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	4,306,058,568	97.59
内 ケイマン諸島	4,306,058,568	97.59
親投資信託受益証券	6,410,185	0.15
内 日本	6,410,185	0.15
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）	99,768,135	2.26
純資産総額	4,412,236,888	100.00

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

（注2）資産の種類の内書は、当該資産の発行体又は上場金融商品取引所の国/地域別に表示しています。



## 新光グローバル・ハイイールド債券ファンドメキシコペソコース

令和2年3月31日現在

資産の種類	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	77,263,726	96.05
内 ケイマン諸島	77,263,726	96.05
親投資信託受益証券	99,901	0.12
内 日本	99,901	0.12
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）	3,081,624	3.83
純資産総額	80,445,251	100.00

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

（注2）資産の種類の内書は、当該資産の発行体又は上場金融商品取引所の国/地域別に表示しています。

## 新光グローバル・ハイイールド債券ファンドトルコリラコース

令和2年3月31日現在

資産の種類	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	383,367,151	97.61
内 ケイマン諸島	383,367,151	97.61
親投資信託受益証券	99,901	0.03
内 日本	99,901	0.03
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）	9,286,515	2.36
純資産総額	392,753,567	100.00

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

（注2）資産の種類の内書は、当該資産の発行体又は上場金融商品取引所の国/地域別に表示しています。

## 新光グローバル・ハイイールド債券ファンドマネーブルファンド

令和2年3月31日現在

資産の種類	時価合計（円）	投資比率（％）
親投資信託受益証券	949,706	95.19
内 日本	949,706	95.19
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）	48,017	4.81
純資産総額	997,723	100.00

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

（注2）資産の種類の内書は、当該資産の発行体又は上場金融商品取引所の国/地域別に表示しています。

（参考）

## 国内短期公社債マザーファンド

令和2年3月31日現在

資産の種類	時価合計（円）	投資比率（％）
地方債証券	14,181,300	17.69
内 日本	14,181,300	17.69
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）	65,967,118	82.31
純資産総額	80,148,418	100.00

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

（注2）資産の種類の内書は、当該資産の発行体又は上場金融商品取引所の国/地域別に表示しています。

## (2) 【投資資産】

## 【投資有価証券の主要銘柄】

新光グローバル・ハイイールド債券ファンド米ドルコース

令和2年3月31日現在

順位	銘柄名 発行体の国/地域	種類	数量	簿価単価 簿価金額 (円)	評価単価 評価金額 (円)	利率 (%) 償還日	投資 比率 (%)
1	WAグローバル・ハイ・ イールド・ボンド(マル チ・カレンシー)ファンド - USDクラス ケイマン諸島	投資信 託受益 証券	218,751,677	0.9922	1.0220	-	96.64
				217,067,289	223,564,213	-	
2	国内短期公社債マザーファ ンド 日本	親投資 信託受 益証券	298,389	1.0069	1.0070	-	0.13
				300,477	300,477	-	

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

投資有価証券の種類別投資比率

令和2年3月31日現在

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	96.64
親投資信託受益証券	0.13
合計	96.77

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

新光グローバル・ハイイールド債券ファンド豪ドルコース

令和2年3月31日現在

順位	銘柄名 発行体の国/地域	種類	数量	簿価単価 簿価金額 (円)	評価単価 評価金額 (円)	利率 (%) 償還日	投資 比率 (%)
1	WAグローバル・ハイ・ イールド・ボンド(マル チ・カレンシー)ファンド - AUDクラス ケイマン諸島	投資信 託受益 証券	2,512,375,056	0.3388	0.3625	-	97.02
				851,356,998	910,735,957	-	
2	国内短期公社債マザーファ ンド 日本	親投資 信託受 益証券	1,193,555	1.0069	1.0070	-	0.13
				1,201,909	1,201,909	-	

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

## 投資有価証券の種類別投資比率

令和2年3月31日現在

種類	投資比率（％）
投資信託受益証券	97.02
親投資信託受益証券	0.13
合計	97.15

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

## 投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

## 新光グローバル・ハイイールド債券ファンドブラジルリアルコース

令和2年3月31日現在

順位	銘柄名 発行体の国/地域	種類	数量	簿価単価 簿価金額 (円)	評価単価 評価金額 (円)	利率 (％) 償還日	投資 比率 (％)
1	WAグローバル・ハイ・ イールド・ボンド（マル チ・カレンシー）ファンド - B R Lクラス ケイマン諸島	投資信 託受益 証券	49,781,023,913	0.0842	0.0865	-	97.59
				4,196,540,315	4,306,058,568	-	
2	国内短期公社債マザーファ ンド 日本	親投資 信託受 益証券	6,365,626	1.0069	1.0070	-	0.15
				6,410,185	6,410,185	-	

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

## 投資有価証券の種類別投資比率

令和2年3月31日現在

種類	投資比率（％）
投資信託受益証券	97.59
親投資信託受益証券	0.15
合計	97.74

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

## 投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

## 新光グローバル・ハイイールド債券ファンドメキシコペソコース

令和2年3月31日現在

順位	銘柄名 発行体の国/地域	種類	数量	簿価単価 簿価金額 (円)	評価単価 評価金額 (円)	利率 (%) 償還日	投資 比率 (%)
1	WAグローバル・ハイ・ イールド・ボンド(マルチ・ カレンシー)ファンド - M X Nクラス ケイマン諸島	投資信 託受益 証券	194,520,962	0.3709	0.3972	-	96.05
				72,167,276	77,263,726	-	
2	国内短期公社債マザーファ ンド 日本	親投資 信託受 益証券	99,207	1.0069	1.0070	-	0.12
				99,901	99,901	-	

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

## 投資有価証券の種類別投資比率

令和2年3月31日現在

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	96.05
親投資信託受益証券	0.12
合計	96.17

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

## 投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

## 新光グローバル・ハイイールド債券ファンドトルコリラコース

令和2年3月31日現在

順位	銘柄名 発行体の国/地域	種類	数量	簿価単価 簿価金額 (円)	評価単価 評価金額 (円)	利率 (%) 償還日	投資 比率 (%)
1	WAグローバル・ハイ・ イールド・ボンド(マルチ・ カレンシー)ファンド - T R Yクラス ケイマン諸島	投資信 託受益 証券	1,871,909,920	0.2014	0.2048	-	97.61
				377,189,848	383,367,151	-	
2	国内短期公社債マザーファ ンド 日本	親投資 信託受 益証券	99,207	1.0069	1.0070	-	0.03
				99,901	99,901	-	

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

## 投資有価証券の種類別投資比率

令和2年3月31日現在

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	97.61
親投資信託受益証券	0.03
合計	97.64

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

## 投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

## 新光グローバル・ハイイールド債券ファンドマネープールファンド

令和2年3月31日現在

順位	銘柄名 発行体の国/地域	種類	数量	簿価単価 簿価金額 (円)	評価単価 評価金額 (円)	利率 (%) 償還日	投資 比率 (%)
1	国内短期公社債マザーファンド 日本	親投資 信託受 益証券	943,105	1.0069 949,706	1.0070 949,706	- -	95.19

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

## 投資有価証券の種類別投資比率

令和2年3月31日現在

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	95.19
合計	95.19

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

## 投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

(参考)

## 国内短期公社債マザーファンド

令和2年3月31日現在

順位	銘柄名 発行体の国/地域	種類	数量	簿価単価 簿価金額 (円)	評価単価 評価金額 (円)	利率 (%) 償還日	投資 比率 (%)
1	348回 大阪府公募公債 日本	地方債 証券	14,000,000	101.29 14,181,300	101.29 14,181,300	1.32 2021/3/30	17.69

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

## 投資有価証券の種類別投資比率

令和2年3月31日現在

種類	投資比率(%)
地方債証券	17.69
合計	17.69

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

## 投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

## 【投資不動産物件】

## 新光グローバル・ハイイールド債券ファンド米ドルコース

該当事項はありません。

新光グローバル・ハイイールド債券ファンド豪ドルコース  
該当事項はありません。

新光グローバル・ハイイールド債券ファンドブラジルリアルコース  
該当事項はありません。

新光グローバル・ハイイールド債券ファンドメキシコペソコース  
該当事項はありません。

新光グローバル・ハイイールド債券ファンドトルコリラコース  
該当事項はありません。

新光グローバル・ハイイールド債券ファンドマネープールファンド  
該当事項はありません。

(参考)

国内短期公社債マザーファンド  
該当事項はありません。

### 【その他投資資産の主要なもの】

新光グローバル・ハイイールド債券ファンド米ドルコース  
該当事項はありません。

新光グローバル・ハイイールド債券ファンド豪ドルコース  
該当事項はありません。

新光グローバル・ハイイールド債券ファンドブラジルリアルコース  
該当事項はありません。

新光グローバル・ハイイールド債券ファンドメキシコペソコース  
該当事項はありません。

新光グローバル・ハイイールド債券ファンドトルコリラコース  
該当事項はありません。

新光グローバル・ハイイールド債券ファンドマネープールファンド  
該当事項はありません。

(参考)

国内短期公社債マザーファンド  
該当事項はありません。

## (3) 【運用実績】

## 【純資産の推移】

新光グローバル・ハイイールド債券ファンド米ドルコース

直近日（令和2年3月末）、同日前1年以内における各月末及び下記計算期間末における純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額 （分配落） （百万円）	純資産総額 （分配付） （百万円）	1口当たりの 純資産額 （分配落）（円）	1口当たりの 純資産額 （分配付）（円）
第1特定期間末 （平成23年 3月25日）	742	745	1.0108	1.0158
第2特定期間末 （平成23年 9月26日）	817	821	0.8876	0.8926
第3特定期間末 （平成24年 3月26日）	494	496	1.0033	1.0083
第4特定期間末 （平成24年 9月25日）	345	346	0.9783	0.9833
第5特定期間末 （平成25年 3月25日）	384	386	1.2121	1.2171
第6特定期間末 （平成25年 9月25日）	591	593	1.2364	1.2414
第7特定期間末 （平成26年 3月25日）	606	608	1.3146	1.3196
第8特定期間末 （平成26年 9月25日）	561	567	1.3326	1.3481
第9特定期間末 （平成27年 3月25日）	659	666	1.3401	1.3556
第10特定期間末 （平成27年 9月25日）	510	516	1.1920	1.2075
第11特定期間末 （平成28年 3月25日）	360	366	1.0073	1.0228
第12特定期間末 （平成28年 9月26日）	317	320	0.9092	0.9192
第13特定期間末 （平成29年 3月27日）	339	343	0.9659	0.9759
第14特定期間末 （平成29年 9月25日）	430	434	0.9518	0.9618
第15特定期間末 （平成30年 3月26日）	363	367	0.8233	0.8333
第16特定期間末 （平成30年 9月25日）	315	319	0.8432	0.8532
第17特定期間末 （平成31年 3月25日）	294	296	0.8028	0.8078
第18特定期間末 （令和1年9月25日）	263	265	0.7980	0.8030
第19特定期間末 （令和2年3月25日）	225	227	0.6849	0.6899
平成31年3月末日	280	-	0.8084	-
4月末日	278	-	0.8233	-
令和1年5月末日	267	-	0.8046	-

6月末日	267	-	0.8039	-
7月末日	268	-	0.8112	-
8月末日	260	-	0.7891	-
9月末日	265	-	0.8021	-
10月末日	266	-	0.8069	-
11月末日	266	-	0.8086	-
12月末日	269	-	0.8195	-
令和2年1月末日	267	-	0.8114	-
2月末日	267	-	0.8110	-
3月末日	231	-	0.7045	-

### 新光グローバル・ハイイールド債券ファンド豪ドルコース

直近日(令和2年3月末)、同日前1年以内における各月末及び下記計算期間末における純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額 (分配落) (百万円)	純資産総額 (分配付) (百万円)	1口当たりの 純資産額 (分配落)(円)	1口当たりの 純資産額 (分配付)(円)
第1特定期間末 (平成23年 3月25日)	7,159	7,221	1.0397	1.0487
第2特定期間末 (平成23年 9月26日)	12,305	12,432	0.8677	0.8767
第3特定期間末 (平成24年 3月26日)	14,892	15,023	1.0276	1.0366
第4特定期間末 (平成24年 9月25日)	11,378	11,482	0.9897	0.9987
第5特定期間末 (平成25年 3月25日)	9,908	9,981	1.2247	1.2337
第6特定期間末 (平成25年 9月25日)	7,114	7,171	1.1227	1.1317
第7特定期間末 (平成26年 3月25日)	5,936	5,983	1.1446	1.1536
第8特定期間末 (平成26年 9月25日)	5,432	5,530	1.1111	1.1311
第9特定期間末 (平成27年 3月25日)	4,962	5,065	0.9612	0.9812
第10特定期間末 (平成27年 9月25日)	3,763	3,868	0.7186	0.7386
第11特定期間末 (平成28年 3月25日)	2,830	2,926	0.5890	0.6090
第12特定期間末 (平成28年 9月26日)	3,096	3,164	0.5000	0.5110
第13特定期間末 (平成29年 3月27日)	3,223	3,294	0.4991	0.5101
第14特定期間末 (平成29年 9月25日)	3,416	3,472	0.4859	0.4939
第15特定期間末 (平成30年 3月26日)	2,616	2,669	0.3912	0.3992
第16特定期間末 (平成30年 9月25日)	1,942	1,962	0.3799	0.3839



第17特定期間末 (平成31年 3月25日)	1,538	1,546	0.3538	0.3558
第18特定期間末 (令和1年9月25日)	1,295	1,303	0.3362	0.3382
第19特定期間末 (令和2年3月25日)	882	889	0.2483	0.2503
平成31年3月末日	1,534	-	0.3551	-
4月末日	1,528	-	0.3588	-
令和1年5月末日	1,448	-	0.3452	-
6月末日	1,395	-	0.3496	-
7月末日	1,352	-	0.3464	-
8月末日	1,277	-	0.3298	-
9月末日	1,297	-	0.3369	-
10月末日	1,310	-	0.3434	-
11月末日	1,287	-	0.3396	-
12月末日	1,317	-	0.3539	-
令和2年1月末日	1,238	-	0.3367	-
2月末日	1,183	-	0.3300	-
3月末日	938	-	0.2654	-

## 新光グローバル・ハイイールド債券ファンドブラジルリアルコース

直近日（令和2年3月末）、同日前1年以内における各月末及び下記計算期間末における純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額 (分配落) (百万円)	純資産総額 (分配付) (百万円)	1口当たりの 純資産額 (分配落)(円)	1口当たりの 純資産額 (分配付)(円)
第1特定期間末 (平成23年 3月25日)	24,548	24,918	0.9951	1.0101
第2特定期間末 (平成23年 9月26日)	60,666	61,877	0.7519	0.7669
第3特定期間末 (平成24年 3月26日)	98,052	99,849	0.8182	0.8332
第4特定期間末 (平成24年 9月25日)	77,307	79,030	0.6730	0.6880
第5特定期間末 (平成25年 3月25日)	97,143	99,017	0.7778	0.7928
第6特定期間末 (平成25年 9月25日)	79,321	81,062	0.6835	0.6985
第7特定期間末 (平成26年 3月25日)	62,790	64,268	0.6373	0.6523
第8特定期間末 (平成26年 9月25日)	54,066	55,424	0.5972	0.6122
第9特定期間末 (平成27年 3月25日)	38,263	39,570	0.4389	0.4539
第10特定期間末 (平成27年 9月25日)	27,061	28,234	0.2770	0.2890
第11特定期間末 (平成28年 3月25日)	23,335	23,806	0.2477	0.2527

第12特定期間末 (平成28年 9月26日)	19,971	20,352	0.2615	0.2665
第13特定期間末 (平成29年 3月27日)	18,840	19,167	0.2880	0.2930
第14特定期間末 (平成29年 9月25日)	17,070	17,374	0.2811	0.2861
第15特定期間末 (平成30年 3月26日)	12,538	12,819	0.2224	0.2274
第16特定期間末 (平成30年 9月25日)	9,131	9,277	0.1878	0.1908
第17特定期間末 (平成31年 3月25日)	8,076	8,164	0.1842	0.1862
第18特定期間末 (令和1年9月25日)	6,800	6,880	0.1686	0.1706
第19特定期間末 (令和2年3月25日)	4,303	4,378	0.1146	0.1166
平成31年3月末日	7,967	-	0.1827	-
4月末日	7,944	-	0.1854	-
令和1年5月末日	7,609	-	0.1803	-
6月末日	7,678	-	0.1841	-
7月末日	7,793	-	0.1888	-
8月末日	6,842	-	0.1674	-
9月末日	6,866	-	0.1701	-
10月末日	7,023	-	0.1760	-
11月末日	6,567	-	0.1659	-
12月末日	6,806	-	0.1757	-
令和2年1月末日	6,308	-	0.1644	-
2月末日	5,983	-	0.1564	-
3月末日	4,412	-	0.1175	-

#### 新光グローバル・ハイイールド債券ファンドメキシコペソコース

直近日（令和2年3月末）、同日前1年以内における各月末及び下記計算期間末における純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額 (分配落) (百万円)	純資産総額 (分配付) (百万円)	1口当たりの 純資産額 (分配落)(円)	1口当たりの 純資産額 (分配付)(円)
第1特定期間末 (平成25年 9月25日)	24	24	1.0733	1.0803
第2特定期間末 (平成26年 3月25日)	31	31	1.1083	1.1153
第3特定期間末 (平成26年 9月25日)	43	44	1.1377	1.1447
第4特定期間末 (平成27年 3月25日)	41	41	1.0632	1.0702
第5特定期間末 (平成27年 9月25日)	13	13	0.8684	0.8754
第6特定期間末 (平成28年 3月25日)	11	11	0.7436	0.7506

第7特定期間末 (平成28年 9月26日)	9	9	0.6324	0.6394
第8特定期間末 (平成29年 3月27日)	15	15	0.7082	0.7152
第9特定期間末 (平成29年 9月25日)	296	299	0.7592	0.7662
第10特定期間末 (平成30年 3月26日)	309	312	0.6538	0.6608
第11特定期間末 (平成30年 9月25日)	255	258	0.6836	0.6906
第12特定期間末 (平成31年 3月25日)	156	157	0.6433	0.6503
第13特定期間末 (令和1年9月25日)	147	149	0.6290	0.6360
第14特定期間末 (令和2年3月25日)	75	76	0.4188	0.4258
平成31年3月末日	155	-	0.6412	-
4月末日	160	-	0.6623	-
令和1年5月末日	157	-	0.6473	-
6月末日	157	-	0.6429	-
7月末日	159	-	0.6516	-
8月末日	148	-	0.6033	-
9月末日	147	-	0.6265	-
10月末日	124	-	0.6448	-
11月末日	122	-	0.6329	-
12月末日	128	-	0.6650	-
令和2年1月末日	122	-	0.6604	-
2月末日	118	-	0.6392	-
3月末日	80	-	0.4470	-

#### 新光グローバル・ハイイールド債券ファンドトルコリラコース

直近日(令和2年3月末)、同日前1年以内における各月末及び下記計算期間末における純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額 (分配落) (百万円)	純資産総額 (分配付) (百万円)	1口当たりの 純資産額 (分配落)(円)	1口当たりの 純資産額 (分配付)(円)
第1特定期間末 (平成25年 9月25日)	12	12	1.0132	1.0212
第2特定期間末 (平成26年 3月25日)	15	15	0.9737	0.9817
第3特定期間末 (平成26年 9月25日)	16	16	1.0324	1.0404
第4特定期間末 (平成27年 3月25日)	18	18	0.9639	0.9719
第5特定期間末 (平成27年 9月25日)	13	13	0.7726	0.7806
第6特定期間末 (平成28年 3月25日)	12	12	0.7411	0.7491

第7特定期間末 (平成28年 9月26日)	9	9	0.6964	0.7044
第8特定期間末 (平成29年 3月27日)	8	8	0.6277	0.6357
第9特定期間末 (平成29年 9月25日)	223	226	0.6507	0.6587
第10特定期間末 (平成30年 3月26日)	369	375	0.5188	0.5268
第11特定期間末 (平成30年 9月25日)	252	258	0.3550	0.3630
第12特定期間末 (平成31年 3月25日)	254	259	0.3743	0.3823
第13特定期間末 (令和1年9月25日)	270	276	0.3756	0.3836
第14特定期間末 (令和2年3月25日)	386	397	0.2673	0.2753
平成31年3月末日	250	-	0.3776	-
4月末日	247	-	0.3721	-
令和1年5月末日	236	-	0.3680	-
6月末日	207	-	0.3752	-
7月末日	227	-	0.3946	-
8月末日	235	-	0.3651	-
9月末日	278	-	0.3806	-
10月末日	311	-	0.3782	-
11月末日	537	-	0.3694	-
12月末日	531	-	0.3619	-
令和2年1月末日	565	-	0.3538	-
2月末日	532	-	0.3387	-
3月末日	392	-	0.2716	-

#### 新光グローバル・ハイイールド債券ファンドマネープールファンド

直近日（令和2年3月末）、同日前1年以内における各月末及び下記計算期間末における純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額 (分配落) (百万円)	純資産総額 (分配付) (百万円)	1口当たりの 純資産額 (分配落)(円)	1口当たりの 純資産額 (分配付)(円)
第1計算期間末 (平成23年 3月25日)	1	1	1.0003	1.0003
第2計算期間末 (平成23年 9月26日)	30	30	1.0005	1.0005
第3計算期間末 (平成24年 3月26日)	12	12	1.0008	1.0008
第4計算期間末 (平成24年 9月25日)	1	1	1.0020	1.0020
第5計算期間末 (平成25年 3月25日)	2	2	1.0023	1.0023
第6計算期間末 (平成25年 9月25日)	11	11	1.0022	1.0022

第7計算期間末 (平成26年 3月25日)	11	11	1.0024	1.0024
第8計算期間末 (平成26年 9月25日)	11	11	1.0023	1.0023
第9計算期間末 (平成27年 3月25日)	11	11	1.0018	1.0018
第10計算期間末 (平成27年 9月25日)	4	4	1.0018	1.0018
第11計算期間末 (平成28年 3月25日)	1	1	1.0014	1.0014
第12計算期間末 (平成28年 9月26日)	1	1	1.0011	1.0011
第13計算期間末 (平成29年 3月27日)	1	1	1.0008	1.0008
第14計算期間末 (平成29年 9月25日)	1	1	1.0003	1.0003
第15計算期間末 (平成30年 3月26日)	0.999755	0.999755	0.9998	0.9998
第16計算期間末 (平成30年 9月25日)	0.999142	0.999142	0.9991	0.9991
第17計算期間末 (平成31年 3月25日)	0.998337	0.998337	0.9983	0.9983
第18計算期間末 (令和1年9月25日)	0.997817	0.997817	0.9978	0.9978
第19計算期間末 (令和2年3月25日)	0.997729	0.997729	0.9977	0.9977
平成31年3月末日	0.998333	-	0.9983	-
4月末日	0.998204	-	0.9982	-
令和1年5月末日	0.998060	-	0.9981	-
6月末日	0.997931	-	0.9979	-
7月末日	0.997888	-	0.9979	-
8月末日	0.997849	-	0.9978	-
9月末日	0.997812	-	0.9978	-
10月末日	0.997781	-	0.9978	-
11月末日	0.997752	-	0.9978	-
12月末日	0.997721	-	0.9977	-
令和2年1月末日	0.997689	-	0.9977	-
2月末日	0.997755	-	0.9978	-
3月末日	0.997723	-	0.9977	-

## 【分配の推移】

## 新光グローバル・ハイイールド債券ファンド米ドルコース

	1口当たりの分配金（円）
第1特定期間	0.0200
第2特定期間	0.0300
第3特定期間	0.0300
第4特定期間	0.0300
第5特定期間	0.0300
第6特定期間	0.0300
第7特定期間	0.0300
第8特定期間	0.0615
第9特定期間	0.0930
第10特定期間	0.0930
第11特定期間	0.0930
第12特定期間	0.0875
第13特定期間	0.0600
第14特定期間	0.0600
第15特定期間	0.0600
第16特定期間	0.0600
第17特定期間	0.0350
第18特定期間	0.0300
第19特定期間	0.0300

## 新光グローバル・ハイイールド債券ファンド豪ドルコース

	1口当たりの分配金（円）
第1特定期間	0.0360
第2特定期間	0.0540
第3特定期間	0.0540
第4特定期間	0.0540
第5特定期間	0.0540
第6特定期間	0.0540
第7特定期間	0.0540
第8特定期間	0.0870
第9特定期間	0.1200
第10特定期間	0.1200
第11特定期間	0.1200
第12特定期間	0.0930
第13特定期間	0.0660
第14特定期間	0.0600
第15特定期間	0.0480
第16特定期間	0.0240
第17特定期間	0.0140
第18特定期間	0.0120
第19特定期間	0.0120

## 新光グローバル・ハイイールド債券ファンドブラジルリアルコース

	1口当たりの分配金(円)
第1特定期間	0.0600
第2特定期間	0.0900
第3特定期間	0.0900
第4特定期間	0.0900
第5特定期間	0.0900
第6特定期間	0.0900
第7特定期間	0.0900
第8特定期間	0.0900
第9特定期間	0.0900
第10特定期間	0.0810
第11特定期間	0.0490
第12特定期間	0.0300
第13特定期間	0.0300
第14特定期間	0.0300
第15特定期間	0.0300
第16特定期間	0.0180
第17特定期間	0.0130
第18特定期間	0.0120
第19特定期間	0.0120

## 新光グローバル・ハイイールド債券ファンドメキシコペソコース

	1口当たりの分配金(円)
第1特定期間	0.0140
第2特定期間	0.0420
第3特定期間	0.0420
第4特定期間	0.0420
第5特定期間	0.0420
第6特定期間	0.0420
第7特定期間	0.0420
第8特定期間	0.0420
第9特定期間	0.0420
第10特定期間	0.0420
第11特定期間	0.0420
第12特定期間	0.0420
第13特定期間	0.0420
第14特定期間	0.0420

## 新光グローバル・ハイイールド債券ファンドトルコリラコース

	1口当たりの分配金(円)
第1特定期間	0.0160
第2特定期間	0.0480
第3特定期間	0.0480
第4特定期間	0.0480
第5特定期間	0.0480
第6特定期間	0.0480
第7特定期間	0.0480
第8特定期間	0.0480
第9特定期間	0.0480
第10特定期間	0.0480
第11特定期間	0.0480
第12特定期間	0.0480
第13特定期間	0.0480
第14特定期間	0.0480

## 新光グローバル・ハイイールド債券ファンドマネープールファンド

	1口当たりの分配金(円)
第1計算期間	0.0000
第2計算期間	0.0000
第3計算期間	0.0000
第4計算期間	0.0000
第5計算期間	0.0000
第6計算期間	0.0000
第7計算期間	0.0000
第8計算期間	0.0000
第9計算期間	0.0000
第10計算期間	0.0000
第11計算期間	0.0000
第12計算期間	0.0000
第13計算期間	0.0000
第14計算期間	0.0000
第15計算期間	0.0000
第16計算期間	0.0000
第17計算期間	0.0000
第18計算期間	0.0000
第19計算期間	0.0000



## 【収益率の推移】

## 新光グローバル・ハイイールド債券ファンド米ドルコース

	収益率（％）
第1特定期間	3.1
第2特定期間	9.2
第3特定期間	16.4
第4特定期間	0.5
第5特定期間	27.0
第6特定期間	4.5
第7特定期間	8.8
第8特定期間	6.0
第9特定期間	7.5
第10特定期間	4.1
第11特定期間	7.7
第12特定期間	1.1
第13特定期間	12.8
第14特定期間	4.8
第15特定期間	7.2
第16特定期間	9.7
第17特定期間	0.6
第18特定期間	3.1
第19特定期間	10.4

（注1）収益率は期間騰落率です。

（注2）各特定期間中の分配金累計額を加算して算出しています。

## 新光グローバル・ハイイールド債券ファンド豪ドルコース

	収益率（％）
第1特定期間	7.6
第2特定期間	11.3
第3特定期間	24.7
第4特定期間	1.6
第5特定期間	29.2
第6特定期間	3.9
第7特定期間	6.8
第8特定期間	4.7
第9特定期間	2.7
第10特定期間	12.8
第11特定期間	1.3
第12特定期間	0.7
第13特定期間	13.0
第14特定期間	9.4
第15特定期間	9.6
第16特定期間	3.2
第17特定期間	3.2
第18特定期間	1.6
第19特定期間	22.6

（注1）収益率は期間騰落率です。

(注2) 各特定期間中の分配金累計額を加算して算出しています。

新光グローバル・ハイイールド債券ファンドブラジルリアルコース

	収益率(%)
第1特定期間	5.5
第2特定期間	15.4
第3特定期間	20.8
第4特定期間	6.7
第5特定期間	28.9
第6特定期間	0.6
第7特定期間	6.4
第8特定期間	7.8
第9特定期間	11.4
第10特定期間	18.4
第11特定期間	7.1
第12特定期間	17.7
第13特定期間	21.6
第14特定期間	8.0
第15特定期間	10.2
第16特定期間	7.5
第17特定期間	5.0
第18特定期間	2.0
第19特定期間	24.9

(注1) 収益率は期間騰落率です。

(注2) 各特定期間中の分配金累計額を加算して算出しています。

新光グローバル・ハイイールド債券ファンドメキシコペソコース

	収益率(%)
第1特定期間	8.7
第2特定期間	7.2
第3特定期間	6.4
第4特定期間	2.9
第5特定期間	14.4
第6特定期間	9.5
第7特定期間	9.3
第8特定期間	18.6
第9特定期間	13.1
第10特定期間	8.4
第11特定期間	11.0
第12特定期間	0.2
第13特定期間	4.3
第14特定期間	26.7

(注1) 収益率は期間騰落率です。

(注2) 各特定期間中の分配金累計額を加算して算出しています。

## 新光グローバル・ハイイールド債券ファンドトルコリラコース

	収益率(%)
第1特定期間	2.9
第2特定期間	0.8
第3特定期間	11.0
第4特定期間	2.0
第5特定期間	14.9
第6特定期間	2.1
第7特定期間	0.4
第8特定期間	3.0
第9特定期間	11.3
第10特定期間	12.9
第11特定期間	22.3
第12特定期間	19.0
第13特定期間	13.2
第14特定期間	16.1

(注1) 収益率は期間騰落率です。

(注2) 各特定期間中の分配金累計額を加算して算出しています。

## 新光グローバル・ハイイールド債券ファンドマネーブルファンド

	収益率(%)
第1計算期間	0.03
第2計算期間	0.02
第3計算期間	0.03
第4計算期間	0.12
第5計算期間	0.03
第6計算期間	0.01
第7計算期間	0.02
第8計算期間	0.01
第9計算期間	0.05
第10計算期間	0.00
第11計算期間	0.04
第12計算期間	0.03
第13計算期間	0.03
第14計算期間	0.05
第15計算期間	0.05
第16計算期間	0.07
第17計算期間	0.08
第18計算期間	0.05
第19計算期間	0.01

(注) 収益率は期間騰落率です。

## (4) 【設定及び解約の実績】

## 新光グローバル・ハイイールド債券ファンド米ドルコース

	設定口数	解約口数
第1特定期間	749,112,420	14,700,000
第2特定期間	540,192,193	353,778,605
第3特定期間	67,346,316	495,438,265
第4特定期間	84,101,069	223,998,822
第5特定期間	61,874,744	97,481,980
第6特定期間	206,332,345	45,118,882
第7特定期間	88,071,646	105,397,389
第8特定期間	26,849,841	66,832,408
第9特定期間	126,786,372	56,130,586
第10特定期間	33,191,692	96,910,315
第11特定期間	30,078,520	100,293,726
第12特定期間	12,423,628	21,275,828
第13特定期間	25,718,201	23,176,208
第14特定期間	119,865,607	19,199,648
第15特定期間	9,571,604	20,693,286
第16特定期間	4,076,927	71,228,200
第17特定期間	1,079,532	8,413,997
第18特定期間	600,698	36,583,012
第19特定期間	1,340,526	2,721,145

(注1) 本邦外における設定及び解約はありません。

(注2) 第1特定期間の設定口数には、当初設定口数を含みます。

## 新光グローバル・ハイイールド債券ファンド豪ドルコース

	設定口数	解約口数
第1特定期間	7,137,371,920	251,152,428
第2特定期間	9,935,161,145	2,640,245,730
第3特定期間	7,369,109,874	7,057,684,700
第4特定期間	4,483,595,566	7,479,479,440
第5特定期間	1,514,483,277	4,920,406,166
第6特定期間	162,257,622	1,916,365,658
第7特定期間	134,807,926	1,284,520,386
第8特定期間	545,058,949	842,493,169
第9特定期間	749,008,729	475,670,898
第10特定期間	805,698,158	731,590,211
第11特定期間	382,580,911	813,719,382
第12特定期間	1,968,119,354	580,479,281
第13特定期間	1,224,966,518	959,599,799
第14特定期間	1,573,150,062	1,000,412,250
第15特定期間	380,250,913	723,455,614
第16特定期間	69,127,079	1,645,404,524
第17特定期間	10,688,507	774,721,788
第18特定期間	5,930,036	499,901,929
第19特定期間	9,581,678	309,284,631

(注1) 本邦外における設定及び解約はありません。

(注2) 第1特定期間の設定口数には、当初設定口数を含みます。

新光グローバル・ハイイールド債券ファンドブラジルリアルコース

	設定口数	解約口数
第1特定期間	25,069,615,845	398,817,176
第2特定期間	61,973,742,881	5,956,952,156
第3特定期間	62,826,371,406	23,680,170,673
第4特定期間	37,048,542,499	42,020,863,159
第5特定期間	36,201,068,263	26,169,878,750
第6特定期間	12,512,151,373	21,347,667,093
第7特定期間	6,057,257,149	23,590,545,351
第8特定期間	8,404,308,157	16,390,784,099
第9特定期間	11,666,527,738	15,019,026,646
第10特定期間	23,230,065,265	12,725,195,487
第11特定期間	11,196,439,570	14,694,269,830
第12特定期間	1,378,790,362	19,212,379,388
第13特定期間	2,080,908,865	13,026,249,405
第14特定期間	1,731,879,821	6,411,467,522
第15特定期間	1,445,965,275	5,806,386,947
第16特定期間	547,487,553	8,308,034,508
第17特定期間	482,499,720	5,242,762,239
第18特定期間	369,158,074	3,891,160,768
第19特定期間	321,883,939	3,101,044,733

(注1) 本邦外における設定及び解約はありません。

(注2) 第1特定期間の設定口数には、当初設定口数を含みます。

新光グローバル・ハイイールド債券ファンドメキシコペソコース

	設定口数	解約口数
第1特定期間	22,509,407	85,741
第2特定期間	8,971,627	2,723,899
第3特定期間	18,651,631	8,702,501
第4特定期間	383,939	87,178
第5特定期間	193,384	23,142,169
第6特定期間	23,184	402,528
第7特定期間	46,577	0
第8特定期間	5,794,609	38,627
第9特定期間	371,479,439	1,737,936
第10特定期間	109,793,336	27,586,899
第11特定期間	3,023,277	102,087,513
第12特定期間	5,358,414	137,108,102
第13特定期間	3,799,627	11,523,005
第14特定期間	6,515,281	61,903,122

(注1) 本邦外における設定及び解約はありません。

(注2) 第1特定期間の設定口数には、当初設定口数を含みます。

## 新光グローバル・ハイイールド債券ファンドトルコリラコース

	設定口数	解約口数
第1特定期間	12,300,000	0
第2特定期間	3,148,438	0
第3特定期間	1,130,052	350,112
第4特定期間	3,225,405	97,463
第5特定期間	757,808	2,700,000
第6特定期間	1,365,523	2,039,747
第7特定期間	192,414	3,789,988
第8特定期間	648,921	66,340
第9特定期間	329,597,158	15,206
第10特定期間	399,486,864	29,845,822
第11特定期間	83,453,966	84,312,396
第12特定期間	105,924,874	138,367,267
第13特定期間	271,127,188	229,598,727
第14特定期間	1,099,686,496	375,387,179

(注1) 本邦外における設定及び解約はありません。

(注2) 第1特定期間の設定口数には、当初設定口数を含みます。

## 新光グローバル・ハイイールド債券ファンドマネーブルファンド

	設定口数	解約口数
第1計算期間	1,000,000	0
第2計算期間	29,827,708	0
第3計算期間	121,882,221	139,881,600
第4計算期間	93,770,229	105,598,558
第5計算期間	54,187,517	53,093,913
第6計算期間	44,923,307	35,718,068
第7計算期間	65,878,480	65,878,480
第8計算期間	66,472,139	66,472,139
第9計算期間	69,618,955	69,115,063
第10計算期間	9,813,023	17,477,221
第11計算期間	0	3,138,537
第12計算期間	0	0
第13計算期間	0	0
第14計算期間	0	0
第15計算期間	0	0
第16計算期間	0	0
第17計算期間	0	0
第18計算期間	0	0
第19計算期間	0	0

(注1) 本邦外における設定及び解約はありません。

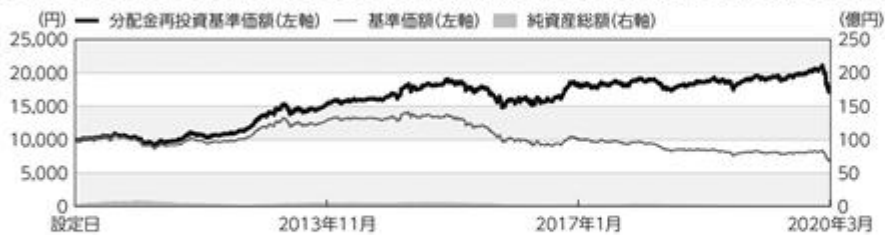
(注2) 第1計算期間の設定口数には、当初設定口数を含みます。

## 参考情報

データの基準日:2020年3月31日

## 米ドルコース

基準価額・純資産の推移(2010年10月8日~2020年3月31日)



分配の推移(税引前)

2019年11月	50円
2019年12月	50円
2020年1月	50円
2020年2月	50円
2020年3月	50円
直近1年間累計	600円
設定来累計	9,630円

## 主要な資産の状況

## 組入銘柄

順位	銘柄名	比率(%)
1	WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンド-USDクラス	96.64
2	国内短期公社債マザーファンド	0.13

年間収益率の推移(暦年ベース)



\*基準価額は1万口当たり・信託報酬控除後の価額です。

\*分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。(設定日:2010年10月8日)

\*分配金は1万口当たりです。

\*比率(%)は、純資産総額に対する当該資産の時価比率です。

\*年間収益率は、分配金再投資基準価額をもとに計算したものです。

\*2020年については年初から基準日までの収益率を表示しています。

\*当ファンドにはベンチマークはありません。

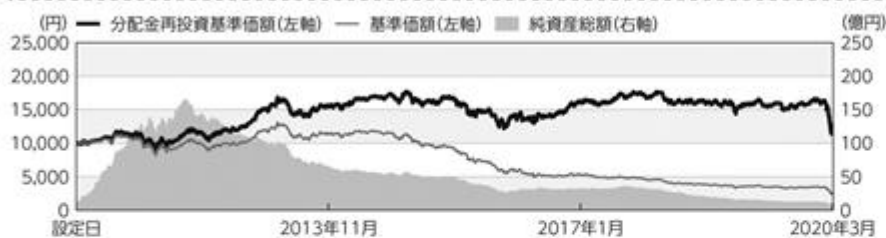
○掲載データ等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆、保証するものではありません。

○委託会社のホームページ等で運用状況が開示されている場合があります。

データの基準日:2020年3月31日

## 豪ドルコース

## 基準価額・純資産の推移(2010年10月8日~2020年3月31日)



## 分配の推移(税引前)

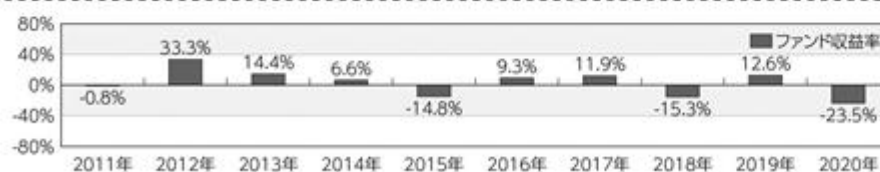
2019年11月	20円
2019年12月	20円
2020年1月	20円
2020年2月	20円
2020年3月	20円
直近1年間累計	240円
設定来累計	11,360円

## 主要な資産の状況

## 組入銘柄

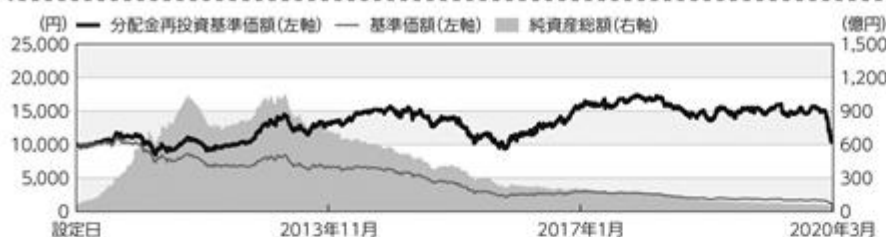
順位	銘柄名	比率(%)
1	WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンド-AUDクラス	97.02
2	国内短期公社債マザーファンド	0.13

## 年間収益率の推移(暦年ベース)



## ブラジルリアルコース

## 基準価額・純資産の推移(2010年10月8日~2020年3月31日)



## 分配の推移(税引前)

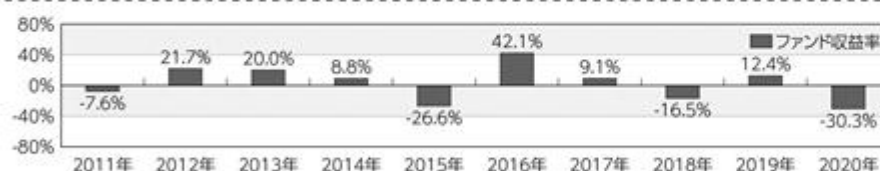
2019年11月	20円
2019年12月	20円
2020年1月	20円
2020年2月	20円
2020年3月	20円
直近1年間累計	240円
設定来累計	10,850円

## 主要な資産の状況

## 組入銘柄

順位	銘柄名	比率(%)
1	WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンド-BRLクラス	97.59
2	国内短期公社債マザーファンド	0.15

## 年間収益率の推移(暦年ベース)



※基準価額は1万円当たり・信託報酬控除後の価額です。

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。(設定日:2010年10月8日)

※分配金は1万円当たりです。

※比率(%)は、純資産総額に対する当該資産の時価比率です。

※年間収益率は、分配金再投資基準価額をもとに計算したものです。

※2020年については年年初から基準日までの収益率を表示しています。

※各ファンドにはベンチマークはありません。

○掲載データ等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆、保証するものではありません。

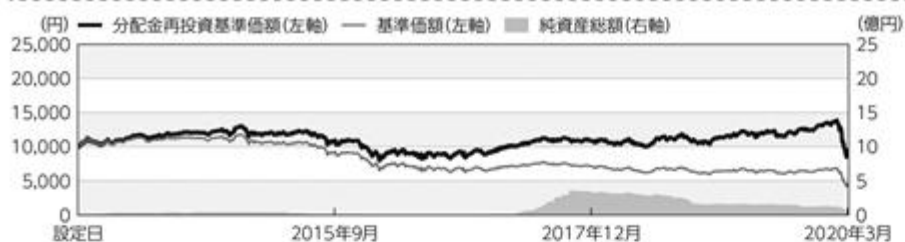
○委託会社のホームページ等で運用状況が開示されている場合があります。



データの基準日:2020年3月31日

## メキシコペソコース

基準価額・純資産の推移(2013年6月21日~2020年3月31日)



分配の推移(税引前)

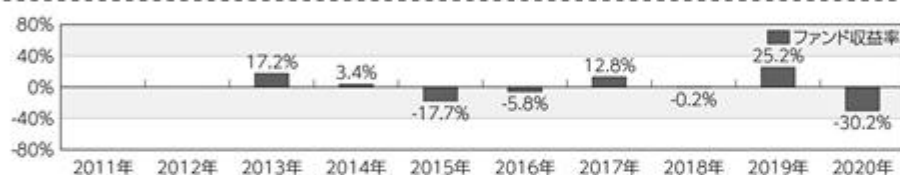
2019年11月	70円
2019年12月	70円
2020年1月	70円
2020年2月	70円
2020年3月	70円
直近1年間累計	840円
設定来累計	5,600円

## 主要な資産の状況

## 組入銘柄

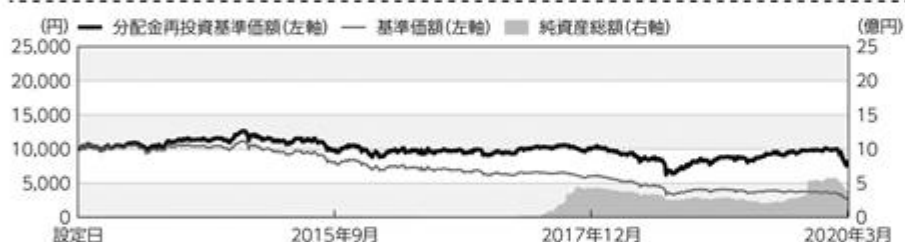
順位	銘柄名	比率(%)
1	WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンド-MXNクラス	96.05
2	国内短期公社債マザーファンド	0.12

年間収益率の推移(暦年ベース)



## トルコリラコース

基準価額・純資産の推移(2013年6月21日~2020年3月31日)



分配の推移(税引前)

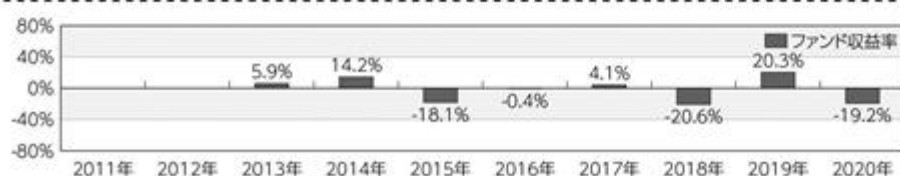
2019年11月	80円
2019年12月	80円
2020年1月	80円
2020年2月	80円
2020年3月	80円
直近1年間累計	960円
設定来累計	6,400円

## 主要な資産の状況

## 組入銘柄

順位	銘柄名	比率(%)
1	WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンド-TRYクラス	97.61
2	国内短期公社債マザーファンド	0.03

年間収益率の推移(暦年ベース)



※基準価額は1万口当たり・信託報酬控除後の価額です。

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。(設定日:2013年6月21日)

※分配金は1万口当たりです。

※比率(%)は、純資産総額に対する当該資産の時価比率です。

※年間収益率は、分配金再投資基準価額をもとに計算したものです。

※2013年は設定日から年末までの収益率、および2020年については年初から基準日までの収益率を表示しています。

※各ファンドにはベンチマークはありません。

○掲載データ等はいくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆、保証するものではありません。

○委託会社のホームページ等で運用状況が開示されている場合があります。

データの基準日:2020年3月31日

## マネーボールファンド

## 基準価額・純資産の推移(2010年10月8日~2020年3月31日)



※基準価額は1万口当たり・信託報酬控除後の価額です。

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。(設定日:2010年10月8日)

## 分配の推移(税引前)

2018年 3月	0円
2018年 9月	0円
2019年 3月	0円
2019年 9月	0円
2020年 3月	0円
設定来累計	0円

※分配金は1万口当たりです。

## 主要な資産の状況

## ■組入銘柄 ※比率(%)は、純資産総額に対する当該資産の時価比率です。

順位	銘柄名	比率(%)
1	国内短期公社債マザーファンド	95.19

## ■国内短期公社債マザーファンド

※比率(%)は、当該マザーファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率です。資産の種類の内書は、国/地域を表します。

## 資産の状況

資産の種類	比率(%)
地方債証券	17.69
内 日本	17.69
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	82.31
合計(純資産総額)	100.00

## 組入銘柄

順位	銘柄名	種類	国/地域	利率(%)	償還日	比率(%)
1	348回 大阪府公債	地方債証券	日本	1.32	2021/3/30	17.69

## 年間収益率の推移(暦年ベース)



※年間収益率は、分配金再投資基準価額をもとに計算したものです。

※2020年については年初から基準日までの収益率を表示しています。

※当ファンドにはベンチマークはありません。

## ■WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンド(2020年3月24日現在)

※ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシーからの情報を基に作成しています。

※比率(%)は、WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンドの組入公社債を100%とした場合の割合で、小数第3位を四捨五入しています。

## 組入公社債上位10銘柄

順位	銘柄名	クーポン(%)	償還日	比率(%)
1	TEVA PHARMACEUTICALS NE	2.800	2023/7/21	3.33
2	CHARTER COMM OPT LLC/CAP	3.413	2024/2/1	2.86
3	PETSMART INC	5.875	2025/6/1	2.48
4	US TREASURY NOTE	1.500	2023/3/31	1.65
5	CSC HOLDINGS LLC	6.500	2029/2/1	1.47
6	CHARTER COMM OPT LLC/CAP	4.908	2025/7/23	1.46
7	GOLDMAN SACHS GROUP	3.500	2026/11/16	1.46
8	INTESA SANPAOLO SPA	5.017	2024/6/26	1.42
9	ARDAGH PKG FIN/HLDGS USA	6.000	2025/2/15	1.25
10	PRIME SECSRVC BRW/FINANC	5.250	2024/4/15	1.24

○掲載データ等はいくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆、保証するものではありません。

○委託会社のホームページ等で運用状況が開示されている場合があります。

## 第2【管理及び運営】

### 1【申込（販売）手続等】

(イ) 取得申込者は、「分配金受取コース」および「分配金再投資コース」について、販売会社ごとに定める申込単位で、取得申込受付日の翌営業日の基準価額で購入することができます。ただし、「分配金再投資コース」で収益分配金を再投資する場合は1口単位となります。

また、スイッチングにより各ファンドを買い付ける場合は、販売会社ごとに定める申込単位となります。スイッチングについて、「分配金受取コース」の場合はスイッチング対象ファンドの同コースへの、「分配金再投資コース」の場合はスイッチング対象ファンドの同コースへのスイッチングとなります。ただし、マネープールファンドは、ご投資された資金を一時待機させておくためのものです。したがって、そのお買い付けは、各通貨コースまたは委託者が設定・運用する特定のファンドからのスイッチングの場合に限定します。なお、販売会社によっては、スイッチングの取り扱いを行わない場合があります。

詳しくは販売会社または下記にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

コールセンター 0120-104-694

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時です。)

インターネットホームページ

<http://www.am-one.co.jp/>

取得申込者は、販売会社に取引口座を開設のうえ、申込金額に手数料および当該手数料にかかる消費税等を加算した金額を販売会社が指定する期日までに支払うものとします。

(ロ) 「分配金再投資コース」での取得申込者は、販売会社との間で「新光グローバル・ハイイールド債券ファンド\*自動継続投資約款」（別の名称で同様の権利義務を規定する約款を含みます。）にしたがって契約（以下「別に定める契約」といいます。）を締結します。

・上記の\*には次の表の各ファンドの名称をあてはめてご覧ください。

米ドルコース	豪ドルコース	ブラジルレアルコース	メキシコペソコース	トルコリラコース	マネープールファンド
--------	--------	------------	-----------	----------	------------

(ハ) 取得およびスイッチングの申し込みの受付は、原則として営業日の午後3時までとし、当該受付時間を過ぎた場合の申込受付日は翌営業日となります。ただし、受付時間は販売会社によって異なる場合があります。

なお、各通貨コースについて、以下のいずれかに該当する日には、取得およびスイッチングの申し込みの受付は行いません。

	申込受付休止日
米ドルコース、豪ドルコース、メキシコペソコース、トルコリラコース	ニューヨーク証券取引所の休業日 ニューヨークの銀行の休業日 ロンドンの銀行の休業日 ケイマンの銀行の休業日
ブラジルリアルコース	ニューヨーク証券取引所の休業日 サンパウロ証券取引所の休業日 ニューヨークの銀行の休業日 ロンドンの銀行の休業日 サンパウロの銀行の休業日 ケイマンの銀行の休業日

また、各通貨コースにおいて、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるとき、マネープールファンドにおいては、取引所における取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、委託者の判断により、取得およびスイッチングの申し込みの受付を中止することおよび既に受け付けた取得およびスイッチングの申し込みの受付を取り消すことができます。ただし、別に定める契約に基づく収益分配金の再投資にかかる追加信託金の申し込みに限ってこれを受け付けるものとします。

## 2【換金（解約）手続等】

一部解約（解約請求によるご解約）

(イ) 受益者は、「分配金受取コース」および「分配金再投資コース」の両コースとも、販売会社が定める単位をもって一部解約の実行を請求することができます。

なお、受付は原則として営業日の午後3時までとし、当該受付時間を過ぎた場合の申込受付日は翌営業日となります。ただし、受付時間は販売会社によって異なる場合があります。

また、投資信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の解約請求に制限を設ける場合があります。

(ロ) 受益者が一部解約の実行の請求をするときは、販売会社に対し、振替受益権をもって行うものとします。

(ハ) 委託者は、一部解約の実行の請求を受け付けた場合には、この投資信託契約の一部を解約します。また、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。

(ニ) 一部解約の価額は、各通貨コースの場合は、一部解約の実行の請求受付日の翌営業日の基準価額から当該基準価額に0.3%の率を乗じて得た額を信託財産留保額として控除した価額とし、マネープールファンドの場合は、一部解約の実行の請求受付日の翌営業日の基準価額とします。

一部解約に関して課税対象者にかかる所得税および地方税（法人の受益者の場合は所得税のみ）に相当する金額が控除されます。

なお、一部解約の価額は、毎営業日に算出されますので、販売会社または下記にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

コールセンター 0120-104-694

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時です。)

基準価額につきましては、アセットマネジメントOne株式会社のインターネットホームページ (<http://www.am-one.co.jp/>) または、原則として計算日の翌日付の日本経済新聞朝刊に掲載されます。また、お問い合わせいただけます基準価額および一部解約の価額は、前日以前のもとなります。(ただし、マネープールファンドにつきましては、インターネットホームページおよび日本経済新聞朝刊には掲載されません。)

(ホ) 一部解約金は、受益者の請求を受け付けた日から起算して、原則として、7営業日目から販売会社において受益者に支払われます。ただし、各通貨コースにおいて、投資を行った投資信託証券の換金停止、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、委託者の判断により、一部解約金の支払いを延期する場合があります。

(ヘ) 委託者は、各通貨コースにおいて、以下のいずれかに該当する日には、上記(イ)による一部解約の実行の請求を受け付けません。

	申込受付休止日
米ドルコース、豪ドルコース、メキシコペソコース、トルコリラコース	ニューヨーク証券取引所の休業日 ニューヨークの銀行の休業日 ロンドンの銀行の休業日 ケイマンの銀行の休業日
ブラジルリアルコース	ニューヨーク証券取引所の休業日 サンパウロ証券取引所の休業日 ニューヨークの銀行の休業日 ロンドンの銀行の休業日 サンパウロの銀行の休業日 ケイマンの銀行の休業日

(ト) 委託者は、各通貨コースにおいて、投資を行った投資信託証券の換金停止、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるとき、マネープールファンドにおいては、取引所における取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、一部解約の実行の請求の受付を中止することおよび既に受け付けた一部解約の実行の請求の受付を取り消すことができます。

(チ) 上記(ト)により一部解約の実行の請求の受付が中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行った一部解約の実行の請求を撤回できます。ただし、受益者がその一部解約の実行の請求を撤回しない場合には、一部解約の価額は、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日(各通貨コースにおいて、この日が一部解約の実行の請求を受け付けられない日であるときは、この計算日以降の最初の一部解約の実行の請求を受け付けることができる日とします。)に一部解約の実行の請求を受け付けたものとして、上記(二)の規定に準じて計算された価額とします。

### 3【資産管理等の概要】

#### (1)【資産の評価】

基準価額とは、投資信託財産に属する資産（受入担保金代用有価証券および借入有価証券を除きます。）を法令および一般社団法人投資信託協会規則にしたがって時価評価して得た投資信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額（以下「純資産総額」といいます。）を、計算日における受益権口数で除した金額をいいます。

基準価額は、毎営業日に算出されますので、販売会社または下記にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

コールセンター 0120-104-694

（受付時間は営業日の午前9時～午後5時です。）

インターネットホームページ

<http://www.am-one.co.jp/>

基準価額は、原則として計算日の翌日付の日本経済新聞朝刊に掲載されます。また、お問い合わせいただけます基準価額は、前日以前のものとなります。（ただし、マネープールファンドにつきましては、インターネットホームページおよび日本経済新聞朝刊には掲載されません。）

< 主な投資対象の時価評価方法の原則 >

< 各通貨コース >

投資対象	評価方法
外国投資信託証券	計算日に入手し得る直近の純資産価格（基準価額）
マザーファンド 受益証券	計算日の基準価額
外貨建資産の円換算	計算日の国内における対顧客電信売買相場の仲値
外国為替予約の円換算	計算日の国内における対顧客先物売買相場の仲値

< マネープールファンド >

投資対象	評価方法
マザーファンド 受益証券	計算日の基準価額
公社債等	計算日における以下のいずれかの価額 ・日本証券業協会が発表する売買参考統計値（平均値） ・金融商品取引業者、銀行などの提示する価額（売り気配相場を除きます。） ・価格情報会社の提供する価額

#### (2)【保管】

該当事項はありません。

#### (3)【信託期間】

各ファンドの信託期間は、投資信託契約締結日から2025年9月25日までです。

ただし、メキシコペソコースとトルコリラコースは2020年9月25日までです。

委託者は、信託期間満了前に、信託期間の延長が受益者に有利であると認めたときは、受託者と協議のうえ、信託期間を延長することができます。

#### (4) 【計算期間】

##### <各通貨コース>

各ファンドの計算期間は、原則として毎月26日から翌月25日までとします。

上記にかかわらず、上記の原則により各計算期間終了日に該当する日(以下「該当日」といいます。)が休業日のとき、各計算期間終了日は該当日以降の営業日で該当日に最も近い日とし、その翌日より次の計算期間が開始されるものとします。ただし、最終計算期間の終了日は、投資信託約款に定める信託期間の終了日とします。

##### <マネープールファンド>

当ファンドの計算期間は、原則として毎年3月26日から9月25日まで、9月26日から翌年3月25日までとします。

上記にかかわらず、上記の原則により各計算期間終了日に該当する日(以下「該当日」といいます。)が休業日のとき、各計算期間終了日は該当日以降の営業日で該当日に最も近い日とし、その翌日より次の計算期間が開始されるものとします。ただし、最終計算期間の終了日は、投資信託約款に定める信託期間の終了日とします。

#### (5) 【その他】

##### a. 信託の終了(投資信託契約の解約)

(イ) 委託者は、投資信託契約の一部を解約することにより受益権の総口数が、各通貨コースの場合は30億口、マネープールファンドの場合は1億口を下回ることとなった場合には、受託者と合意のうえ、この投資信託契約を解約し、信託を終了させることができます。またはこの投資信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき、もしくはやむを得ない事情が発生したときは、受託者と合意のうえ、この投資信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合において、委託者は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。

(ロ) 委託者は、各通貨コースにおいて、信託終了前に、所定の運用の基本方針に基づき、投資を行ったハイイールド・ボンド・ファンドが償還、または次に掲げる事項の変更により商品の同一性が失われた場合は、委託者は受託者と合意のうえ、この投資信託契約を解約し、信託を終了させます。この場合において、委託者は、あらかじめ解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。

1. ハイイールド・ボンド・ファンドの主要投資対象が変更となる場合

2. ハイイールド・ボンド・ファンドの取得の条件または換金の条件について、投資者に著しく不利となる変更がある場合

(ハ) 委託者は、上記(イ)の事項について、下記「c. 書面決議の手続き」の規定にしたがいます。

(ニ) 委託者は、監督官庁よりこの投資信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令にしたがい、投資信託契約を解約し信託を終了させます。

(ホ) 委託者が監督官庁より登録の取り消しを受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したときは、委託者は、この投資信託契約を解約し、信託を終了させます。

上記の規定にかかわらず、監督官庁がこの投資信託契約に関する委託者の業務を他の委託者に引き継ぐことを命じたときは、この信託は、下記「c. 書面決議の手続き」の規定における書面決議が否決となる場合を除き、当該委託者と受託者との間において存続します。

- (へ) 受託者は、委託者の承諾を受けてその任務を辞任することができます。受託者がその任務に違反して投資信託財産に著しい損害を与えたことその他重要な事由があるときは、委託者または受益者は、裁判所に受託者の解任を申し立てることができます。受託者が辞任した場合、または裁判所が受託者を解任した場合、委託者は、下記「b. 投資信託約款の変更等」の規定にしたがい、新受託者を選任します。なお、受益者は、上記によって行う場合を除き、受託者を解任することはできないものとします。

委託者が新受託者を選任できないときは、委託者はこの投資信託契約を解約し、信託を終了させます。

#### b. 投資信託約款の変更等

- (イ) 委託者は、受益者の利益のため必要と認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託者と合意のうえ、この投資信託約款を変更することまたはこの信託と他の信託との併合(投資信託及び投資法人に関する法律第16条第2号に規定する「委託者指図型投資信託の併合」をいいます。以下同じ。)を行うことができるものとし、あらかじめ、変更または併合しようとする旨およびその内容を監督官庁に届け出ます。
- (ロ) 委託者は、上記(イ)の事項(投資信託約款の変更事項にあっては、その内容が重大なものに該当する場合に限り、併合事項にあっては、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものに該当する場合を除きます。以下「重大な約款の変更等」といいます。)について、下記「c. 書面決議の手続き」の規定にしたがいます。
- (ハ) 委託者は、監督官庁の命令に基づいてこの投資信託約款を変更しようとするときは、上記(イ)および(ロ)の規定にしたがいます。

この投資信託約款は上記に定める以外の方法によって変更することができないものとします。

#### c. 書面決議の手続き

- (イ) 委託者は、上記「a. 信託の終了(投資信託契約の解約)」(イ)について、または「b. 投資信託約款の変更等」(イ)の事項のうち重大な約款の変更等について、書面による決議(以下「書面決議」といいます。)を行います。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに投資信託契約の解約の理由または重大な約款の変更等の内容およびその理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、各ファンドにかかる知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を発送します。
- (ロ) 上記(イ)の書面決議において、受益者(委託者およびこの信託の投資信託財産にこの信託の受益権が属するときの当該受益権にかかる受益者としての受託者を除きます。以下本項において同じ。)は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行行使することができます。なお、知れている受益者が議決権を行行使しないときは、当該知れている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。
- (ハ) 上記(イ)の書面決議は議決権を行行使することができる受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行います。
- (ニ) 重大な約款の変更等における書面決議の効力は、各ファンドのすべての受益者に対してその効力を生じます。



(ホ) 上記(イ)から(二)までの規定は、委託者が投資信託契約の解約または重大な約款の変更等について提案をした場合において、当該提案につき、各ファンドにかかるすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときおよび上記「a. 信託の終了(投資信託契約の解約)」(ロ)の規定に基づいてこの投資信託契約を解約する場合には適用しません。また、投資信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合であって、上記(イ)から(ハ)までに規定する各ファンドの解約の手続きを行うことが困難な場合には適用しません。

(ヘ) 上記(イ)から(ホ)の規定にかかわらず、各ファンドにおいて併合の書面決議が可決された場合にあっても、当該併合にかかる一または複数の他の投資信託において当該併合の書面決議が否決された場合は、当該他の投資信託との併合を行うことはできません。

d. 反対受益者の受益権買取請求の不適用

各ファンドは、受益者が一部解約請求を行ったときは、委託者が投資信託契約の一部の解約をすることにより当該請求に応じ、当該受益権の公正な価格が当該受益者に一部解約金として支払われることとなる委託者指図型投資信託に該当するため、投資信託契約の解約(上記「a. 信託の終了(投資信託契約の解約)」(ロ)の場合を除きます。)または重大な約款の変更等を行う場合において、投資信託及び投資法人に関する法律第18条第1項に定める反対受益者による受益権買取請求の規定の適用を受けません。

e. 運用報告書

委託者は、毎年3月、9月の決算時および償還時に交付運用報告書を作成し、知っている受益者に対し、販売会社を通じて交付します。

運用報告書(全体版)は、下記「f. 公告」に記載の委託者のホームページにおいて開示します。ただし、受益者から運用報告書(全体版)の交付の請求があった場合には、これを交付します。

f. 公告

委託者が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行い、次のアドレスに掲載します。

<http://www.am-one.co.jp/>

なお、電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合の公告は、日本経済新聞に掲載します。

g. 委託者の事業の譲渡および承継に伴う取り扱い

委託者は、事業の全部または一部を譲渡することがあり、これに伴い、この投資信託契約に関する事業を譲渡することがあります。

委託者は、分割により事業の全部または一部を承継させることがあり、これに伴い、この投資信託契約に関する事業を承継させることがあります。

h. 信託事務処理の再信託

(イ) 受託者は、各ファンドにかかる信託事務の処理の一部について日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社と再信託契約を締結し、これを委託することがあります。その場合には、再信託にかかる契約書類に基づいて所定の事務を行います。

(ロ) 上記(イ)における日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社に対する業務の委託については、受益者の保護に支障を生じることがない場合に行うものとし、

i. 信託業務の委託等

(イ) 受託者は、委託者と協議のうえ、信託業務の一部について、信託業法第22条第1項に定める信託業務の委託をするときは、以下に掲げる基準のすべてに適合するもの(受託者の利害関係人を含みます。)を委託先として選定します。

1. 委託先の信用力に照らし、継続的に委託業務の遂行に懸念がないこと
2. 委託先の委託業務にかかる実績等に照らし、委託業務を確実に処理する能力があると認められること
3. 委託される投資信託財産に属する財産と自己の固有財産その他の財産とを区分する等の管理を行う体制が整備されていること
4. 内部管理に関する業務を適正に遂行するための体制が整備されていること

(ロ) 受託者は、上記(イ)に定める委託先の選定にあたっては、当該委託先が上記(イ)各号に掲げる基準に適合していることを確認するものとします。

(ハ) 上記(イ)および(ロ)にかかわらず、受託者は、次の各号に掲げる業務を、受託者および委託者が適当と認める者(受託者の利害関係人を含みます。)に委託することができるものとします。

1. 投資信託財産の保存にかかる業務
2. 投資信託財産の性質を変えない範囲内において、その利用または改良を目的とする業務
3. 委託者のみの指図により投資信託財産の処分およびその他の信託の目的の達成のために必要な行為にかかる業務
4. 受託者が行う業務の遂行にとって補助的な機能を有する行為

j. 他の受益者の氏名等の開示の請求の制限

受益者は、委託者または受託者に対し、次に掲げる事項の開示の請求を行うことはできません。

1. 他の受益者の氏名または名称および住所
2. 他の受益者が有する受益権の内容

k. 関係法人との契約の更改

委託者と販売会社との間において締結している「証券投資信託に関する基本契約」の有効期間は契約の締結日から1年ですが、期間満了前に委託者、販売会社いずれからも別段の意思表示のないときは自動的に1年間更新されるものとし、その後も同様とします。

4【受益者の権利等】

a. 収益分配金請求権

受益者は、委託会社の決定した収益分配金を、持ち分に応じて請求する権利を有します。

受益者が収益分配金支払開始日から5年間支払いを請求しないときは、その権利を失い、受託会社から交付を受けた金銭は、委託会社に帰属します。

収益分配金は、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者(当該収益分配金にかかる決算日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該収益分配金にかかる計算期間の末日以前に設定された受益権で取得申込金支払前のため委託会社または販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者として)に、原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始します。

なお、「分配金再投資コース」により収益分配金を再投資する受益者に対しては、委託会社は受託会社から受けた収益分配金を、原則として毎計算期間終了日の翌営業日に販売会社に交付します。販売会社は、受益者に対し遅滞なく収益分配金の再投資にかかる受益権の売付を行います。再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

b. 償還金請求権

受益者は、持ち分に応じて償還金を請求する権利を有します。

受益者が信託終了による償還金について支払開始日から10年間支払いを請求しないときは、その権利を失い、受託会社から交付を受けた金銭は、委託会社に帰属します。

償還金は、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者(償還日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため、委託会社または販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とします。)に、原則として償還日(休業日の場合は翌営業日)から起算して5営業日までにお支払いを開始します。

c. 一部解約請求権

受益者は、自己に帰属する受益権について、一部解約の実行の請求をすることができます。

d. 帳簿書類の閲覧・謄写の請求権

受益者は、委託会社に対し、その営業時間内に当該受益者にかかる信託財産に関する帳簿書類の閲覧または謄写を請求することができます。

### 第3【ファンドの経理状況】

新光グローバル・ハイイールド債券ファンド米ドルコース

新光グローバル・ハイイールド債券ファンド豪ドルコース

新光グローバル・ハイイールド債券ファンドブラジルリアルコース

新光グローバル・ハイイールド債券ファンドメキシコペソコース

新光グローバル・ハイイールド債券ファンドトルコリラコース

(1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファンドの計算期間は6ヵ月未満であるため、財務諸表は6ヵ月毎に作成しております。

(3) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当特定期間(令和1年9月26日から令和2年3月25日まで)の財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

新光グローバル・ハイイールド債券ファンドマネープールファンド

(1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファンドの計算期間は6ヵ月であるため、財務諸表は6ヵ月毎に作成しております。

(3) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第19期計算期間(令和1年9月26日から令和2年3月25日まで)の財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

## 1【財務諸表】

## 【新光グローバル・ハイイールド債券ファンド米ドルコース】

## (1)【貸借対照表】

(単位:円)

	前期 令和1年9月25日現在	当期 令和2年3月25日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	6,961,695	9,996,488
投資信託受益証券	258,463,951	217,067,289
親投資信託受益証券	300,447	300,477
流動資産合計	265,726,093	227,364,254
資産合計	265,726,093	227,364,254
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払収益分配金	1,653,110	1,646,207
未払受託者報酬	7,001	6,472
未払委託者報酬	245,079	226,842
その他未払費用	652	571
流動負債合計	1,905,842	1,880,092
負債合計	1,905,842	1,880,092
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	330,622,198	329,241,579
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金( )	66,801,947	103,757,417
(分配準備積立金)	1,841,544	-
元本等合計	263,820,251	225,484,162
純資産合計	263,820,251	225,484,162
負債純資産合計	265,726,093	227,364,254

## (2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位:円)

	前期 自 平成31年3月26日 至 令和1年9月25日	当期 自 令和1年9月26日 至 令和2年3月25日
<b>営業収益</b>		
受取配当金	8,867,948	8,620,950
有価証券売買等損益	1,308,651	34,396,632
営業収益合計	10,176,599	25,775,682
<b>営業費用</b>		
支払利息	3,199	1,904
受託者報酬	44,129	43,394
委託者報酬	1,544,572	1,520,522
その他費用	4,121	3,944
営業費用合計	1,596,021	1,569,764
営業利益又は営業損失( )	8,580,578	27,345,446
経常利益又は経常損失( )	8,580,578	27,345,446
当期純利益又は当期純損失( )	8,580,578	27,345,446
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額( )	229,675	60,966
期首剰余金又は期首欠損金( )	72,276,220	66,801,947
剰余金増加額又は欠損金減少額	7,255,991	512,232
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	7,255,991	512,232
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
剰余金減少額又は欠損金増加額	117,702	296,663
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	117,702	296,663
分配金	10,014,919	9,886,559
期末剰余金又は期末欠損金( )	66,801,947	103,757,417

## (3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	当期	
	自 令和1年9月26日	至 令和2年3月25日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。</p> <p>親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。</p>	
2. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。</p>	

(貸借対照表に関する注記)

項目	前期	当期
	令和1年9月25日現在	令和2年3月25日現在
1. 期首元本額	366,604,512円	330,622,198円
期中追加設定元本額	600,698円	1,340,526円
期中一部解約元本額	36,583,012円	2,721,145円
2. 受益権の総数	330,622,198口	329,241,579口
3. 元本の欠損	純資産額が元本総額を下回っており、その差額は66,801,947円であります。	純資産額が元本総額を下回っており、その差額は103,757,417円であります。

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

項目	前期	当期
	自 平成31年3月26日 至 令和1年9月25日	自 令和1年9月26日 至 令和2年3月25日
1. 分配金の計算過程	<p>(自平成31年3月26日 至平成31年4月25日)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,455,059円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(35,033,875円)及び分配準備積立金(1,648,734円)より分配対象収益は38,137,668円(1万口当たり1,128.43円)であり、うち1,689,851円(1万口当たり50円)を分配金額としております。</p>	<p>(自令和1年9月26日 至令和1年10月25日)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,370,626円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(31,965,941円)及び分配準備積立金(1,841,445円)より分配対象収益は35,178,012円(1万口当たり1,063.79円)であり、うち1,653,419円(1万口当たり50円)を分配金額としております。</p>

(自平成31年4月26日 至令和1年5月27日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,212,890円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(34,662,830円)及び分配準備積立金(1,750,799円)より分配対象収益は37,626,519円(1万口当たり1,114.38円)であり、うち1,688,221円(1万口当たり50円)を分配金額としております。

(自令和1年5月28日 至令和1年6月25日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,294,868円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(34,191,596円)及び分配準備積立金(1,265,693円)より分配対象収益は36,752,157円(1万口当たり1,103.50円)であり、うち1,665,250円(1万口当たり50円)を分配金額としております。

(自令和1年6月26日 至令和1年7月25日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,344,253円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(34,203,108円)及び分配準備積立金(895,311円)より分配対象収益は36,442,672円(1万口当たり1,093.85円)であり、うち1,665,796円(1万口当たり50円)を分配金額としております。

(自令和1年10月26日 至令和1年11月25日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,187,391円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(31,841,612円)及び分配準備積立金(1,552,204円)より分配対象収益は34,581,207円(1万口当たり1,049.84円)であり、うち1,646,969円(1万口当たり50円)を分配金額としております。

(自令和1年11月26日 至令和1年12月25日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,385,567円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(31,823,338円)及び分配準備積立金(1,091,731円)より分配対象収益は34,300,636円(1万口当たり1,041.93円)であり、うち1,646,011円(1万口当たり50円)を分配金額としております。

(自令和1年12月26日 至令和2年1月27日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,247,655円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(31,832,457円)及び分配準備積立金(831,284円)より分配対象収益は33,911,396円(1万口当たり1,029.82円)であり、うち1,646,467円(1万口当たり50円)を分配金額としております。



<p>(自令和1年7月26日 至令和1年8月26日)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,190,265円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(33,934,186円)及び分配準備積立金(570,609円)より分配対象収益は35,695,060円(1万口当たり1,079.90円)であり、うち1,652,691円(1万口当たり50円)を分配金額としております。</p>	<p>(自令和2年1月28日 至令和2年2月25日)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,329,918円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(31,852,438円)及び分配準備積立金(432,472円)より分配対象収益は33,614,828円(1万口当たり1,020.18円)であり、うち1,647,486円(1万口当たり50円)を分配金額としております。</p>
<p>(自令和1年8月27日 至令和1年9月25日)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,403,184円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(32,455,477円)及び分配準備積立金(1,595,537円)より分配対象収益は35,454,198円(1万口当たり1,072.34円)であり、うち1,653,110円(1万口当たり50円)を分配金額としております。</p>	<p>(自令和2年2月26日 至令和2年3月25日)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,187,860円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(31,829,085円)及び分配準備積立金(114,533円)より分配対象収益は33,131,478円(1万口当たり1,006.29円)であり、うち1,646,207円(1万口当たり50円)を分配金額としております。</p>

## (金融商品に関する注記)

## 1. 金融商品の状況に関する事項

項目	前期	当期
	自 平成31年3月26日 至 令和1年9月25日	自 令和1年9月26日 至 令和2年3月25日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	同左
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。当ファンドが保有する有価証券の詳細は「附属明細表」に記載しております。これらは、市場リスク(価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスク)、信用リスク、及び流動性リスクを有しております。	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	運用担当部署から独立したコンプライアンス・リスク管理担当部署が、運用リスクを把握、管理し、その結果に基づき運用担当部署へ対応の指示等を行うことにより、適切な管理を行います。リスク管理に関する委員会等はこれらの運用リスク管理状況の報告を受け、総合的な見地から運用状況全般の管理を行います。	同左

## 2. 金融商品の時価等に関する事項

項目	前期 令和1年9月25日現在	当期 令和2年3月25日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」にて記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務)は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

## (有価証券に関する注記)

## 売買目的有価証券

種類	前期 令和1年9月25日現在	当期 令和2年3月25日現在
	最終計算期間の 損益に含まれた 評価差額(円)	最終計算期間の 損益に含まれた 評価差額(円)
投資信託受益証券	4,922,909	45,478,473
親投資信託受益証券	-	30
合計	4,922,909	45,478,443

## (デリバティブ取引等に関する注記)

該当事項はありません。

## (関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報に関する注記)

	前期 令和1年9月25日現在	当期 令和2年3月25日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	0.7980円 (7,980円)	0.6849円 (6,849円)

(4) 【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

令和2年3月25日現在

種類	銘柄	券面総額 (円)	評価額 (円)	備考
投資信託受益証券	WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンド - USDクラス	218,751,677	217,067,289	
投資信託受益証券 合計		218,751,677	217,067,289	
親投資信託受益証券	国内短期公社債マザーファンド	298,389	300,477	
親投資信託受益証券 合計		298,389	300,477	
合計			217,367,766	

(注) 投資信託受益証券及び親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## 【新光グローバル・ハイールド債券ファンド豪ドルコース】

## (1) 【貸借対照表】

(単位:円)

	前期 令和1年9月25日現在	当期 令和2年3月25日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	36,288,679	29,340,756
投資信託受益証券	1,268,952,922	867,119,852
親投資信託受益証券	1,201,790	1,201,909
流動資産合計	1,306,443,391	897,662,517
資産合計	1,306,443,391	897,662,517
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払収益分配金	7,708,126	7,108,720
未払解約金	1,722,298	6,948,363
未払受託者報酬	34,574	27,668
未払委託者報酬	1,210,184	968,559
その他未払費用	3,275	2,486
流動負債合計	10,678,457	15,055,796
負債合計	10,678,457	15,055,796
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	3,854,063,193	3,554,360,240
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金( )	2,558,298,259	2,671,753,519
(分配準備積立金)	126,715,108	121,546,872
元本等合計	1,295,764,934	882,606,721
純資産合計	1,295,764,934	882,606,721
負債純資産合計	1,306,443,391	897,662,517

## (2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位:円)

	前期 自 平成31年3月26日 至 令和1年9月25日	当期 自 令和1年9月26日 至 令和2年3月25日
<b>営業収益</b>		
受取配当金	60,154,131	55,491,304
有価証券売買等損益	73,854,123	316,832,951
営業収益合計	13,699,992	261,341,647
<b>営業費用</b>		
支払利息	16,699	8,133
受託者報酬	230,720	205,170
委託者報酬	8,075,075	7,182,344
その他費用	21,852	19,006
営業費用合計	8,344,346	7,414,653
営業利益又は営業損失( )	22,044,338	268,756,300
経常利益又は経常損失( )	22,044,338	268,756,300
当期純利益又は当期純損失( )	22,044,338	268,756,300
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額( )	864,341	2,276,832
期首剰余金又は期首欠損金( )	2,809,796,405	2,558,298,259
剰余金増加額又は欠損金減少額	326,514,998	203,669,941
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	326,514,998	203,669,941
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
剰余金減少額又は欠損金増加額	3,867,503	6,335,889
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	3,867,503	6,335,889
分配金	48,240,670	44,309,844
期末剰余金又は期末欠損金( )	2,558,298,259	2,671,753,519

## (3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	当期	
	自 令和1年9月26日	至 令和2年3月25日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。</p> <p>親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。</p>	
2. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。</p>	

(貸借対照表に関する注記)

項目	前期	当期
	令和1年9月25日現在	令和2年3月25日現在
1. 期首元本額	4,348,035,086円	3,854,063,193円
期中追加設定元本額	5,930,036円	9,581,678円
期中一部解約元本額	499,901,929円	309,284,631円
2. 受益権の総数	3,854,063,193口	3,554,360,240口
3. 元本の欠損	純資産額が元本総額を下回っており、その差額は2,558,298,259円であります。	純資産額が元本総額を下回っており、その差額は2,671,753,519円であります。

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

項目	前期	当期
	自 平成31年3月26日 至 令和1年9月25日	自 令和1年9月26日 至 令和2年3月25日
1. 分配金の計算過程	<p>(自平成31年3月26日 至平成31年4月25日)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(10,044,220円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(314,620,539円)及び分配準備積立金(133,582,477円)より分配対象収益は458,247,236円(1万口当たり1,073.10円)であり、うち8,540,558円(1万口当たり20円)を分配金額としております。</p>	<p>(自令和1年9月26日 至令和1年10月25日)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(9,041,129円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(281,671,358円)及び分配準備積立金(125,584,661円)より分配対象収益は416,297,148円(1万口当たり1,089.59円)であり、うち7,641,286円(1万口当たり20円)を分配金額としております。</p>

(自平成31年4月26日 至令和1年5月27日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益(8,870,069円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金

(311,289,335円)及び分配準備積立金(133,655,764円)より分配対象収益は453,815,168円(1万口当たり1,074.20円)であり、うち8,449,297円(1万口当たり20円)を分配金額としております。

(自令和1年5月28日 至令和1年6月25日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益(9,065,277円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金

(294,068,616円)及び分配準備積立金(126,806,598円)より分配対象収益は429,940,491円(1万口当たり1,077.40円)であり、うち7,981,035円(1万口当たり20円)を分配金額としております。

(自令和1年6月26日 至令和1年7月25日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益(9,040,287円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金

(287,638,964円)及び分配準備積立金(125,124,642円)より分配対象収益は421,803,893円(1万口当たり1,080.75円)であり、うち7,805,731円(1万口当たり20円)を分配金額としております。

(自令和1年10月26日 至令和1年11月25日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益(8,120,385円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金

(279,826,266円)及び分配準備積立金(126,107,042円)より分配対象収益は414,053,693円(1万口当たり1,090.99円)であり、うち7,590,376円(1万口当たり20円)を分配金額としております。

(自令和1年11月26日 至令和1年12月25日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益(9,147,960円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金

(274,579,186円)及び分配準備積立金(124,109,365円)より分配対象収益は407,836,511円(1万口当たり1,095.58円)であり、うち7,445,112円(1万口当たり20円)を分配金額としております。

(自令和1年12月26日 至令和2年1月27日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益(7,614,765円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金

(271,266,593円)及び分配準備積立金(124,248,591円)より分配対象収益は403,129,949円(1万口当たり1,096.28円)であり、うち7,354,442円(1万口当たり20円)を分配金額としております。



<p>(自令和1年7月26日 至令和1年8月26日)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(8,216,861円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(285,833,298円)及び分配準備積立金(125,547,010円)より分配対象収益は419,597,169円(1万口当たり1,082.00円)であり、うち7,755,923円(1万口当たり20円)を分配金額としております。</p> <p>(自令和1年8月27日 至令和1年9月25日)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(9,206,383円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(284,103,384円)及び分配準備積立金(125,216,851円)より分配対象収益は418,526,618円(1万口当たり1,085.93円)であり、うち7,708,126円(1万口当たり20円)を分配金額としております。</p>	<p>(自令和2年1月28日 至令和2年2月25日)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(7,703,346円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(264,489,189円)及び分配準備積立金(121,355,791円)より分配対象収益は393,548,326円(1万口当たり1,097.77円)であり、うち7,169,908円(1万口当たり20円)を分配金額としております。</p> <p>(自令和2年2月26日 至令和2年3月25日)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(7,897,182円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(262,323,447円)及び分配準備積立金(120,758,410円)より分配対象収益は390,979,039円(1万口当たり1,099.99円)であり、うち7,108,720円(1万口当たり20円)を分配金額としております。</p>
---	---

## (金融商品に関する注記)

## 1. 金融商品の状況に関する事項

項目	前期	当期
	自 平成31年3月26日 至 令和1年9月25日	自 令和1年9月26日 至 令和2年3月25日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	同左
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。当ファンドが保有する有価証券の詳細は「附属明細表」に記載しております。これらは、市場リスク(価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスク)、信用リスク、及び流動性リスクを有しております。	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	運用担当部署から独立したコンプライアンス・リスク管理担当部署が、運用リスクを把握、管理し、その結果に基づき運用担当部署へ対応の指示等を行うことにより、適切な管理を行います。リスク管理に関する委員会等はこれらの運用リスク管理状況の報告を受け、総合的な見地から運用状況全般の管理を行います。	同左

## 2. 金融商品の時価等に関する事項

項目	前期	当期
	令和1年9月25日現在	令和2年3月25日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」にて記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務）は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

## （有価証券に関する注記）

## 売買目的有価証券

種類	前期	当期
	令和1年9月25日現在	令和2年3月25日現在
	最終計算期間の 損益に含まれた 評価差額（円）	最終計算期間の 損益に含まれた 評価差額（円）
投資信託受益証券	23,554,921	321,297,731
親投資信託受益証券	-	119
合計	23,554,921	321,297,612

## （デリバティブ取引等に関する注記）

該当事項はありません。

## （関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

(1口当たり情報に関する注記)

	前期 令和1年9月25日現在	当期 令和2年3月25日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	0.3362円 (3,362円)	0.2483円 (2,483円)

(4) 【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

令和2年3月25日現在

種類	銘柄	券面総額 (円)	評価額 (円)	備考
投資信託受益証券	WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンド - AUDクラス	2,560,141,283	867,119,852	
投資信託受益証券	合計	2,560,141,283	867,119,852	
親投資信託受益証券	国内短期公社債マザーファンド	1,193,555	1,201,909	
親投資信託受益証券	合計	1,193,555	1,201,909	
合計			868,321,761	

(注) 投資信託受益証券及び親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## 【新光グローバル・ハイールド債券ファンドブラジルリアルコース】

## (1) 【貸借対照表】

(単位:円)

	前期 令和1年9月25日現在	当期 令和2年3月25日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	181,031,015	189,162,649
投資信託受益証券	6,587,066,623	4,196,540,315
親投資信託受益証券	6,409,548	6,410,185
未収入金	120,000,000	-
流動資産合計	6,894,507,186	4,392,113,149
資産合計	6,894,507,186	4,392,113,149
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払収益分配金	80,660,337	75,102,015
未払解約金	6,991,901	8,315,031
未払受託者報酬	185,170	136,984
未払委託者報酬	6,480,980	4,794,600
その他未払費用	17,579	12,356
流動負債合計	94,335,967	88,360,986
負債合計	94,335,967	88,360,986
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	40,330,168,619	37,551,007,825
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金( )	33,529,997,400	33,247,255,662
(分配準備積立金)	2,305,319,079	2,235,561,047
元本等合計	6,800,171,219	4,303,752,163
純資産合計	6,800,171,219	4,303,752,163
負債純資産合計	6,894,507,186	4,392,113,149

## (2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位:円)

	前期 自 平成31年3月26日 至 令和1年9月25日	当期 自 令和1年9月26日 至 令和2年3月25日
<b>営業収益</b>		
受取配当金	640,837,702	608,048,390
有価証券売買等損益	730,229,937	2,150,525,671
営業収益合計	89,392,235	1,542,477,281
<b>営業費用</b>		
支払利息	94,904	41,743
受託者報酬	1,244,539	1,061,791
委託者報酬	43,558,656	37,164,165
その他費用	118,162	98,769
営業費用合計	45,016,261	38,366,468
営業利益又は営業損失( )	134,408,496	1,580,843,749
経常利益又は経常損失( )	134,408,496	1,580,843,749
当期純利益又は当期純損失( )	134,408,496	1,580,843,749
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額( )	3,397,123	15,610,883
期首剰余金又は期首欠損金( )	35,775,777,648	33,529,997,400
剰余金増加額又は欠損金減少額	3,185,552,082	2,580,282,748
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	3,185,552,082	2,580,282,748
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
剰余金減少額又は欠損金増加額	303,468,783	267,568,778
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	303,468,783	267,568,778
分配金	498,497,432	464,739,366
期末剰余金又は期末欠損金( )	33,529,997,400	33,247,255,662

## (3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	当期	
	自 令和1年9月26日	至 令和2年3月25日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。</p> <p>親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。</p>	
2. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。</p>	

(貸借対照表に関する注記)

項目	前期	当期
	令和1年9月25日現在	令和2年3月25日現在
1. 期首元本額	43,852,171,313円	40,330,168,619円
期中追加設定元本額	369,158,074円	321,883,939円
期中一部解約元本額	3,891,160,768円	3,101,044,733円
2. 受益権の総数	40,330,168,619口	37,551,007,825口
3. 元本の欠損	純資産額が元本総額を下回っており、その差額は33,529,997,400円です。	純資産額が元本総額を下回っており、その差額は33,247,255,662円です。

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

項目	前期	当期
	自 平成31年3月26日 至 令和1年9月25日	自 令和1年9月26日 至 令和2年3月25日
1. 分配金の計算過程	<p>(自平成31年3月26日 至平成31年4月25日)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(102,666,754円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(6,072,226,056円)及び分配準備積立金(2,357,240,867円)より分配対象収益は8,532,133,677円(1万口当たり1,992.73円)であり、うち85,632,228円(1万口当たり20円)を分配金額としております。</p>	<p>(自令和1年9月26日 至令和1年10月25日)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(100,770,009円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(5,678,738,878円)及び分配準備積立金(2,277,509,096円)より分配対象収益は8,057,017,983円(1万口当たり2,019.43円)であり、うち79,794,596円(1万口当たり20円)を分配金額としております。</p>

(自平成31年4月26日 至令和1年5月27日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益(98,747,770円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金

(5,997,707,158円)及び分配準備積立金(2,341,953,841円)より分配対象収益は8,438,408,769円(1万口当たり1,996.16円)であり、うち84,546,041円(1万口当たり20円)を分配金額としております。

(自令和1年5月28日 至令和1年6月25日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益(104,091,938円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金

(5,920,073,192円)及び分配準備積立金(2,322,441,802円)より分配対象収益は8,346,606,932円(1万口当たり2,001.18円)であり、うち83,416,581円(1万口当たり20円)を分配金額としております。

(自令和1年6月26日 至令和1年7月25日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益(102,397,199円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金

(5,864,273,329円)及び分配準備積立金(2,317,974,277円)より分配対象収益は8,284,644,805円(1万口当たり2,006.03円)であり、うち82,597,332円(1万口当たり20円)を分配金額としております。

(自令和1年10月26日 至令和1年11月25日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益(95,963,667円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金

(5,635,588,901円)及び分配準備積立金(2,277,280,136円)より分配対象収益は8,008,832,704円(1万口当たり2,023.68円)であり、うち79,150,958円(1万口当たり20円)を分配金額としております。

(自令和1年11月26日 至令和1年12月25日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益(98,118,901円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金

(5,513,837,524円)及び分配準備積立金(2,240,583,669円)より分配対象収益は7,852,540,094円(1万口当たり2,029.03円)であり、うち77,401,688円(1万口当たり20円)を分配金額としております。

(自令和1年12月26日 至令和2年1月27日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益(93,420,559円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金

(5,475,534,821円)及び分配準備積立金(2,240,502,941円)より分配対象収益は7,809,458,321円(1万口当たり2,033.37円)であり、うち76,812,954円(1万口当たり20円)を分配金額としております。



<p>(自令和1年7月26日 至令和1年8月26日)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(96,968,697円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(5,799,176,262円)及び分配準備積立金(2,308,554,453円)より分配対象収益は8,204,699,412円(1万口当たり2,009.84円)であり、うち81,644,913円(1万口当たり20円)を分配金額としております。</p> <p>(自令和1年8月27日 至令和1年9月25日)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(97,824,131円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(5,737,248,037円)及び分配準備積立金(2,288,155,285円)より分配対象収益は8,123,227,453円(1万口当たり2,014.18円)であり、うち80,660,337円(1万口当たり20円)を分配金額としております。</p>	<p>(自令和2年1月28日 至令和2年2月25日)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(93,305,038円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(5,454,511,818円)及び分配準備積立金(2,244,330,801円)より分配対象収益は7,792,147,657円(1万口当たり2,037.77円)であり、うち76,477,155円(1万口当たり20円)を分配金額としております。</p> <p>(自令和2年2月26日 至令和2年3月25日)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(93,619,061円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(5,359,909,180円)及び分配準備積立金(2,217,044,001円)より分配対象収益は7,670,572,242円(1万口当たり2,042.70円)であり、うち75,102,015円(1万口当たり20円)を分配金額としております。</p>
---	---

## (金融商品に関する注記)

## 1. 金融商品の状況に関する事項

項目	前期	当期
	自 平成31年3月26日 至 令和1年9月25日	自 令和1年9月26日 至 令和2年3月25日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	同左
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。当ファンドが保有する有価証券の詳細は「附属明細表」に記載しております。これらは、市場リスク(価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスク)、信用リスク、及び流動性リスクを有しております。	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	運用担当部署から独立したコンプライアンス・リスク管理担当部署が、運用リスクを把握、管理し、その結果に基づき運用担当部署へ対応の指示等を行うことにより、適切な管理を行います。リスク管理に関する委員会等はこれらの運用リスク管理状況の報告を受け、総合的な見地から運用状況全般の管理を行います。	同左

## 2. 金融商品の時価等に関する事項

項目	前期	当期
	令和1年9月25日現在	令和2年3月25日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」にて記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務)は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

## (有価証券に関する注記)

## 売買目的有価証券

種類	前期	当期
	令和1年9月25日現在	令和2年3月25日現在
	最終計算期間の 損益に含まれた 評価差額(円)	最終計算期間の 損益に含まれた 評価差額(円)
投資信託受益証券	96,486,379	1,812,029,271
親投資信託受益証券	-	637
合計	96,486,379	1,812,028,634

## (デリバティブ取引等に関する注記)

該当事項はありません。

## (関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報に関する注記)

	前期 令和1年9月25日現在	当期 令和2年3月25日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	0.1686円 (1,686円)	0.1146円 (1,146円)

## (4) 【附属明細表】

## 第1 有価証券明細表

## (1) 株式

該当事項はありません。

## (2) 株式以外の有価証券

令和2年3月25日現在

種類	銘柄	券面総額 (円)	評価額 (円)	備考
投資信託受益証券	WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンド - BRLクラス	49,781,023,913	4,196,540,315	
投資信託受益証券 合計		49,781,023,913	4,196,540,315	
親投資信託受益証券	国内短期公社債マザーファンド	6,365,626	6,410,185	
親投資信託受益証券 合計		6,365,626	6,410,185	
合計			4,202,950,500	

(注) 投資信託受益証券及び親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## 【新光グローバル・ハイイールド債券ファンドメキシコペソコース】

## (1) 【貸借対照表】

(単位：円)

	前期 令和1年9月25日現在	当期 令和2年3月25日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	7,045,462	4,224,301
投資信託受益証券	142,328,922	72,167,276
親投資信託受益証券	99,891	99,901
流動資産合計	149,474,275	76,491,478
資産合計	149,474,275	76,491,478
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払収益分配金	1,643,616	1,255,901
未払受託者報酬	3,997	2,615
未払委託者報酬	139,961	91,966
その他未払費用	367	223
流動負債合計	1,787,941	1,350,705
負債合計	1,787,941	1,350,705
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	234,802,353	179,414,512
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金( )	87,116,019	104,273,739
(分配準備積立金)	6,122,651	3,542,557
元本等合計	147,686,334	75,140,773
純資産合計	147,686,334	75,140,773
負債純資産合計	149,474,275	76,491,478

## (2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位:円)

	前期 自 平成31年3月26日 至 令和1年9月25日	当期 自 令和1年9月26日 至 令和2年3月25日
<b>営業収益</b>		
受取配当金	9,590,616	7,671,272
有価証券売買等損益	1,970,036	36,161,636
営業収益合計	7,620,580	28,490,364
<b>営業費用</b>		
支払利息	2,215	1,229
受託者報酬	25,564	20,440
委託者報酬	894,743	717,132
その他費用	2,365	1,811
営業費用合計	924,887	740,612
営業利益又は営業損失( )	6,695,693	29,230,976
経常利益又は経常損失( )	6,695,693	29,230,976
当期純利益又は当期純損失( )	6,695,693	29,230,976
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額( )	259,429	99,149
期首剰余金又は期首欠損金( )	86,510,871	87,116,019
剰余金増加額又は欠損金減少額	4,523,387	22,360,524
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	4,523,387	22,360,524
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
剰余金減少額又は欠損金増加額	1,371,430	2,224,074
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	1,371,430	2,224,074
分配金	10,193,369	7,964,045
期末剰余金又は期末欠損金( )	87,116,019	104,273,739

## (3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	当期	
	自 令和1年9月26日	至 令和2年3月25日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。</p> <p>親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。</p>	
2. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。</p>	

(貸借対照表に関する注記)

項目	前期	当期
	令和1年9月25日現在	令和2年3月25日現在
1. 期首元本額	242,525,731円	234,802,353円
期中追加設定元本額	3,799,627円	6,515,281円
期中一部解約元本額	11,523,005円	61,903,122円
2. 受益権の総数	234,802,353口	179,414,512口
3. 元本の欠損	純資産額が元本総額を下回っており、その差額は87,116,019円であります。	純資産額が元本総額を下回っており、その差額は104,273,739円であります。

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

項目	前期	当期
	自 平成31年3月26日 至 令和1年9月25日	自 令和1年9月26日 至 令和2年3月25日
1. 分配金の計算過程	<p>(自平成31年3月26日 至平成31年4月25日)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,564,454円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(55,409,155円)及び分配準備積立金(7,696,991円)より分配対象収益は64,670,600円(1万口当たり2,663.64円)であり、うち1,699,527円(1万口当たり70円)を分配金額としております。</p>	<p>(自令和1年9月26日 至令和1年10月25日)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,232,011円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(44,037,329円)及び分配準備積立金(5,013,165円)より分配対象収益は50,282,505円(1万口当たり2,611.10円)であり、うち1,348,004円(1万口当たり70円)を分配金額としております。</p>

(自平成31年4月26日 至令和1年5月27日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,434,634円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(55,663,933円)及び分配準備積立金(7,561,918円)より分配対象収益は64,660,485円(1万口当たり2,652.49円)であり、うち1,706,403円(1万口当たり70円)を分配金額としております。

(自令和1年5月28日 至令和1年6月25日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,453,177円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(55,775,399円)及び分配準備積立金(7,289,246円)より分配対象収益は64,517,822円(1万口当たり2,642.04円)であり、うち1,709,373円(1万口当たり70円)を分配金額としております。

(自令和1年6月26日 至令和1年7月25日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,526,091円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(55,926,925円)及び分配準備積立金(7,032,559円)より分配対象収益は64,485,575円(1万口当たり2,634.39円)であり、うち1,713,482円(1万口当たり70円)を分配金額としております。

(自令和1年10月26日 至令和1年11月25日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,126,646円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(44,050,586円)及び分配準備積立金(4,890,449円)より分配対象収益は50,067,681円(1万口当たり2,599.59円)であり、うち1,348,183円(1万口当たり70円)を分配金額としております。

(自令和1年11月26日 至令和1年12月25日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,225,554円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(44,135,652円)及び分配準備積立金(4,646,679円)より分配対象収益は50,007,885円(1万口当たり2,593.41円)であり、うち1,349,786円(1万口当たり70円)を分配金額としております。

(自令和1年12月26日 至令和2年1月27日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,183,528円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(44,862,532円)及び分配準備積立金(4,522,332円)より分配対象収益は50,568,392円(1万口当たり2,584.52円)であり、うち1,369,609円(1万口当たり70円)を分配金額としております。



<p>(自令和1年7月26日 至令和1年8月26日)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,440,172円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(56,201,492円)及び分配準備積立金(6,844,926円)より分配対象収益は64,486,590円(1万口当たり2,622.97円)であり、うち1,720,968円(1万口当たり70円)を分配金額としております。</p> <p>(自令和1年8月27日 至令和1年9月25日)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,497,218円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(53,684,716円)及び分配準備積立金(6,269,049円)より分配対象収益は61,450,983円(1万口当たり2,617.13円)であり、うち1,643,616円(1万口当たり70円)を分配金額としております。</p>	<p>(自令和2年1月28日 至令和2年2月25日)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,074,393円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(42,360,832円)及び分配準備積立金(4,070,442円)より分配対象収益は47,505,667円(1万口当たり2,572.71円)であり、うち1,292,562円(1万口当たり70円)を分配金額としております。</p> <p>(自令和2年2月26日 至令和2年3月25日)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,072,777円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(41,176,649円)及び分配準備積立金(3,725,681円)より分配対象収益は45,975,107円(1万口当たり2,562.50円)であり、うち1,255,901円(1万口当たり70円)を分配金額としております。</p>
---	---

## (金融商品に関する注記)

## 1. 金融商品の状況に関する事項

項目	前期	当期
	自 平成31年3月26日 至 令和1年9月25日	自 令和1年9月26日 至 令和2年3月25日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	同左
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。当ファンドが保有する有価証券の詳細は「附属明細表」に記載しております。これらは、市場リスク(価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスク)、信用リスク、及び流動性リスクを有しております。	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	運用担当部署から独立したコンプライアンス・リスク管理担当部署が、運用リスクを把握、管理し、その結果に基づき運用担当部署へ対応の指示等を行うことにより、適切な管理を行います。リスク管理に関する委員会等はこれらの運用リスク管理状況の報告を受け、総合的な見地から運用状況全般の管理を行います。	同左

## 2. 金融商品の時価等に関する事項

項目	前期 令和1年9月25日現在	当期 令和2年3月25日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」にて記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務)は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

## (有価証券に関する注記)

## 売買目的有価証券

種類	前期 令和1年9月25日現在	当期 令和2年3月25日現在
	最終計算期間の 損益に含まれた 評価差額(円)	最終計算期間の 損益に含まれた 評価差額(円)
投資信託受益証券	7,528,478	43,037,447
親投資信託受益証券	-	10
合計	7,528,478	43,037,437

## (デリバティブ取引等に関する注記)

該当事項はありません。

## (関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報に関する注記)

	前期 令和1年9月25日現在	当期 令和2年3月25日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	0.6290円 (6,290円)	0.4188円 (4,188円)

(4) 【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

令和2年3月25日現在

種類	銘柄	券面総額 (円)	評価額 (円)	備考
投資信託受益証券	WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンド-MXNクラス	194,520,962	72,167,276	
投資信託受益証券 合計		194,520,962	72,167,276	
親投資信託受益証券	国内短期公社債マザーファンド	99,207	99,901	
親投資信託受益証券 合計		99,207	99,901	
合計			72,267,177	

(注) 投資信託受益証券及び親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## 【新光グローバル・ハイイールド債券ファンドトルコリラコース】

## (1) 【貸借対照表】

(単位:円)

	前期 令和1年9月25日現在	当期 令和2年3月25日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	30,544,316	24,234,225
投資信託受益証券	261,719,020	377,189,848
親投資信託受益証券	99,891	99,901
流動資産合計	292,363,227	401,523,974
資産合計	292,363,227	401,523,974
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	6,000,000	-
未払収益分配金	5,769,404	11,563,798
未払解約金	9,510,646	3,082,859
未払受託者報酬	6,715	12,342
未払委託者報酬	235,163	432,229
その他未払費用	626	1,103
流動負債合計	21,522,554	15,092,331
負債合計	21,522,554	15,092,331
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	721,175,543	1,445,474,860
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金( )	450,334,870	1,059,043,217
(分配準備積立金)	23,579,368	23,111,919
元本等合計	270,840,673	386,431,643
純資産合計	270,840,673	386,431,643
負債純資産合計	292,363,227	401,523,974

## (2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位:円)

	前期 自 平成31年3月26日 至 令和1年9月25日	当期 自 令和1年9月26日 至 令和2年3月25日
<b>営業収益</b>		
受取配当金	36,558,780	77,223,969
有価証券売買等損益	4,921,809	172,529,162
営業収益合計	31,636,971	95,305,193
<b>営業費用</b>		
支払利息	4,774	7,500
受託者報酬	38,444	75,979
委託者報酬	1,345,584	2,660,747
その他費用	3,590	6,961
営業費用合計	1,392,392	2,751,187
営業利益又は営業損失( )	30,244,579	98,056,380
経常利益又は経常損失( )	30,244,579	98,056,380
当期純利益又は当期純損失( )	30,244,579	98,056,380
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額( )	2,910,137	5,917,295
期首剰余金又は期首欠損金( )	425,266,299	450,334,870
剰余金増加額又は欠損金減少額	145,855,749	240,705,152
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	145,855,749	240,705,152
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
剰余金減少額又は欠損金増加額	168,427,369	690,926,381
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	168,427,369	690,926,381
分配金	29,831,393	66,348,033
期末剰余金又は期末欠損金( )	450,334,870	1,059,043,217

## (3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	当期	
	自 令和1年9月26日	至 令和2年3月25日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。</p> <p>親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。</p>	
2. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。</p>	

(貸借対照表に関する注記)

項目	前期	当期
	令和1年9月25日現在	令和2年3月25日現在
1. 期首元本額	679,647,082円	721,175,543円
期中追加設定元本額	271,127,188円	1,099,686,496円
期中一部解約元本額	229,598,727円	375,387,179円
2. 受益権の総数	721,175,543口	1,445,474,860口
3. 元本の欠損	純資産額が元本総額を下回っており、その差額は450,334,870円であります。	純資産額が元本総額を下回っており、その差額は1,059,043,217円であります。

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

項目	前期	当期
	自 平成31年3月26日 至 令和1年9月25日	自 令和1年9月26日 至 令和2年3月25日
1. 分配金の計算過程	<p>(自平成31年3月26日 至平成31年4月25日)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(6,112,337円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(108,434,234円)及び分配準備積立金(27,160,953円)より分配対象収益は141,707,524円(1万口当たり2,148.14円)であり、うち5,277,388円(1万口当たり80円)を分配金額としております。</p>	<p>(自令和1年9月26日 至令和1年10月25日)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(6,780,505円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(145,281,999円)及び分配準備積立金(22,050,024円)より分配対象収益は174,112,528円(1万口当たり2,232.22円)であり、うち6,239,960円(1万口当たり80円)を分配金額としております。</p>

(自平成31年4月26日 至令和1年5月27日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益(5,850,169円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金

(105,388,409円)及び分配準備積立金(26,734,412円)より分配対象収益は137,972,990円(1万口当たり2,160.75円)であり、うち5,108,330円(1万口当たり80円)を分配金額としております。

(自令和1年5月28日 至令和1年6月25日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益(5,255,772円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(90,555,677円)及び分配準備積立金

(23,421,546円)より分配対象収益は119,232,995円(1万口当たり2,178.10円)であり、うち4,379,327円(1万口当たり80円)を分配金額としております。

(自令和1年6月26日 至令和1年7月25日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益(5,060,642円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(97,676,346円)及び分配準備積立金

(22,907,773円)より分配対象収益は125,644,761円(1万口当たり2,195.76円)であり、うち4,577,715円(1万口当たり80円)を分配金額としております。

(自令和1年10月26日 至令和1年11月25日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益(7,842,798円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金

(290,802,885円)及び分配準備積立金(21,468,686円)より分配対象収益は320,114,369円(1万口当たり2,246.65円)であり、うち11,398,775円(1万口当たり80円)を分配金額としております。

(自令和1年11月26日 至令和1年12月25日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益(13,743,071円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金

(299,210,252円)及び分配準備積立金(17,500,443円)より分配対象収益は330,453,766円(1万口当たり2,261.82円)であり、うち11,688,039円(1万口当たり80円)を分配金額としております。

(自令和1年12月26日 至令和2年1月27日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益(14,074,373円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金

(328,138,078円)及び分配準備積立金(19,085,621円)より分配対象収益は361,298,072円(1万口当たり2,277.52円)であり、うち12,690,902円(1万口当たり80円)を分配金額としております。



<p>(自令和1年7月26日 至令和1年8月26日)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(5,479,217円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(101,435,059円)及び分配準備積立金(23,384,358円)より分配対象収益は130,298,634円(1万口当たり2,208.81円)であり、うち4,719,229円(1万口当たり80円)を分配金額としております。</p> <p>(自令和1年8月27日 至令和1年9月25日)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(6,007,238円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(130,550,355円)及び分配準備積立金(23,341,534円)より分配対象収益は159,899,127円(1万口当たり2,217.20円)であり、うち5,769,404円(1万口当たり80円)を分配金額としております。</p>	<p>(自令和2年1月28日 至令和2年2月25日)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(15,582,957円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(330,834,526円)及び分配準備積立金(19,981,531円)より分配対象収益は366,399,014円(1万口当たり2,295.99円)であり、うち12,766,559円(1万口当たり80円)を分配金額としております。</p> <p>(自令和2年2月26日 至令和2年3月25日)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(14,279,608円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(300,011,266円)及び分配準備積立金(20,396,109円)より分配対象収益は334,686,983円(1万口当たり2,315.41円)であり、うち11,563,798円(1万口当たり80円)を分配金額としております。</p>
---	---

## (金融商品に関する注記)

## 1. 金融商品の状況に関する事項

項目	前期	当期
	自 平成31年3月26日 至 令和1年9月25日	自 令和1年9月26日 至 令和2年3月25日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	同左
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。当ファンドが保有する有価証券の詳細は「附属明細表」に記載しております。これらは、市場リスク(価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスク)、信用リスク、及び流動性リスクを有しております。	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	運用担当部署から独立したコンプライアンス・リスク管理担当部署が、運用リスクを把握、管理し、その結果に基づき運用担当部署へ対応の指示等を行うことにより、適切な管理を行います。リスク管理に関する委員会等はこれらの運用リスク管理状況の報告を受け、総合的な見地から運用状況全般の管理を行います。	同左

## 2. 金融商品の時価等に関する事項

項目	前期	当期
	令和1年9月25日現在	令和2年3月25日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」にて記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務)は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

## (有価証券に関する注記)

## 売買目的有価証券

種類	前期	当期
	令和1年9月25日現在	令和2年3月25日現在
	最終計算期間の 損益に含まれた 評価差額(円)	最終計算期間の 損益に含まれた 評価差額(円)
投資信託受益証券	4,783,906	119,682,489
親投資信託受益証券	-	10
合計	4,783,906	119,682,479

## (デリバティブ取引等に関する注記)

該当事項はありません。

## (関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報に関する注記)

	前期 令和1年9月25日現在	当期 令和2年3月25日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	0.3756円 (3,756円)	0.2673円 (2,673円)

## (4) 【附属明細表】

## 第1 有価証券明細表

## (1) 株式

該当事項はありません。

## (2) 株式以外の有価証券

令和2年3月25日現在

種類	銘柄	券面総額 (円)	評価額 (円)	備考
投資信託受益証券	WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンド-TRYクラス	1,871,909,920	377,189,848	
投資信託受益証券 合計		1,871,909,920	377,189,848	
親投資信託受益証券	国内短期公社債マザーファンド	99,207	99,901	
親投資信託受益証券 合計		99,207	99,901	
合計			377,289,749	

(注) 投資信託受益証券及び親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## 【新光グローバル・ハイイールド債券ファンドマネープールファンド】

## (1) 【貸借対照表】

(単位:円)

	第18期 令和1年9月25日現在	第19期 令和2年3月25日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	48,441	48,205
親投資信託受益証券	949,612	949,706
流動資産合計	998,053	997,911
資産合計	998,053	997,911
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払受託者報酬	149	-
未払委託者報酬	87	182
流動負債合計	236	182
負債合計	236	182
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	1,000,000	1,000,000
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金( )	2,183	2,271
(分配準備積立金)	12,404	16,983
元本等合計	997,817	997,729
純資産合計	997,817	997,729
負債純資産合計	998,053	997,911

## (2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位:円)

	第18期 自 平成31年3月26日 至 令和1年9月25日	第19期 自 令和1年9月26日 至 令和2年3月25日
営業収益		
有価証券売買等損益	283	94
営業収益合計	283	94
営業費用		
支払利息	1	-
受託者報酬	149	-
委託者報酬	87	182
営業費用合計	237	182
営業利益又は営業損失( )	520	88
経常利益又は経常損失( )	520	88
当期純利益又は当期純損失( )	520	88
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額( )	-	-
期首剰余金又は期首欠損金( )	1,663	2,183
剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
分配金	-	-
期末剰余金又は期末欠損金( )	2,183	2,271

## (3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	第19期	
	自 令和1年9月26日	至 令和2年3月25日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。	

(貸借対照表に関する注記)

項目	第18期	第19期
	令和1年9月25日現在	令和2年3月25日現在
1. 期首元本額	1,000,000円	1,000,000円
期中追加設定元本額	- 円	- 円
期中一部解約元本額	- 円	- 円
2. 受益権の総数	1,000,000口	1,000,000口
3. 元本の欠損	純資産額が元本総額を下回っており、その差額は2,183円であります。	純資産額が元本総額を下回っており、その差額は2,271円であります。

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

項目	第18期	第19期
	自 平成31年3月26日 至 令和1年9月25日	自 令和1年9月26日 至 令和2年3月25日
1. 分配金の計算過程	計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,528円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(6,727円)及び分配準備積立金(9,876円)より分配対象収益は19,131円(1万口当たり191.31円)ですが、分配を行っておりません。	計算期間末における費用控除後の配当等収益(4,579円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(6,727円)及び分配準備積立金(12,404円)より分配対象収益は23,710円(1万口当たり237.10円)ですが、分配を行っておりません。

## (金融商品に関する注記)

## 1. 金融商品の状況に関する事項

項目	第18期 自 平成31年3月26日 至 令和1年9月25日	第19期 自 令和1年9月26日 至 令和2年3月25日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	同左
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。当ファンドが保有する有価証券の詳細は「附属明細表」に記載しております。これらは、市場リスク（価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスク）、信用リスク、及び流動性リスクを有しております。	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	運用担当部署から独立したコンプライアンス・リスク管理担当部署が、運用リスクを把握、管理し、その結果に基づき運用担当部署へ対応の指示等を行うことにより、適切な管理を行います。リスク管理に関する委員会等はこれらの運用リスク管理状況の報告を受け、総合的な見地から運用状況全般の管理を行います。	同左



## 2. 金融商品の時価等に関する事項

項目	第18期 令和1年9月25日現在	第19期 令和2年3月25日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」にて記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務)は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

## (有価証券に関する注記)

## 売買目的有価証券

種類	第18期 令和1年9月25日現在	第19期 令和2年3月25日現在
	当期の 損益に含まれた 評価差額(円)	当期の 損益に含まれた 評価差額(円)
親投資信託受益証券	283	94
合計	283	94

## (デリバティブ取引等に関する注記)

該当事項はありません。

## (関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報に関する注記)

	第18期 令和1年9月25日現在	第19期 令和2年3月25日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	0.9978円 (9,978円)	0.9977円 (9,977円)

## (4) 【附属明細表】

## 第1 有価証券明細表

## (1) 株式

該当事項はありません。

## (2) 株式以外の有価証券

令和2年3月25日現在

種類	銘柄	券面総額 (円)	評価額 (円)	備考
親投資信託受益証券	国内短期公社債マザーファンド	943,105	949,706	
親投資信託受益証券	合計	943,105	949,706	
合計			949,706	

(注) 親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## (参考)

「新光グローバル・ハイイールド債券ファンド米ドルコース」、「新光グローバル・ハイイールド債券ファンド豪ドルコース」、「新光グローバル・ハイイールド債券ファンドブラジルリアルコース」、「新光グローバル・ハイイールド債券ファンドメキシコペソコース」、「新光グローバル・ハイイールド債券ファンドトルコリラコース」は、「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンド - USDクラス」投資信託証券、「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンド - AUDクラス」投資信託証券、「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンド - BRLクラス」投資信託証券、「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンド - MXNクラス」投資信託証券、「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンド - TRYクラス」投資信託証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「投資信託受益証券」は、すべてこれらの証券であります。

「新光グローバル・ハイイールド債券ファンド米ドルコース」、「新光グローバル・ハイイールド債券ファンド豪ドルコース」、「新光グローバル・ハイイールド債券ファンドブラジルリアルコース」、「新光グローバル・ハイイールド債券ファンドメキシコペソコース」、「新光グローバル・ハイイールド債券ファンドトルコリラコース」、「新光グローバル・ハイイールド債券ファンドマネープールファンド」は、「国内短期公社債マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同親投資信託の受益証券であります。

同投資信託の状況は以下の通りであります。

なお、以下に記載した状況は監査の対象外となっております。

国内短期公社債マザーファンド  
貸借対照表

(単位：円)

令和2年3月25日現在

資産の部	
流動資産	
コール・ローン	19,726,485
地方債証券	60,012,343
未収利息	409,224
流動資産合計	80,148,052
資産合計	80,148,052
負債の部	
流動負債	
流動負債合計	-
負債合計	-
純資産の部	
元本等	
元本	79,591,729
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	556,323
元本等合計	80,148,052
純資産合計	80,148,052
負債純資産合計	80,148,052

## 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	自 令和1年9月26日
	至 令和2年3月25日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	地方債証券 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額又は日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）等で評価しております。

## (貸借対照表に関する注記)

項目	令和2年3月25日現在
1. 本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	146,585,233円
同期中追加設定元本額	- 円
同期中一部解約元本額	66,993,504円
元本の内訳	
ファンド名	
ハイブリッド証券ファンド円コース	27,208,015円
ハイブリッド証券ファンド米ドルコース	3,391,713円
ハイブリッド証券ファンド豪ドルコース	4,489,701円
ハイブリッド証券ファンドブラジルリアルコース	16,175,679円
ハイブリッド証券ファンドロシアルーブルコース	2,324,574円
ハイブリッド証券ファンドインドルピーコース	2,228,133円
ハイブリッド証券ファンド中国元コース	1,130,574円
ハイブリッド証券ファンド南アフリカランドコース	236,700円
ハイブリッド証券ファンドマネープールファンド	2,792,565円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンド円コース	1,392,481円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンド米ドルコース	298,389円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンド豪ドルコース	1,193,555円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンドブラジルリアルコース	6,365,626円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンドマネープールファンド	943,105円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンドメキシコペソコース	99,207円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンドトルコリラコース	99,207円
ハイブリッド証券ファンドメキシコペソコース	8,032,854円
ハイブリッド証券ファンドトルコリラコース	1,090,474円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンド(年1回決算型)	99,177円
計	79,591,729円
2. 受益権の総数	79,591,729口

## (金融商品に関する注記)

## 1. 金融商品の状況に関する事項

項目	自 令和1年9月26日 至 令和2年3月25日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。当ファンドが保有する有価証券の詳細は「附属明細表」に記載しております。これらは、市場リスク（価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスク）、信用リスク、及び流動性リスクを有しております。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	運用担当部署から独立したコンプライアンス・リスク管理担当部署が、運用リスクを把握、管理し、その結果に基づき運用担当部署へ対応の指示等を行うことにより、適切な管理を行います。リスク管理に関する委員会等はこれらの運用リスク管理状況の報告を受け、総合的な見地から運用状況全般の管理を行います。

## 2. 金融商品の時価等に関する事項

項目	令和2年3月25日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」にて記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務）は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種類	令和2年3月25日現在
	当期の 損益に含まれた 評価差額（円）
地方債証券	-
合計	-

（注）「当期の損益に含まれた評価差額」は、当該親投資信託の計算期間開始日から開示対象ファンドの期末日までの期間（令和1年11月1日から令和2年3月25日まで）に対応する金額であります。

（デリバティブ取引等に関する注記）

該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（1口当たり情報に関する注記）

	令和2年3月25日現在
1口当たり純資産額 （1万口当たり純資産額）	1.0070円 (10,070円)

附属明細表

第1 有価証券明細表

（1）株式

該当事項はありません。

（2）株式以外の有価証券

令和2年3月25日現在

種類	銘柄	券面総額 （円）	評価額 （円）	備考
地方債証券	336回 大阪府公募公債	20,000,000	20,003,943	
	20年度9回 奈良県債	40,000,000	40,008,400	
地方債証券 合計		60,000,000	60,012,343	
合計			60,012,343	

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

(参考)

「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンド - USDクラス」、「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンド - AUDクラス」、「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンド - BRLクラス」、「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンド - MXNクラス」及び「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンド - TRYクラス」は、「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンド」の個別クラスとなっております。

「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンド」はケイマン諸島の法律に基づき設立された円建外国証券投資信託であります。同ファンドの2019年3月31日現在の財務書類は、米国で一般的に認められている会計基準に準拠して作成されており、独立監査人の監査を受けております。

同ファンドの「資産・負債計算書」及び「投資明細表」は、2019年3月31日現在の財務書類の原文の一部を翻訳・抜粋したものでありますが、あくまで参考和訳であり、正確性を保証するものではありません。

## 資産・負債計算書

2019年3月31日現在

(日本円表示)

## 資産

有価証券投資 - 評価額(取得原価11,704,754,009円)	11,391,795,928円
外貨現金および外貨現金同等物 - 評価額(取得原価395,053,557円)	395,631,986円
ブローカーに対する債権	151,933,370円
未収利息	180,587,938円
為替予約未実現利益	89,133,807円
投資売却未収入金	43,790,814円
未収配当金	34,971円
資産合計	<u>12,252,908,814円</u>

## 負債

為替予約未実現損失	449,266,917円
投資購入未払金	177,001,273円
未払管理会社報酬	13,360,273円
未払費用	22,366,705円
負債合計	<u>661,995,168円</u>
償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産	<u>11,590,913,646円</u>

## J P Yクラス

1,486,740,290円 / 2,264,840,462円	<u>0.656円</u>
---------------------------------	---------------

## U S Dクラス

352,324,374円 / 303,744,821円	<u>1.160円</u>
-----------------------------	---------------

## A U Dクラス

1,508,647,882円 / 3,038,019,385円	<u>0.497円</u>
---------------------------------	---------------

## B R Lクラス

7,845,715,460円 / 54,727,518,539円	<u>0.143円</u>
----------------------------------	---------------

## M X Nクラス

151,200,893円 / 266,406,013円	<u>0.568円</u>
-----------------------------	---------------

## T R Yクラス

246,284,747円 / 807,218,259円	<u>0.305円</u>
-----------------------------	---------------





元本金額**		利率 (%)	償還日	取得原価 (円)	評価額 (円)
	運送およびリース - 0.9%				
USD	220,000Park Aerospace Holdings Ltd. 144A	5.250	2022/08/15	25,273,524	25,016,934
USD	670,000Park Aerospace Holdings Ltd. 144A	5.500	2024/02/15	76,911,384	77,170,504
				102,184,908	102,187,438
	ケイマン諸島合計				
	デンマーク - 0.2%				
	銀行 - 0.2%				
USD	200,000Danske Bank A/S 144A	5.375	2024/01/12	21,640,390	23,035,962
	デンマーク合計				
	フランス - 2.9%				
	銀行 - 1.2%				
USD	820,000BNP Paribas SA 144A ~	7.375	-	97,482,975	96,402,867
USD	340,000Credit Agricole SA 144A ~	8.125	-	40,099,068	42,371,150
				137,582,043	138,774,017
	電気通信 - 1.7%				
USD	740,000Altice France SA/France 144A	6.250	2024/05/15	82,072,851	82,825,125
USD	820,000Altice France SA/France 144A	7.375	2026/05/01	91,953,751	89,169,895
USD	200,000Altice France SA/France 144A	8.125	2027/02/01	21,939,242	22,440,509
				195,965,844	194,435,529
	フランス合計				
	ドイツ - 0.3%				
	製薬 - 0.3%				
EUR	310,000Nidda BondCo GmbH	5.000	2025/09/30	42,483,263	36,841,647
	ドイツ合計				
	アイルランド - 1.3%				
	梱包およびコンテナ - 1.3%				
USD	260,000Ardagh Packaging Finance PLC/Ardagh Holdings USA Inc. 144A	4.625	2023/05/15	28,452,679	29,028,777
USD	1,100,000Ardagh Packaging Finance PLC/Ardagh Holdings USA Inc. 144A	6.000	2025/02/15	121,265,696	122,053,127
				149,718,375	151,081,904
	アイルランド合計				
	イタリア - 2.7%				
	銀行 - 2.7%				
USD	1,700,000Intesa Sanpaolo SpA 144A MTN	5.017	2024/06/26	173,105,260	181,985,979
USD	700,000Intesa Sanpaolo SpA 144A MTN	5.710	2026/01/15	71,944,346	75,705,032
USD	540,000UniCredit SpA 144A MTN ~	7.296	2034/04/02	59,668,508	60,337,257
				304,718,114	318,028,268
	イタリア合計				
	チャンネル諸島ジャージー - 0.9%				
	自動車部品および装備品 - 0.3%				
USD	400,000Adient Global Holdings Ltd. 144A	4.875	2026/08/15	31,792,058	32,650,802
	総合金融サービス - 0.2%				
EUR	200,000LHC3 PLC PIK	4.125	2024/08/15	25,982,499	25,280,139

元本金額**		利率 (%)	償還日	取得原価 (円)	評価額 (円)
	保険 - 0.4%				
GBP	330,000Galaxy Bidco Ltd.	6.375	2020/11/15	60,946,679	47,408,048
	チャンネル諸島ジャージー合計			118,721,236	105,338,989
	ルクセンブルグ - 4.6%				
	化学 - 0.4%				
EUR	400,000Monitchem HoldCo 2 SA	6.875	2022/06/15	54,945,508	45,183,942
	総合金融サービス - 0.4%				
EUR	400,000Garfunkelux Holdco 3 SA	7.500	2022/08/01	51,946,019	45,866,816
	マスメディア - 1.8%				
USD	1,940,000Altice Luxembourg SA 144A	7.750	2022/05/15	212,412,710	215,525,733
	石油およびガス - 0.5%				
USD	500,000Ultrapar International SA 144A	5.250	2026/10/06	55,669,174	55,893,747
	梱包およびコンテナ - 1.0%				
USD	782,005ARD Securities Finance SARL PIK 144A	8.750	2023/01/31	86,585,030	82,225,208
EUR	280,000Hercule Debtco SARL PIK 144A	6.750	2024/06/30	38,466,425	32,694,507
				125,051,455	114,919,715
	電気通信 - 0.5%				
USD	520,000Intelsat Jackson Holdings SA 144A	8.000	2024/02/15	58,901,791	60,143,885
	ルクセンブルグ合計			558,926,657	537,533,838
	マーシャル諸島 - 0.5%				
	運輸 - 0.5%				
USD	600,000Navios Maritime Acquisition Corp./Navios Acquisition Finance US Inc. 144A	8.125	2021/11/15	61,497,652	52,794,687
	マーシャル諸島合計			61,497,652	52,794,687
	メキシコ - 1.4%				
	銀行 - 1.1%				
USD	200,000Banco Mercantil del Norte SA/Grand Cayman 144A ~	6.875	-	22,517,451	22,081,018
USD	1,010,000BBVA Bancomer SA/Texas 144A ~	5.125	2033/01/18	101,676,504	103,207,803
				124,193,955	125,288,821
	建材 - 0.3%				
USD	330,000Cemex SAB de CV 144A	6.125	2025/05/05	40,249,861	37,894,300
	メキシコ合計			164,443,816	163,183,121
	オランダ - 5.6%				
	アパレル - 0.3%				
EUR	330,000CBR Fashion Finance BV	5.125	2022/10/01	45,038,560	39,029,616
	鉱業 - 0.6%				
USD	320,000Alcoa Nederland Holding BV 144A	7.000	2026/09/30	33,196,700	38,361,749
USD	270,000Alcoa Nederland Holding BV 144A	6.125	2028/05/15	29,719,208	30,855,008
				62,915,908	69,216,757
	石油およびガス - 2.4%				
USD	1,000,000Petrobras Global Finance BV	5.999	2028/01/27	110,248,352	112,285,556
USD	750,000Petrobras Global Finance BV	5.750	2029/02/01	81,084,807	82,429,441
USD	800,000Petrobras Global Finance BV	6.850	2115/06/05	80,748,446	85,972,330
				272,081,605	280,687,327

元本金額**	利率 (%)	償還日	取得原価 (円)	評価額 (円)
製薬 - 1.5%				
USD 1,740,000				
Teva Pharmaceutical Finance Netherlands III BV				
	2.800	2023/07/21	175,141,628	171,925,648
小売 - 0.8%				
EUR 411,000				
Maxeda DIY Holding BV				
	6.125	2022/07/15	52,438,792	50,127,084
EUR 300,000				
Maxeda DIY Holding BV 144A				
	6.125	2022/07/15	39,807,689	36,589,113
			92,246,481	86,716,197
オランダ合計				
			647,424,182	647,575,545
ペルー - 0.7%				
パイプライン - 0.7%				
USD 750,000				
Transportadora de Gas del Peru SA 144A				
	4.250	2028/04/30	82,604,405	84,411,317
ペルー合計				
			82,604,405	84,411,317
スペイン - 0.3%				
小売 - 0.3%				
EUR 150,000				
Tendam Brands SAU 144A				
	5.000	2024/09/15	19,900,210	18,734,974
EUR 140,000				
Tendam Brands SAU 144A ~				
	5.250	2024/09/15	18,229,167	17,341,121
			38,129,377	36,076,095
スペイン合計				
			38,129,377	36,076,095
トルコ - 0.2%				
電気通信 - 0.2%				
USD 180,000				
Turk Telekomunikasyon AS 144A				
	6.875	2025/02/28	19,799,254	19,134,010
トルコ合計				
			19,799,254	19,134,010
英国 - 3.7%				
銀行 - 0.8%				
USD 750,000				
Barclays Bank PLC				
	7.625	2022/11/21	91,130,965	90,322,496
総合金融サービス - 0.3%				
USD 342,000				
Travelport Corporate Finance PLC 144A				
	6.000	2026/03/15	36,946,892	40,975,650
娯楽 - 0.2%				
USD 200,000				
International Game Technology PLC 144A				
	6.500	2025/02/15	24,585,306	23,132,263
持株会社 - 総合 - 0.4%				
GBP 320,000				
Co-operative Group Holdings 2011 Ltd. #				
	7.500	2026/07/08	45,187,743	51,660,176
レジャー - 0.7%				
GBP 130,000				
Pinnacle Bidco PLC 144A				
	6.375	2025/02/15	20,132,917	19,336,867
GBP 450,000				
Saga PLC				
	3.375	2024/05/12	62,361,629	58,519,602
			82,494,546	77,856,469
マスメディア - 0.8%				
USD 850,000				
Virgin Media Secured Finance PLC 144A				
	5.500	2026/08/15	92,685,567	95,960,155
石油およびガスサービス - 0.5%				
USD 550,000				
KCA Deutag UK Finance PLC 144A				
	9.875	2022/04/01	64,940,169	52,656,336
英国合計				
			437,971,188	432,563,545
米国 - 63.7%				
航空宇宙/防衛 - 0.3%				
USD 350,000				
BBA US Holdings Inc. 144A				
	5.375	2026/05/01	38,057,448	39,997,233

元本金額**	利率 (%)	償還日	取得原価 (円)	評価額 (円)	
農業 - 0.2%					
USD 190,000	Altria Group Inc.	5.950	2049/02/14	20,940,823	22,601,219
航空会社 - 0.0%					
USD 310,000	Continental Airlines 2000-1 Class B Pass Through Trust	8.388	2020/11/01	25,679	37,561
アパレル - 1.4%					
USD 200,000	Hanesbrands Inc. 144A	4.625	2024/05/15	21,242,698	22,306,586
USD 640,000	Hanesbrands Inc. 144A	4.875	2026/05/15	70,124,176	70,240,620
USD 590,000	Levi Strauss & Co.	5.000	2025/05/01	71,180,222	67,587,161
				162,547,096	160,134,367
自動車製造会社 - 0.4%					
USD 400,000	JB Poindexter & Co. Inc. 144A	7.125	2026/04/15	43,832,872	44,618,926
自動車部品および装備品 - 0.6%					
USD 130,000	American Axle & Manufacturing Inc.	6.625	2022/10/15	15,037,624	14,766,187
USD 460,000	American Axle & Manufacturing Inc.	6.500	2027/04/01	49,395,786	49,464,638
				64,433,410	64,230,825
銀行 - 1.8%					
USD 330,000	CIT Group Inc.	6.125	2028/03/09	34,987,277	40,724,958
USD 500,000	Citigroup Inc.	4.125	2028/07/25	55,172,147	55,626,816
USD 1,000,000	Goldman Sachs Group Inc./The	3.500	2026/11/16	108,239,689	109,307,934
				198,399,113	205,659,708
飲料 - 0.3%					
USD 300,000	Cott Holdings Inc. 144A	5.500	2025/04/01	35,287,524	33,619,258
建材 - 0.8%					
USD 640,000	Standard Industries Inc./NJ 144A	4.750	2028/01/15	66,519,857	67,825,125
USD 200,000	US Concrete Inc.	6.375	2024/06/01	22,823,737	22,523,520
				89,343,594	90,348,645
化学 - 1.1%					
USD 420,000	Olin Corp.	5.125	2027/09/15	46,472,372	47,241,284
USD 500,000	Valvoline Inc.	5.500	2024/07/15	54,835,322	56,447,150
USD 270,000	Valvoline Inc.	4.375	2025/08/15	30,309,866	28,688,434
				131,617,560	132,376,868
商業サービス - 4.4%					
USD 250,000	Brink 's Co./The 144A	4.625	2027/10/15	27,093,688	26,770,891
USD 240,000	Carriage Services Inc. 144A	6.625	2026/06/01	26,728,903	27,293,857
USD 650,000	Hertz Corp./The	5.875	2020/10/15	71,903,797	72,014,388
USD 190,000	Prime Security Services Borrower LLC/Prime Finance Inc. 144A	9.250	2023/05/15	22,708,439	22,133,370
USD 100,000	Prime Security Services Borrower LLC/Prime Finance Inc. 144A	5.250	2024/04/15	11,085,246	11,095,739
USD 570,000	Prime Security Services Borrower LLC/Prime Finance Inc. 144A	5.750	2026/04/15	62,924,504	63,258,960
USD 745,000	Service Corp. International/US	4.625	2027/12/15	84,488,674	82,250,968
USD 230,000	ServiceMaster Co. LLC/The	7.450	2027/08/15	27,147,055	26,920,310
USD 320,000	ServiceMaster Co. LLC/The 144A	5.125	2024/11/15	34,442,905	35,639,181
USD 190,000	United Rentals North America Inc.	5.750	2024/11/15	21,581,126	21,686,497
USD 180,000	United Rentals North America Inc.	6.500	2026/12/15	20,290,447	21,018,262

元本金額**	利率 (%)	償還日	取得原価 (円)	評価額 (円)	
USD 500,000	United Rentals North America Inc.	4.875	2028/01/15	55,107,721	53,967,903
USD 440,000	Weight Watchers International Inc. 144A	8.625	2025/12/01	49,388,010	43,951,300
	コンピューター - 1.0%			514,890,515	508,001,626
USD 230,000	Dell International LLC/EMC Corp. 144A	5.875	2021/06/15	24,965,995	25,943,686
USD 360,000	Dell International LLC/EMC Corp. 144A	7.125	2024/06/15	40,351,754	42,250,848
USD 480,000	Western Digital Corp.	4.750	2026/02/15	50,112,723	50,868,843
	総合金融サービス - 1.8%			115,430,472	119,063,377
USD 500,000	Ally Financial Inc.	8.000	2031/11/01	66,232,618	68,967,903
USD 610,000	ASP AMC Merger Sub Inc. 144A	8.000	2025/05/15	67,004,946	30,719,424
USD 420,000	Lions Gate Capital Holdings LLC	5.875	2024/11/01	46,610,174	48,054,787
USD 340,000	Navient Corp.	6.625	2021/07/26	35,579,740	39,418,926
USD 200,000	Navient Corp.	6.750	2025/06/25	22,217,899	22,004,427
	エンジニアリングおよび建設 - 0.7%			237,645,377	209,165,467
USD 240,000	frontdoor Inc. 144A	6.750	2026/08/15	26,868,987	27,227,449
USD 530,000	TopBuild Corp. 144A	5.625	2026/05/01	57,050,269	58,074,156
	娯楽 - 0.6%			83,919,256	85,301,605
USD 200,000	Boyne USA Inc. 144A	7.250	2025/05/01	21,389,778	23,796,348
USD 390,000	Speedway Motorsports Inc.	5.125	2023/02/01	47,059,427	43,543,165
	環境管理 - 0.3%			68,449,205	67,339,513
USD 350,000	Waste Pro USA Inc. 144A	5.500	2026/02/15	38,781,619	37,479,247
	食品 - 0.9%				
USD 510,000	Lamb Weston Holdings Inc. 144A	4.875	2026/11/01	56,523,291	57,505,534
USD 460,000	Pilgrim's Pride Corp. 144A	5.875	2027/09/30	48,716,317	51,422,247
	林産品および紙 - 0.3%			105,239,608	108,927,781
USD 310,000	Mercer International Inc.	5.500	2026/01/15	35,181,772	33,796,348
	ゲーム - 0.2%				
USD 230,000	Scientific Games International Inc. 144A	5.000	2025/10/15	24,904,900	25,011,068
	ガス - 0.3%				
USD 320,000	NGL Energy Partners LP/NGL Energy Finance Corp.	7.500	2023/11/01	36,995,349	36,820,365
	ヘルスケア - サービス - 4.0%				
USD 210,000	Air Medical Group Holdings Inc. 144A	6.375	2023/05/15	23,793,409	19,640,288
USD 740,000	Centene Corp.	6.125	2024/02/15	85,783,943	85,921,085
USD 300,000	CHS/Community Health Systems Inc. 144A	8.000	2026/03/15	32,992,620	31,959,048
USD 1,090,000	HCA Inc.	5.625	2028/09/01	120,308,728	127,880,465
USD 680,000	Magellan Health Inc.	4.900	2024/09/22	71,648,164	71,800,775
USD 320,000	RegionalCare Hospital Partners Holdings Inc. 144A	8.250	2023/05/01	37,901,725	37,697,842
USD 750,000	Tenet Healthcare Corp. 144A	6.250	2027/02/01	84,995,238	86,272,828
				457,423,827	461,172,331

元本金額**		利率 (%)	償還日	取得原価 (円)	評価額 (円)	
住宅建築 - 0.9%						
USD	360,000	Lennar Corp.	4.500	2024/04/30	39,376,862	40,542,335
USD	540,000	Lennar Corp.	4.750	2027/11/29	61,266,167	60,019,640
				100,643,029	100,561,975	
家庭用品/雑貨 - 0.8%						
USD	330,000	Central Garden & Pet Co.	6.125	2023/11/15	41,771,194	38,305,202
USD	500,000	Spectrum Brands Inc.	5.750	2025/07/15	63,743,807	56,032,097
				105,515,001	94,337,299	
保険 - 0.2%						
USD	230,000	Fidelity & Guaranty Life Holdings Inc. 144A	5.500	2025/05/01	24,535,607	25,679,303
インターネット - 1.7%						
USD	600,000	Cogent Communications Group Inc. 144A	5.375	2022/03/01	68,597,990	68,234,643
USD	340,000	Match Group Inc.	6.375	2024/06/01	39,037,763	39,701,162
USD	240,000	Match Group Inc. 144A	5.000	2027/12/15	26,814,822	26,895,407
USD	210,000	Netflix Inc.	5.875	2025/02/15	25,185,380	25,175,595
USD	310,000	Netflix Inc. 144A	6.375	2029/05/15	34,783,035	37,184,560
				194,418,990	197,191,367	
宿泊 - 0.7%						
USD	250,000	Hilton Worldwide Finance LLC/Hilton Worldwide Finance Corp.	4.625	2025/04/01	28,807,211	28,016,049
USD	500,000	Hilton Worldwide Finance LLC/Hilton Worldwide Finance Corp.	4.875	2027/04/01	56,443,731	56,170,448
				85,250,942	84,186,497	
建設機械および鉱業 - 0.3%						
USD	280,000	BWX Technologies Inc. 144A	5.375	2026/07/15	31,247,189	31,610,404
マスメディア - 7.1%						
USD	440,000	CCO Holdings LLC/CCO Holdings Capital Corp. 144A	5.875	2027/05/01	53,380,990	50,662,092
USD	370,000	CCO Holdings LLC/CCO Holdings Capital Corp. 144A	5.125	2027/05/01	41,333,512	41,310,183
USD	940,000	Charter Communications Operating LLC/Charter Communications Operating Capital	4.908	2025/07/23	109,541,621	109,875,426
USD	1,300,000	Charter Communications Operating LLC/Charter Communications Operating Capital	4.200	2028/03/15	139,817,464	142,909,202
USD	1,000,000	CSC Holdings LLC 144A	6.500	2029/02/01	110,704,527	118,082,457
USD	2,000,000	DISH DBS Corp.	5.875	2024/11/15	184,639,699	186,773,658
USD	1,350,000	DISH DBS Corp.	7.750	2026/07/01	154,162,173	130,368,013
USD	350,000	EW Scripps Co./The 144A	5.125	2025/05/15	39,251,792	36,995,019
				832,831,778	816,976,050	
鉱業 - 2.3%						
USD	350,000	Freeport-McMoRan Inc.	6.875	2023/02/15	40,714,459	41,207,803
USD	160,000	Freeport-McMoRan Inc.	3.875	2023/03/15	14,405,073	17,498,351
USD	100,000	Freeport-McMoRan Inc.	4.550	2024/11/14	10,684,000	10,929,718
USD	750,000	Freeport-McMoRan Inc.	5.400	2034/11/14	74,024,568	75,954,621
USD	1,250,000	Freeport-McMoRan Inc.	5.450	2043/03/15	121,848,552	121,750,138
				261,676,652	267,340,631	

元本金額**	利率 (%)	償還日	取得原価 (円)	評価額 (円)	
<b>石油およびガス - 3.7%</b>					
USD 1,290,000	Berry Petroleum Co. LLC ±	6.375	2022/09/15	-	1
USD 430,000	Berry Petroleum Co. LLC 144A	7.000	2026/02/15	48,336,685	47,354,732
USD 1,060,000	Chesapeake Energy Corp.	8.000	2027/06/15	114,994,495	116,148,312
USD 370,000	Diamondback Energy Inc.	4.750	2024/11/01	39,910,866	42,018,650
USD 120,000	Diamondback Energy Inc. 144A	4.750	2024/11/01	13,679,233	13,627,670
USD 420,000	Murphy Oil USA Inc.	5.625	2027/05/01	46,498,730	48,345,324
USD 200,000	Oasis Petroleum Inc. 144A	6.250	2026/05/01	22,233,904	21,140,011
USD 400,000	Range Resources Corp.	5.875	2022/07/01	42,295,577	44,936,359
USD 320,000	Range Resources Corp.	4.875	2025/05/15	32,031,877	33,027,117
USD 300,000	Whiting Petroleum Corp.	6.250	2023/04/01	33,695,540	33,536,248
USD 180,000	WPX Energy Inc.	8.250	2023/08/01	21,824,728	22,512,452
				415,501,635	422,646,876
<b>梱包およびコンテナ - 1.9%</b>					
USD 610,000	Berry Global Inc. 144A	4.500	2026/02/15	66,597,923	64,321,749
USD 370,000	Greif Inc. 144A	6.500	2027/03/01	40,729,470	41,975,650
USD 770,000	Pactiv LLC	8.375	2027/04/15	83,581,015	87,354,732
USD 250,000	Reynolds Group Issuer Inc./Reynolds Group Issuer LLC 144A ~	6.287	2021/07/15	26,655,621	27,843,110
				217,564,029	221,495,241
<b>製薬 - 2.8%</b>					
USD 240,000	Bausch Health Americas Inc. 144A	9.250	2026/04/01	28,618,645	29,134,698
USD 1,010,000	Bausch Health Americas Inc. 144A	8.500	2027/01/31	116,192,177	118,774,211
USD 700,000	BioScrip Inc.	8.875	2021/02/15	85,573,284	78,638,628
USD 280,000	Endo Dac/Endo Finance LLC/Endo Finco Inc. 144A	6.000	2025/02/01	24,910,774	22,569,828
USD 280,000	HLF Financing SARL LLC/Herbalife International Inc. 144A	7.250	2026/08/15	31,268,316	31,959,048
USD 380,000	NVA Holdings Inc./United States 144A	6.875	2026/04/01	41,036,056	41,795,794
				327,599,252	322,872,207
<b>パイプライン - 3.1%</b>					
USD 210,000	Andeavor Logistics LP/Tesoro Logistics Finance Corp.	5.250	2025/01/15	24,076,530	24,148,525
USD 800,000	Blue Racer Midstream LLC/Blue Racer Finance Corp. 144A	6.625	2026/07/15	89,241,937	90,758,163
USD 70,000	Energy Transfer Operating LP	4.500	2024/04/15	7,577,789	8,082,531
USD 70,000	Energy Transfer Operating LP	5.250	2029/04/15	7,587,929	8,315,436
USD 490,000	Genesis Energy LP/Genesis Energy Finance Corp.	5.625	2024/06/15	54,295,782	52,335,362
USD 120,000	Rockies Express Pipeline LLC 144A	7.500	2038/07/15	15,741,029	14,971,112
USD 350,000	Rockies Express Pipeline LLC 144A	6.875	2040/04/15	35,289,485	41,770,282
USD 900,000	Targa Resources Partners LP/Targa Resources Partners Finance Corp.	5.375	2027/02/01	98,259,929	102,351,965
USD 40,000	Targa Resources Partners LP/Targa Resources Partners Finance Corp. 144A	6.500	2027/07/15	4,339,628	4,786,940
USD 60,000	Targa Resources Partners LP/Targa Resources Partners Finance Corp. 144A	6.875	2029/01/15	6,500,583	7,230,216
				342,910,621	354,750,532



元本金額**		利率 (%)	償還日	取得原価 (円)	評価額 (円)
不動産 - 0.9%					
USD	600,000Five Point Operating Co. LP/Five Point Capital Corp. 144A	7.875	2025/11/15	68,849,547	63,752,075
USD	430,000WeWork Cos Inc. 144A	7.875	2025/05/01	46,999,672	44,023,243
				115,849,219	107,775,318
不動産投資信託 - 2.3%					
USD	260,000CoreCivic Inc.	5.000	2022/10/15	25,276,998	28,453,237
USD	510,000CoreCivic Inc.	4.750	2027/10/15	57,258,337	48,227,316
USD	330,000CTR Partnership LP/CareTrust Capital Corp.	5.250	2025/06/01	38,533,142	36,754,366
USD	560,000ESH Hospitality Inc. 144A	5.250	2025/05/01	68,515,947	61,722,723
USD	520,000MGM Growth Properties Operating Partnership LP/MGP Finance Co.-Issuer Inc.	4.500	2026/09/01	52,985,531	56,258,993
USD	310,000MPT Operating Partnership LP/MPT Finance Corp.	5.250	2026/08/01	32,767,637	35,469,009
				275,337,592	266,885,644
小売 - 5.6%					
USD	520,000Beacon Roofing Supply Inc. 144A	4.875	2025/11/01	59,154,501	54,604,317
USD	360,000Brinker International Inc. 144A	5.000	2024/10/01	36,699,043	39,248,168
USD	570,000Carrols Restaurant Group Inc.	8.000	2022/05/01	66,829,619	64,617,875
USD	660,000FirstCash Inc. 144A	5.375	2024/06/01	74,891,516	75,058,838
USD	300,000Golden Nugget Inc. 144A	8.750	2025/10/01	33,651,197	34,947,427
USD	630,000Party City Holdings Inc. 144A	6.625	2026/08/01	70,211,329	69,554,510
USD	1,930,000PetSmart Inc. 144A	5.875	2025/06/01	189,045,163	179,969,563
USD	680,000Sally Holdings LLC/Sally Capital Inc.	5.625	2025/12/01	73,295,056	75,074,709
USD	580,000Suburban Propane Partners LP/Suburban Energy Finance Corp.	5.875	2027/03/01	64,011,701	61,145,545
				667,789,125	654,220,952
半導体 - 0.3%					
USD	290,000Amkor Technology Inc. 144A	6.625	2027/09/15	32,120,697	32,639,043
ソフトウェア - 1.2%					
USD	420,000CDK Global Inc.	5.875	2026/06/15	46,583,895	48,940,343
USD	540,000First Data Corp. 144A	5.000	2024/01/15	66,575,624	61,351,411
USD	270,000j2 Cloud Services LLC/j2 Global Co.- Obligor Inc. 144A	6.000	2025/07/15	30,935,375	31,153,846
				144,094,894	141,445,600
ソブリンおよびエージェンシー - 2.3%					
USD	1,400,000United States Treasury Note/Bond	1.750	2022/03/31	151,414,724	152,761,830
USD	335,000United States Treasury Note/Bond	2.000	2023/02/15	36,416,359	36,752,148
USD	740,000United States Treasury Note/Bond	2.125	2024/02/29	80,989,698	81,420,603
				268,820,781	270,934,581
電気通信 - 2.9%					
USD	350,000CommScope Technologies LLC 144A	5.000	2027/03/15	40,444,125	34,445,268
USD	500,000Sprint Capital Corp.	6.875	2028/11/15	54,196,772	53,334,256
USD	220,000Sprint Capital Corp.	8.750	2032/03/15	27,570,486	25,752,297
USD	900,000Sprint Corp.	7.875	2023/09/15	94,383,365	104,593,248
USD	520,000T-Mobile USA Inc.	6.000	2024/04/15	60,997,170	59,928,058
USD	500,000T-Mobile USA Inc.	6.375	2025/03/01	57,673,068	57,764,250
				335,264,986	335,817,377

元本金額**	利率 (%)	償還日	取得原価 (円)	評価額 (円)		
運輸 - 0.6%						
USD 620,000						
Neovia Logistics Services LLC/SPL Logistics Finance Corp. 144A			8.875	2020/08/01	65,750,637	65,534,034
運送およびリース - 0.7%						
USD 426,000						
DAE Funding LLC 144A			4.500	2022/08/01	48,246,965	47,621,472
USD 340,000						
DAE Funding LLC 144A			5.750	2023/11/15	37,520,126	38,760,376
					85,767,091	86,381,848
米国合計					7,433,836,766	7,386,986,117
債券合計					11,539,731,910	11,378,217,362
株式数			取得原価 (円)	評価額 (円)		
普通株式 - 0.1%						
米国 - 0.1%						
石油およびガス - 0.1%						
1,606						
MMO Holdings LLC *					165,022,099	13,578,566
米国合計					165,022,099	13,578,566
普通株式合計					165,022,099	13,578,566
投資合計 - 98.3%					11,704,754,009	11,391,795,928
その他の資産(負債控除後) - 1.7%						199,117,718
純資産 - 100.0%						11,590,913,646
144A	有価証券は、1933年証券法規則144Aに基づき登録が免除されています。これらの有価証券は、登録免除取引において、通常、適格機関購入者への転売が可能です。					
MTN	メディアム・ターム・ノート					
PIK	ペイメント・イン・カインド(payment in kind)					
REIT	不動産投資信託					
~	有価証券は、永久債であり償還日が確定していません。					
#	変動利付有価証券。開示されている率は、2019年3月31日現在適用されていたものです。					
±	ステップ・アップ債を意味します。示されている率は、2019年3月31日時点の表面利率です。					
*	示されている償還日は、当該有価証券の当初の償還日です。有価証券は、現在破産状態にあり、最終的な回収金額が破産手続を通じて確定するまで、引き続き報告される予定です。					
**	無利息証券です。					
**	示されている現地通貨で表示されています。					

## 為替予約

決済日	相手方	約定引渡額	交換額***	未実現利益(損失) (円)
2019/04/02	JPMorgan Chase Bank, N.A.	AUD 18,825,791 JPY	1,483,007,971	2,876,572
2019/04/02	UBS AG	AUD 367,528 JPY	29,027,816	131,830
2019/04/02	Citibank, N.A.	BRL 242,942,279 JPY	6,934,951,848	25,330,716
2019/04/02	Citibank, N.A.	BRL 252,336,599 JPY	7,165,926,700	(10,882,146)
2019/04/02	Goldman Sachs International	BRL 35,240,310 JPY	1,005,627,856	3,343,726
2019/04/02	Goldman Sachs International	BRL 35,240,310 JPY	1,000,955,088	(1,329,042)
2019/05/03	Goldman Sachs International	BRL 2,979,000 JPY	82,670,153	(1,667,795)
2019/05/14	Citibank, N.A.	CAD 290,188 JPY	24,027,279	44,833
2019/05/14	Citibank, N.A.	EUR 1,707,465 JPY	213,988,024	1,775,117
2019/05/14	Goldman Sachs International	EUR 883,539 JPY	110,806,881	995,887
2019/05/14	Morgan Stanley & Co. International plc	EUR 210,921 JPY	26,474,333	259,923
2019/05/14	UBS AG	EUR 222,889 JPY	27,885,692	183,870
2019/05/14	Citibank, N.A.	GBP 519,728 JPY	73,725,245	(1,129,002)
2019/05/14	Citibank, N.A.	GBP 290,000 JPY	42,638,393	870,909
2019/05/14	UBS AG	GBP 542,373 JPY	76,952,947	(1,162,828)
2019/04/02	JPMorgan Chase Bank, N.A.	MXN 26,556,543 JPY	153,827,155	2,291,962
2019/04/02	Goldman Sachs International	TRY 886,477 JPY	17,751,370	383,772
2019/04/02	Goldman Sachs International	TRY 684,900 JPY	13,205,110	(213,251)
2019/04/02	JPMorgan Chase Bank, N.A.	TRY 276,172 JPY	5,560,156	149,475
2019/04/02	UBS AG	TRY 11,958,615 JPY	230,919,923	(3,369,779)
2019/04/02	Citibank, N.A.	USD 66,242,093 JPY	7,322,514,563	(9,205,704)
2019/04/02	Citibank, N.A.	USD 63,551,066 JPY	7,043,214,989	9,339,391
2019/05/03	Citibank, N.A.	USD 59,357,678 JPY	6,526,061,054	(25,825,172)
2019/05/14	Citibank, N.A.	USD 580,615 JPY	64,558,309	519,260
2019/04/02	Goldman Sachs International	USD 9,043,629 JPY	1,002,284,130	1,329,042
2019/04/02	Goldman Sachs International	USD 25,947,801 JPY	2,862,573,532	(9,346,950)
2019/04/26	Goldman Sachs International	USD 13,454,447 JPY	1,480,992,897	(4,998,366)
2019/04/30	Goldman Sachs International	USD 70,000 JPY	7,458,906	(269,585)
2019/05/03	Goldman Sachs International	USD 9,087,238 JPY	999,235,240	(3,811,933)
2019/04/02	HSBC Bank plc	USD 1,979,412 JPY	218,087,990	(994,711)
2019/04/02	JPMorgan Chase Bank, N.A.	USD 10,141,890 JPY	1,117,636,432	(4,874,855)
2019/04/02	JPMorgan Chase Bank, N.A.	USD 26,000 JPY	2,903,131	25,433
2019/04/30	JPMorgan Chase Bank, N.A.	USD 13,433,520 JPY	1,482,393,042	(761,705)
2019/05/03	JPMorgan Chase Bank, N.A.	USD 1,386,242 JPY	152,222,033	(791,023)
2019/04/02	Morgan Stanley & Co. International plc	USD 2,157,715 JPY	237,702,422	(1,114,900)
2019/04/02	UBS AG	USD 488,415 JPY	53,882,272	(175,882)
2019/04/02	UBS AG	USD 50,000 JPY	5,535,021	987
2019/04/30	UBS AG	USD 2,047,361 JPY	233,045,569	7,002,607
				(25,069,317)

決済日	相手方	約定受取額	交換額***	未実現利益(損失) (円)
2019/04/02	Goldman Sachs International	AUD 1,010,058	JPY 79,827,538	(414,257)
2019/04/02	HSBC Bank plc	AUD 2,759,466	JPY 218,087,990	(1,131,747)
2019/04/02	JPMorgan Chase Bank, N.A.	AUD 12,030,650	JPY 950,814,376	(4,934,158)
2019/04/30	JPMorgan Chase Bank, N.A.	AUD 18,825,791	JPY 1,482,393,042	(5,187,947)
2019/04/02	Morgan Stanley & Co. International plc	AUD 3,007,648	JPY 237,702,422	(1,233,534)
2019/04/02	UBS AG	AUD 385,497	JPY 30,466,859	(158,104)
2019/04/02	Citibank, N.A.	BRL 495,278,878	JPY 14,365,729,552	(279,299,574)
2019/05/03	Citibank, N.A.	BRL 230,156,429	JPY 6,526,061,054	(10,142,670)
2019/04/02	Goldman Sachs International	BRL 70,480,620	JPY 2,044,313,963	(39,745,703)
2019/05/03	Goldman Sachs International	BRL 35,240,310	JPY 999,235,240	(1,552,991)
2019/05/14	Citibank, N.A.	CAD 290,188	JPY 24,265,407	(282,961)
2019/05/14	Citibank, N.A.	EUR 295,000	JPY 37,330,115	(665,929)
2019/05/14	Citibank, N.A.	GBP 20,000	JPY 2,962,787	(82,271)
2019/04/02	JPMorgan Chase Bank, N.A.	MXN 26,556,542	JPY 151,993,560	(458,367)
2019/05/03	JPMorgan Chase Bank, N.A.	MXN 26,556,543	JPY 152,222,033	(1,855,751)
2019/04/02	Goldman Sachs International	TRY 11,523,490	JPY 235,638,049	(9,873,180)
2019/04/30	Goldman Sachs International	TRY 396,130	JPY 7,458,906	39,496
2019/04/02	JPMorgan Chase Bank, N.A.	TRY 867,136	JPY 17,731,627	(742,951)
2019/04/02	UBS AG	TRY 1,415,537	JPY 28,950,434	(1,217,635)
2019/04/30	UBS AG	TRY 11,958,615	JPY 233,045,569	(6,679,217)
2019/04/02	Citibank, N.A.	USD 3,300,000	JPY 366,121,999	(875,734)
2019/04/02	Citibank, N.A.	USD 124,223,011	JPY 13,734,756,549	14,331,609
2019/05/14	Citibank, N.A.	USD 2,599,538	JPY 283,271,019	3,445,240
2019/05/14	Citibank, N.A.	USD 640,280	JPY 71,107,922	(488,187)
2019/04/02	Goldman Sachs International	USD 31,916,328	JPY 3,524,866,166	7,654,894
2019/04/02	Goldman Sachs International	USD 160,000	JPY 17,751,370	(42,460)
2019/05/03	Goldman Sachs International	USD 750,000	JPY 82,670,153	114,667
2019/05/14	Goldman Sachs International	USD 1,016,059	JPY 110,806,881	1,259,347
2019/04/02	JPMorgan Chase Bank, N.A.	USD 14,819,347	JPY 1,636,835,126	3,380,377
2019/04/02	JPMorgan Chase Bank, N.A.	USD 50,000	JPY 5,560,156	(26,122)
2019/05/14	Morgan Stanley & Co. International plc	USD 242,760	JPY 26,474,333	300,887
2019/04/02	UBS AG	USD 260,000	JPY 29,027,816	(250,838)
2019/04/02	UBS AG	USD 2,090,670	JPY 230,919,923	476,894
2019/05/14	UBS AG	USD 962,090	JPY 104,838,639	1,275,084
				(335,063,793)
為替予約に係る未実現純(損失)合計				(360,133,110)

## 通貨凡例

AUD - オーストラリア・ドル  
BRL - ブラジル・リアル  
CAD - カナダ・ドル  
EUR - ユーロ  
GBP - 英ポンド

JPY - 日本円  
MXN - メキシコ・ペソ  
TRY - トルコ・リラ  
USD - 米ドル

\*\*\* 特定の契約は日本円に換算されています。

## 2【ファンドの現況】

### 【純資産額計算書】

#### 新光グローバル・ハイイールド債券ファンド米ドルコース

令和2年3月31日現在

資産総額	232,162,477円
負債総額	824,251円
純資産総額( - )	231,338,226円
発行済数量	328,393,110口
1口当たり純資産額( / )	0.7045円

#### 新光グローバル・ハイイールド債券ファンド豪ドルコース

令和2年3月31日現在

資産総額	943,520,526円
負債総額	4,821,715円
純資産総額( - )	938,698,811円
発行済数量	3,537,259,414口
1口当たり純資産額( / )	0.2654円

#### 新光グローバル・ハイイールド債券ファンドブラジルリアルコース

令和2年3月31日現在

資産総額	4,422,696,473円
負債総額	10,459,585円
純資産総額( - )	4,412,236,888円
発行済数量	37,550,518,077口
1口当たり純資産額( / )	0.1175円

#### 新光グローバル・ハイイールド債券ファンドメキシコペソコース

令和2年3月31日現在

資産総額	80,461,048円
負債総額	15,797円
純資産総額( - )	80,445,251円
発行済数量	179,948,975口
1口当たり純資産額( / )	0.4470円

#### 新光グローバル・ハイイールド債券ファンドトルコリラコース

令和2年3月31日現在

資産総額	393,750,689円
負債総額	997,122円
純資産総額( - )	392,753,567円
発行済数量	1,446,322,127口
1口当たり純資産額( / )	0.2716円

## 新光グローバル・ハイイールド債券ファンドマネープールファンド

令和2年3月31日現在

資産総額	997,729円
負債総額	6円
純資産総額( - )	997,723円
発行済数量	1,000,000口
1口当たり純資産額( / )	0.9977円

(参考)

## 国内短期公社債マザーファンド

令和2年3月31日現在

資産総額	94,329,718円
負債総額	14,181,300円
純資産総額( - )	80,148,418円
発行済数量	79,591,729口
1口当たり純資産額( / )	1.0070円

## 第4【内国投資信託受益証券事務の概要】

### (1) 受益証券の名義書換

該当事項はありません。

ファンドの受益権の帰属は、振替機関等の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります。委託会社は、この信託の受益権を取り扱う振替機関が社振法の規定により主務大臣の指定を取り消された場合または当該指定が効力を失った場合であって、当該振替機関の振替業を承継する者が存在しない場合その他やむを得ない事情がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。

なお、受益者は、委託会社がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合を除き、無記名式受益証券から記名式受益証券への変更の請求、記名式受益証券から無記名式受益証券への変更の請求、受益証券の再発行の請求を行わないものとします。

### (2) 受益者等名簿

該当事項はありません。

### (3) 受益者に対する特典

該当事項はありません。

### (4) 受益権の譲渡制限

譲渡制限はありません。

受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等に振替の申請をするものとします。

上記の申請のある場合には、上記の振替機関等は、当該譲渡にかかる譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、上記の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行われるよう通知するものとします。

上記の振替について、委託会社は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託会社が必要と認めるときまたはやむを得ない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

### (5) 受益権の譲渡の対抗要件

受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社および受託会社に対抗することができません。

### (6) 受益権の再分割

委託会社は、社振法に定めるところにしたがい、受託会社と協議のうえ、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。

### (7) 質権口記載又は記録の受益権の取り扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる収益分配金の支払い、一部解約の実行の請求の受付、一部解約金および償還金の支払い等については、約款の規定によるほか、民法その他の法令等にしたがって取り扱われます。



## 第二部【委託会社等の情報】

### 第1【委託会社等の概況】

#### 1【委託会社等の概況】

##### (1) 資本金の額(2020年3月31日現在)

資本金の額	20億円
発行する株式総数	100,000株 (普通株式 上限100,000株、A種種類株式 上限30,000株)
発行済株式総数	40,000株 (普通株式24,490株、A種種類株式15,510株)
種類株式の発行が可能	

直近5カ年の資本金の増減：該当事項はありません。

##### (2) 会社の機構(2020年3月31日現在)

###### 会社の意思決定機構

業務執行上重要な事項は、取締役会の決議をもって決定します。

取締役は株主総会で選任されます。取締役(監査等委員である取締役を除く。)の任期は、その選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までとし、任期の満了前に退任した取締役(監査等委員である取締役を除く。)の補欠として選任された取締役(監査等委員である取締役を除く。)の任期は、現任取締役(監査等委員である取締役を除く。)の任期の満了の時までとします。

また、監査等委員である取締役の任期は、その選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までとし、任期の満了前に退任した監査等委員である取締役の補欠として選任された監査等委員である取締役の任期は、退任した監査等委員である取締役の任期の満了の時までとします。

取締役会は、決議によって代表取締役を選定します。代表取締役は、会社を代表し、取締役会の決議にしたがい業務を執行します。

また、取締役会の決議によって、取締役社長を定めることができます。

取締役会は、法令に別段の定めがある場合を除き、原則として取締役社長が招集します。取締役会の議長は、原則として取締役社長があたります。

取締役会の決議は、法令に別段の定めがある場合を除き、議決に加わることができる取締役の過半数が出席し、出席取締役の過半数をもって行います。

###### 投資運用の意思決定機構

###### 1.投資環境見直しおよび運用方針の策定

経済環境見直し、資産別市場見直し、資産配分方針および資産別運用方針は月次で開催する「投資環境会議」および「投資方針会議」にて協議、策定致します。これらの会議は運用本部長・副本部長、運用グループ長等で構成されます。

## 2.運用計画、売買計画の決定

各ファンドの運用は「投資環境会議」および「投資方針会議」における協議の内容を踏まえて、ファンド毎に個別に任命された運用担当者が行います。運用担当者は月次で運用計画書を作成し、運用本部長の承認を受けます。運用担当者は承認を受けた運用計画に基づき、運用を行います。

## 2【事業の内容及び営業の概況】

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）ならびにその受益証券（受益権）の募集又は私募（第二種金融商品取引業）を行っています。また、「金融商品取引法」に定める投資助言・代理業を行っています。

2020年3月31日現在、委託会社の運用する投資信託は以下の通りです。（親投資信託を除く）

基本的性格	本数	純資産総額（単位：円）
追加型公社債投資信託	26	1,233,896,866,001
追加型株式投資信託	860	12,520,759,630,112
単位型公社債投資信託	37	100,336,682,592
単位型株式投資信託	183	1,244,025,880,966
合計	1,106	15,099,019,059,671

### 3【委託会社等の経理状況】

- 1．委託会社であるアセットマネジメントOne株式会社(以下「委託会社」という。)の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)ならびに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年8月6日内閣府令第52号)により作成しております。  
また、中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和52年大蔵省令第38号)、ならびに同規則第38条及び第57条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年8月6日内閣府令第52号)により作成しております。
- 2．財務諸表及び中間財務諸表の金額は、千円未満の端数を切り捨てて記載しております。
- 3．委託会社は、第34期事業年度(自2018年4月1日至2019年3月31日)の財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人の監査を受け、第35期中間会計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)の中間財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人の中間監査を受けております。

## (1) 【貸借対照表】

(単位：千円)

	第33期 (2018年3月31日現在)	第34期 (2019年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産		
現金・預金	49,071,217	41,087,475
金銭の信託	12,083,824	18,773,228
有価証券	-	153,518
未収委託者報酬	11,769,015	12,438,085
未収運用受託報酬	4,574,225	3,295,109
未収投資助言報酬	341,689	327,064
未収収益	59,526	56,925
前払費用	569,431	573,874
その他	427,238	491,914
流動資産計	78,896,169	77,197,195
固定資産		
有形固定資産		
建物	1 1,156,953	1 1,096,916
器具備品	1 476,504	1 364,399
建設仮勘定	10,368	-
無形固定資産		
ソフトウェア	1,026,319	885,545
ソフトウェア仮勘定	904,389	1,522,040
電話加入権	3,931	3,931
電信電話専用施設利用権	60	23
投資その他の資産		
投資有価証券	1,721,433	1,611,931
関係会社株式	3,229,196	4,499,196
長期差入保証金	1,518,725	1,312,328
繰延税金資産	1,699,533	1,748,459
その他	101,425	97,892
固定資産計	11,848,840	13,142,665
資産合計	90,745,010	90,339,861

(単位:千円)

	第33期 (2018年3月31日現在)	第34期 (2019年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債		
預り金	1,003,550	2,183,889
未払金	5,081,728	5,697,942
未払収益分配金	1,031	1,053
未払償還金	57,275	48,968
未払手数料	4,629,133	4,883,723
その他未払金	394,288	764,196
未払費用	7,711,038	6,724,986
未払法人税等	5,153,972	3,341,238
未払消費税等	1,660,259	576,632
賞与引当金	1,393,911	1,344,466
役員賞与引当金	49,986	48,609
本社移転費用引当金	156,587	-
流動負債計	22,211,034	19,917,766
固定負債		
退職給付引当金	1,637,133	1,895,158
時効後支払損引当金	199,026	177,851
固定負債計	1,836,160	2,073,009
負債合計	24,047,195	21,990,776
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	19,552,957	19,552,957
資本準備金	2,428,478	2,428,478
その他資本剰余金	17,124,479	17,124,479
利益剰余金	44,349,855	45,949,372
利益準備金	123,293	123,293
その他利益剰余金	44,226,562	45,826,079
別途積立金	24,580,000	31,680,000
研究開発積立金	300,000	-
運用責任準備積立金	200,000	-
繰越利益剰余金	19,146,562	14,146,079
株主資本計	65,902,812	67,502,329
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	795,002	846,755
評価・換算差額等計	795,002	846,755
純資産合計	66,697,815	68,349,085
負債・純資産合計	90,745,010	90,339,861

## (2) 【損益計算書】

(単位：千円)

	第33期 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)		第34期 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
	営業収益			
委託者報酬	84,705,447		84,812,585	
運用受託報酬	19,124,427		16,483,356	
投資助言報酬	1,217,672		1,235,553	
その他営業収益	117,586		113,622	
営業収益計		105,165,133		102,645,117
営業費用				
支払手数料	37,242,284		36,100,556	
広告宣伝費	379,873		387,028	
公告費	1,485		375	
調査費	23,944,438		24,389,003	
調査費	10,677,166		9,956,757	
委託調査費	13,267,272		14,432,246	
委託計算費	1,073,938		936,075	
営業雑経費	1,215,963		1,254,114	
通信費	48,704		47,007	
印刷費	947,411		978,185	
協会費	64,331		63,558	
諸会費	22,412		22,877	
支払販売手数料	133,104		142,485	
営業費用計		63,857,984		63,067,153
一般管理費				
給料	11,304,873		10,859,354	
役員報酬	189,022		189,198	
給料・手当	9,565,921		9,098,957	
賞与	1,549,929		1,571,197	
交際費	58,863		60,115	
寄付金	5,150		7,255	
旅費交通費	395,605		361,479	
租税公課	625,498		588,172	
不動産賃借料	1,534,255		1,511,876	
退職給付費用	595,876		521,184	
固定資産減価償却費	1,226,472		590,667	
福利厚生費	49,797		45,292	
修繕費	4,620		16,247	
賞与引当金繰入額	1,393,911		1,344,466	
役員賞与引当金繰入額	49,986		48,609	
機器リース料	148		130	
事務委託費	3,037,804		3,302,806	
事務用消耗品費	144,804		131,074	
器具備品費	5,253		8,112	
諸経費	149,850		188,367	
一般管理費計		20,582,772		19,585,212
営業利益		20,724,376		19,992,752

(単位:千円)

	第33期 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)		第34期 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
営業外収益				
受取利息		1,430		1,749
受取配当金		74,278		73,517
時効成立分配金・償還金		256		8,582
為替差益		8,530		-
投資信託解約益		236,398		-
投資信託償還益		93,177		-
受取負担金		-		177,066
雑収入		10,306		24,919
時効後支払損引当金戻入額		17,429		19,797
営業外収益計		441,807		305,633
営業外費用				
為替差損		-		17,542
投資信託解約損		4,138		-
投資信託償還損		17,065		-
金銭の信託運用損		99,303		175,164
雑損失		-		5,659
営業外費用計		120,507		198,365
経常利益		21,045,676		20,100,019
特別利益				
固定資産売却益		1		-
投資有価証券売却益		479,323		353,644
関係会社株式売却益	1	1,492,680	1	-
本社移転費用引当金戻入額		138,294		-
その他特別利益		350		-
特別利益計		2,110,649		353,644
特別損失				
固定資産除却損	2	36,992	2	19,121
固定資産売却損		134		-
退職給付制度終了損		690,899		-
システム移行損失		76,007		-
その他特別損失		50		-
特別損失計		804,083		19,121
税引前当期純利益		22,352,243		20,434,543
法人税、住民税及び事業税		6,951,863		6,386,793
法人税等調整額		249,832		71,767
法人税等合計		6,702,031		6,315,026
当期純利益		15,650,211		14,119,516

## (3) 【株主資本等変動計算書】

第33期(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金			
						別途 積立金	研究開発 積立金	運用責 任準備 積立金	繰越利益 剰余金
当期首残高	2,000,000	2,428,478	17,124,479	19,552,957	123,293	24,580,000	300,000	200,000	6,696,350
当期変動額									
剰余金の配当									3,200,000
当期純利益									15,650,211
株主資本以外 の項目の当期 変動額(純額)									
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	-	-	12,450,211
当期末残高	2,000,000	2,428,478	17,124,479	19,552,957	123,293	24,580,000	300,000	200,000	19,146,562

	株主資本		評価・換算差額等		純資産 合計
	利益剰余金	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
	利益剰余金 合計				
当期首残高	31,899,643	53,452,601	517,864	517,864	53,970,465
当期変動額					
剰余金の配当	3,200,000	3,200,000			3,200,000
当期純利益	15,650,211	15,650,211			15,650,211
株主資本以外 の項目の当期 変動額(純額)		-	277,137	277,137	277,137
当期変動額合計	12,450,211	12,450,211	277,137	277,137	12,727,349
当期末残高	44,349,855	65,902,812	795,002	795,002	66,697,815



第34期(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金				利益剰余金			
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金			
						別途 積立金	研究開発 積立金	運用責 任準備 積立金	繰越利益 剰余金
当期首残高	2,000,000	2,428,478	17,124,479	19,552,957	123,293	24,580,000	300,000	200,000	19,146,562
当期変動額									
剰余金の配当									12,520,000
当期純利益									14,119,516
別途積立金の積立						7,100,000			
研究開発積立金の取崩							300,000		
運用責任準備積立金の取崩								200,000	
繰越利益剰余金の取崩									6,600,000
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	-	-	-	-	-	7,100,000	300,000	200,000	5,000,483
当期末残高	2,000,000	2,428,478	17,124,479	19,552,957	123,293	31,680,000	-	-	14,146,079

	株主資本		評価・換算差額等		純資産 合計
	利益剰余金	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
	利益剰余金 合計				
当期首残高	44,349,855	65,902,812	795,002	795,002	66,697,815
当期変動額					
剰余金の配当	12,520,000	12,520,000			12,520,000
当期純利益	14,119,516	14,119,516			14,119,516
別途積立金の積立	7,100,000	7,100,000			7,100,000
研究開発積立金の取崩	300,000	300,000			300,000
運用責任準備積立金の取崩	200,000	200,000			200,000
繰越利益剰余金の取崩	6,600,000	6,600,000			6,600,000
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		-	51,753	51,753	51,753
当期変動額合計	1,599,516	1,599,516	51,753	51,753	1,651,270
当期末残高	45,949,372	67,502,329	846,755	846,755	68,349,085

## 重要な会計方針

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>(1) 子会社株式及び関連会社株式 ：移動平均法による原価法</p> <p>(2) その他有価証券 時価のあるもの：決算日の市場価格等に基づく時価法 （評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定） 時価のないもの：移動平均法による原価法</p>
2. 金銭の信託の評価基準及び評価方法	時価法
3. 固定資産の減価償却の方法	<p>(1) 有形固定資産 定率法を採用しております。 ただし、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備については、定額法を採用しております。</p> <p>(2) 無形固定資産 定額法を採用しております。 なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。</p>
4. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準	外貨建金銭債権債務は、期末日の直物等為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。
5. 引当金の計上基準	<p>(1) 賞与引当金は、従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、将来の支給見込額に基づき当事業年度に見合う分を計上しております。</p> <p>(2) 役員賞与引当金は、役員に対して支給する賞与の支出に充てるため、将来の支給見込額に基づき当事業年度に見合う分を計上しております。</p> <p>(3) 退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、退職一時金制度について、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。</p> <p>退職給付見込額の期間帰属方法 退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。</p> <p>数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法 過去勤務費用については、その発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（5年）による定額法により按分した額を費用処理しております。</p> <p>数理計算上の差異については、各事業年度の発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（5年または10年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生翌事業年度から費用処理しております。</p> <p>(4) 時効後支払損引当金は、時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。</p> <p>(5) 本社移転費用引当金は、本社移転に関連して発生する損失に備えるため、発生すると見込まれる額を計上しております。</p>
6. 消費税等の会計処理	消費税及び地方消費税の会計処理は税抜き方式によっております。

## 表示方法の変更

第34期(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)を当事業年度から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しました。

この結果、前事業年度の貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」842,996千円は、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」1,699,533千円に含めて表示しております。

## 注記事項

(貸借対照表関係)

## 1. 有形固定資産の減価償却累計額

(千円)

	第33期 (2018年3月31日現在)	第34期 (2019年3月31日現在)
建物	140,580	229,897
器具備品	847,466	927,688

(損益計算書関係)

## 1. 関係会社に対する事項

(千円)

	第33期 (自 2017年4月 1日 至 2018年3月31日)	第34期 (自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日)
関係会社株式売却益	1,492,680	-

## 2. 固定資産除却損の内訳

(千円)

	第33期 (自 2017年4月 1日 至 2018年3月31日)	第34期 (自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日)
建物	298	1,550
器具備品	8,217	439
ソフトウェア	28,472	17,130
電話加入権	3	-

(株主資本等変動計算書関係)

第33期(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

## 1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

発行済株式の種類	当事業年度期首 株式数(株)	当事業年度 増加株式数(株)	当事業年度 減少株式数(株)	当事業年度末 株式数(株)
普通株式	24,490	-	-	24,490
A種種類株式	15,510	-	-	15,510
合計	40,000	-	-	40,000

## 2. 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額(千円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
2017年6月21日 定時株主総会	普通株式	3,200,000	80,000	2017年3月31日	2017年6月22日
	A種種類株式				

## (2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額(千円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
2018年6月20日 定時株主総会	普通株式	利益 剰余金	12,520,000	313,000	2018年3月31日	2018年6月21日
	A種種類株式					

## 第34期(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

## 1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

発行済株式の種類	当事業年度期首 株式数(株)	当事業年度 増加株式数(株)	当事業年度 減少株式数(株)	当事業年度末 株式数(株)
普通株式	24,490	-	-	24,490
A種種類株式	15,510	-	-	15,510
合計	40,000	-	-	40,000

## 2. 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額(千円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
2018年6月20日 定時株主総会	普通株式	12,520,000	313,000	2018年3月31日	2018年6月21日
	A種種類株式				

## (2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2019年6月20日開催予定の定時株主総会において、以下のとおり決議を予定しております。

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額(千円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
2019年6月20日 定時株主総会	普通株式	利益 剰余金	11,280,000	282,000	2019年3月31日	2019年6月21日
	A種種類株式					

（金融商品関係）

1. 金融商品の状況に関する事項

（1）金融商品に対する取組方針

当社は、投資運用業を営んでおります。資金運用については、短期的な預金等に限定してあります。

当社が運用を行う投資信託の商品性を適正に維持するため、当該投資信託を特定金外信託を通じて、または直接保有しております。なお、特定金外信託を通じて行っているデリバティブ取引は後述するリスクを低減する目的で行っております。当該デリバティブ取引は、実需の範囲内でのみ利用することとしており、投機的な取引は行わない方針であります。

（2）金融商品の内容及びそのリスク

金銭の信託の主な内容は、当社運用ファンドの安定運用を主な目的として資金投入した投資信託及びデリバティブ取引であります。金銭の信託に含まれる投資信託は為替及び市場価格の変動リスクに晒されておりますが、デリバティブ取引（為替予約取引、株価指数先物取引及び債券先物取引）を利用して一部リスクを低減しております。

営業債権である未収委託者報酬及び未収運用受託報酬は、相手先の信用リスクに晒されてあります。

有価証券及び投資有価証券は、主にその他有価証券（投資信託）、業務上の関係を有する企業の株式であり、発行体の信用リスクや市場価格の変動リスクに晒されてあります。

営業債務である未払手数料は、1年以内の支払期日であります。

（3）金融商品に係るリスク管理体制

信用リスク（取引先の契約不履行等に係るリスク）の管理

預金の預入先については、余資運用規程に従い、格付けの高い預入先に限定することにより、リスクの軽減を図っております。

営業債権の相手先の信用リスクに関しては、当社の信用リスク管理の基本方針に従い、取引先ごとの期日管理及び残高管理を行うとともに、主な相手先の信用状況を把握する体制としています。

有価証券及び投資有価証券の発行体の信用リスクに関しては、信用情報や時価の把握を定期的に行うことで管理しています。

市場リスク（為替や金利等の変動リスク）の管理

組織規程における分掌業務の定めに基づき、リスク管理担当所管にて、取引残高、損益及びリスク量等の実績管理を行い、定期的に社内委員会での報告を実施しております。

資金調達に係る流動性リスク（支払期日に支払いを実行できなくなるリスク）の管理

取引実行担当所管からの報告に基づき、資金管理担当所管が資金繰りを確認するとともに、十分な手許流動性を維持することなどにより、流動性リスクを管理しております。

（4）金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれてあります。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

## 2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは含まれておりません(注2)参照)。

第33期(2018年3月31日現在)

	貸借対照表計上額 (千円)	時価 (千円)	差額 (千円)
(1) 現金・預金	49,071,217	49,071,217	-
(2) 金銭の信託	12,083,824	12,083,824	-
(3) 未収委託者報酬	11,769,015	11,769,015	-
(4) 未収運用受託報酬	4,574,225	4,574,225	-
(5) 有価証券及び投資有価証券 其他有価証券	1,448,968	1,448,968	-
資産計	78,947,251	78,947,251	-
(1) 未払手数料	4,629,133	4,629,133	-
負債計	4,629,133	4,629,133	-

第34期(2019年3月31日現在)

	貸借対照表計上額 (千円)	時価 (千円)	差額 (千円)
(1) 現金・預金	41,087,475	41,087,475	-
(2) 金銭の信託	18,773,228	18,773,228	-
(3) 未収委託者報酬	12,438,085	12,438,085	-
(4) 未収運用受託報酬	3,295,109	3,295,109	-
(5) 有価証券及び投資有価証券 其他有価証券	1,488,684	1,488,684	-
資産計	77,082,582	77,082,582	-
(1) 未払手数料	4,883,723	4,883,723	-
負債計	4,883,723	4,883,723	-

(注1) 金融商品の時価の算定方法

資 産

(1) 現金・預金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 金銭の信託

有価証券運用を主目的とする単独運用の金銭の信託において信託財産として運用されている有価証券について、投資信託は基準価額によっております。また、デリバティブ取引は取引相手先金融機関より提示された価格によっております。

(3) 未収委託者報酬及び(4) 未収運用受託報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(5) 有価証券及び投資有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格によっており、投資信託は基準価額によっております。

負 債

(1) 未払手数料

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

## (注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(千円)

区分	第33期 (2018年3月31日現在)	第34期 (2019年3月31日現在)
非上場株式	272,464	276,764
関係会社株式	3,229,196	4,499,196

非上場株式は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(5) 有価証券及び投資有価証券 其他有価証券」には含めておりません。

関係会社株式は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

## (注3) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

## 第33期(2018年3月31日現在)

	1年以内 (千円)	1年超5年以内 (千円)	5年超10年以内 (千円)	10年超 (千円)
(1) 現金・預金	49,071,217	-	-	-
(2) 金銭の信託	12,083,824	-	-	-
(3) 未収委託者報酬	11,769,015	-	-	-
(4) 未収運用受託報酬	4,574,225	-	-	-
(5) 有価証券及び投資有価証券 其他有価証券(投資信託)	-	3,995	-	-

## 第34期(2019年3月31日現在)

	1年以内 (千円)	1年超5年以内 (千円)	5年超10年以内 (千円)	10年超 (千円)
(1) 現金・預金	41,087,475	-	-	-
(2) 金銭の信託	18,773,228	-	-	-
(3) 未収委託者報酬	12,438,085	-	-	-
(4) 未収運用受託報酬	3,295,109	-	-	-
(5) 有価証券及び投資有価証券 其他有価証券(投資信託)	153,518	1,995	996	-

## (有価証券関係)

## 1. 子会社株式及び関連会社株式

関係会社株式(第33期の貸借対照表計上額3,229,196千円、第34期の貸借対照表計上額4,499,196千円)は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。

## 2. その他有価証券

第33期(2018年3月31日現在)

(千円)

区分	貸借対照表日における 貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの			
株式	1,267,157	146,101	1,121,055
投資信託	177,815	153,000	24,815
小計	1,444,972	299,101	1,145,870
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの			
株式	-	-	-
投資信託	3,995	4,000	4
小計	3,995	4,000	4
合計	1,448,968	303,101	1,145,866

(注) 非上場株式(貸借対照表計上額272,464千円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

第34期(2019年3月31日現在)

(千円)

区分	貸借対照表日における 貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの			
株式	1,326,372	111,223	1,215,148
投資信託	158,321	153,000	5,321
小計	1,484,694	264,223	1,220,470
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの			
株式	-	-	-
投資信託	3,990	4,000	9
小計	3,990	4,000	9
合計	1,488,684	268,223	1,220,460

(注) 非上場株式(貸借対照表計上額276,674千円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

## 3. 当該事業年度中に売却したその他有価証券

第33期(自2017年4月1日至2018年3月31日)

区分	売却額 (千円)	売却益の合計額 (千円)	売却損の合計額 (千円)
株式	544,326	479,323	-
投資信託	2,480,288	329,576	21,204

(注) 投資信託の「売却額」、「売却益の合計額」及び「売却損の合計額」は、解約又は償還によるものであります。



## 第34期(自2018年4月1日至2019年3月31日)

区分	売却額 (千円)	売却益の合計額 (千円)	売却損の合計額 (千円)
株式	394,222	353,644	-
投資信託	-	-	-

## (退職給付関係)

## 1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として退職一時金制度(非積立型制度であります)を採用しております。確定拠出型の制度としては確定拠出年金制度を採用しております。

なお、当社は2017年10月1日付で、確定給付企業年金制度を確定拠出年金制度等に移行するとともに、退職一時金制度を改定しました。

## 2. 確定給付制度

## (1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

(千円)

	第33期	第34期
	(自2017年4月1日 至2018年3月31日)	(自2018年4月1日 至2019年3月31日)
退職給付債務の期首残高	2,718,372	2,154,607
勤務費用	269,128	300,245
利息費用	7,523	1,918
数理計算上の差異の発生額	61,792	10,147
退職給付の支払額	111,758	158,018
確定拠出制度への移行に伴う減少額	1,316,796	-
退職一時金制度改定に伴う増加額	526,345	-
その他	-	438
退職給付債務の期末残高	2,154,607	2,289,044

## (2) 年金資産の期首残高と期末残高の調整表

(千円)

	第33期	第34期
	(自2017年4月1日 至2018年3月31日)	(自2018年4月1日 至2019年3月31日)
年金資産の期首残高	1,363,437	-
期待運用収益	17,042	-
事業主からの拠出額	36,672	-
確定拠出制度への移行に伴う減少額	1,417,152	-
年金資産の期末残高	-	-

## (3) 退職給付債務の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

(千円)

	第33期	第34期
	(2018年3月31日現在)	(2019年3月31日現在)
非積立型制度の退職給付債務	2,154,607	2,289,044
未積立退職給付債務	2,154,607	2,289,044
未認識数理計算上の差異	204,636	150,568
未認識過去勤務費用	312,836	243,317
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	1,637,133	1,895,158
退職給付引当金	1,637,133	1,895,158
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	1,637,133	1,895,158

## (4) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

(千円)

	第33期 (自 2017年4月 1日 至 2018年3月31日)	第34期 (自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日)
勤務費用	269,128	300,245
利息費用	7,523	1,918
期待運用収益	17,042	-
数理計算上の差異の費用処理額	88,417	43,920
過去勤務費用の費用処理額	39,611	69,519
退職一時金制度改定に伴う費用処理額	70,560	-
その他	1,620	3,640
確定給付制度に係る退職給付費用	456,577	411,963
制度移行に伴う損失(注)	690,899	-

(注) 特別損失に計上しております。

## (5) 数理計算上の計算基礎に関する事項

## 主要な数理計算上の計算基礎

	第33期 (2018年3月31日現在)	第34期 (2019年3月31日現在)
割引率	0.09%	0.09%
予想昇給率	1.00% ~ 4.42%	1.00% ~ 4.42%

## 3. 簡便法を適用した確定給付制度

## (1) 簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

(千円)

	第33期 (自 2017年4月 1日 至 2018年3月31日)	第34期 (自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日)
退職給付引当金の期首残高	300,927	-
退職給付費用	53,156	-
制度への拠出額	35,640	-
確定拠出制度への移行に伴う減少額	391,600	-
退職一時金制度改定に伴う振替額	108,189	-
退職給付引当金の期末残高	-	-

## (2) 退職給付費用

簡便法で計算した退職給付費用 前事業年度 53,156千円 当事業年度 - 千円

## 4. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、前事業年度86,141千円、当事業年度104,720千円であります。

## (税効果会計関係)

## 1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	第33期	第34期
	(2018年3月31日現在)	(2019年3月31日現在)
	(千円)	(千円)
繰延税金資産		
未払事業税	290,493	173,805
未払事業所税	11,683	10,915
賞与引当金	426,815	411,675
未払法定福利費	81,186	80,253
未払給与	9,186	7,961
受取負担金	-	138,994
運用受託報酬	-	102,490
資産除去債務	90,524	10,152
減価償却超過額(一括償却資産)	11,331	4,569
減価償却超過額	176,791	125,839
繰延資産償却超過額(税法上)	34,977	135,542
退職給付引当金	501,290	580,297
時効後支払損引当金	60,941	54,458
ゴルフ会員権評価損	13,173	7,360
関係会社株式評価損	166,740	166,740
投資有価証券評価損	28,976	28,976
本社移転費用引当金	47,947	-
その他	29,193	29,494
繰延税金資産小計	1,981,254	2,069,527
評価性引当額	-	-
繰延税金資産合計	1,981,254	2,069,527
繰延税金負債		
その他有価証券評価差額金	281,720	321,067
繰延税金負債合計	281,720	321,067
繰延税金資産の純額	1,699,533	1,748,459

## 2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主要な項目別の内訳

法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため、注記を省略しております。

## (企業結合等関係)

当社(以下「AMOne」という)は、2016年7月13日付で締結した、DIAMアセットマネジメント株式会社(以下「DIAM」という)、みずほ投信投資顧問株式会社(以下「MHAM」という)、みずほ信託銀行株式会社(以下「TB」という)及び新光投信株式会社(以下「新光投信」という)(以下総称して「統合4社」という)間の「統合契約書」に基づき、2016年10月1日付で統合いたしました。

## 1. 結合当事企業

結合当事企業	DIAM	MHAM	TB	新光投信
事業の内容	投資運用業務、投資助言・代理業務	投資運用業務、投資助言・代理業務	信託業務、銀行業務、投資運用業務	投資運用業務、投資助言・代理業務

## 2. 企業結合日

2016年10月1日

## 3. 企業結合の方法

MHAMを吸収合併存続会社、新光投信を吸収合併消滅会社とする吸収合併、TBを吸収分割会社、吸収合併後のMHAMを吸収分割承継会社とし、同社がTB資産運用部門に係る権利義務を承継する吸収分割、DIAMを吸収合併存続会社、MHAMを吸収合併消滅会社とする吸収合併の順に実施しております。

## 4. 結合後企業の名称

アセットマネジメントOne株式会社

## 5. 企業結合の主な目的

当社は、株式会社みずほフィナンシャルグループ（以下「MHFG」という）及び第一生命ホールディングス株式会社（以下「第一生命」という）の資産運用ビジネス強化・発展に対する強力なコミットメントのもと、統合4社が長年にわたって培ってきた資産運用に係わる英知を結集し、MHFGと第一生命両社グループとの連携も最大限活用して、お客さまに最高水準のソリューションを提供するグローバルな運用会社としての飛躍を目指してまいります。

## 6. 合併比率

「3. 企業結合の方法」の吸収合併における合併比率は以下の通りであります。

会社名	DIAM (存続会社)	MHAM (消滅会社)
合併比率(*)	1	0.0154

(\*) 普通株式と種類株式を合算して算定しております。

## 7. 交付した株式数

「3. 企業結合の方法」の吸収合併において、DIAMは、MHAMの親会社であるMHFGに対して、その所有するMHAMの普通株式103万8,408株につき、DIAMの普通株式490株及び議決権を有しないIA種類株式15,510株を交付しました。

## 8. 経済的持分比率（議決権比率）

MHFGが企業結合直前に所有していた当社に対する経済的持分比率 50.00%

MHFGが企業結合日に追加取得した当社に対する経済的持分比率 20.00%

MHFGの追加取得後の当社に対する経済的持分比率 70.00%

なお、MHFGが所有する議決権比率については50.00%から51.00%に異動しております。

## 9. 取得企業を決定するに至った主な根拠

「3. 企業結合の方法」の吸収合併において、法的に消滅会社となるMHAMの親会社であるMHFGが、結合後企業の議決権の過半数を保有することになるため、企業結合の会計上はMHAMが取得企業に該当し、DIAMが被取得企業となるものです。

## 10. 会計処理

「企業結合に関する会計基準」（企業結合会計基準第21号 平成25年9月13日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日公表分）に基づき、「3. 企業結合の方法」の吸収合併及びの吸収分割については共通支配下の取引として処理し、の吸収合併については逆取得として処理しております。

## 11. 被取得企業に対してパーチェス法を適用した場合に関する事項

## (1) 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価 MHAMの普通株式 144,212,500千円

取得原価 144,212,500千円

## (2) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

a. 発生したのれん	金額	76,224,837千円
b. 発生原因		被取得企業から受け入れた資産及び引き受けた負債の純額と取得原価との差額によります。
c. のれんの償却方法及び償却期間		20年間の均等償却

## (3) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

a. 資産の額	資産合計	40,451,657千円
	うち現金・預金	11,605,537千円
	うち金銭の信託	11,792,364千円
b. 負債の額	負債合計	9,256,209千円
	うち未払手数料及び未払費用	4,539,592千円

(注) 顧客関連資産に配分された金額及びそれに係る繰延税金負債は、資産の額及び負債の額には含まれておりません。

## (4) のれん以外の無形固定資産に配分された金額及び主要な種類別の内訳並びに全体及び主要な種類別の加重平均償却期間

a. 無形固定資産に配分された金額	53,030,000千円
b. 主要な種類別の内訳	
顧客関連資産	53,030,000千円
c. 全体及び主要な種類別の加重平均償却期間	
顧客関連資産	16.9年

## 12. 被取得企業に対してパーチェス法を適用した場合の差額

## (1) 貸借対照表項目

	第33期 (2018年3月31日現在)	第34期 (2019年3月31日現在)
流動資産	- 千円	- 千円
固定資産	114,270,495千円	104,326,078千円
資産合計	114,270,495千円	104,326,078千円
流動負債	- 千円	- 千円
固定負債	13,059,836千円	10,571,428千円
負債合計	13,059,836千円	10,571,428千円
純資産	101,210,659千円	93,754,650千円

(注) 固定資産及び資産合計には、のれん及び顧客関連資産の金額が含まれております。

のれん	70,507,975千円	66,696,733千円
顧客関連資産	45,200,838千円	39,959,586千円

## (2) 損益計算書項目

	第33期 (自 2017年4月 1日 至 2018年3月31日)	第34期 (自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日)
営業収益	- 千円	- 千円
営業利益	9,012,128千円	9,043,138千円
経常利益	9,012,128千円	9,043,138千円
税引前当期純利益	9,012,128千円	9,091,728千円
当期純利益	7,419,617千円	7,489,721千円
1株当たり当期純利益	185,490円43銭	187,243円04銭

(注) 営業利益には、のれん及び顧客関連資産の償却額が含まれております。

のれんの償却額	3,811,241千円	3,811,241千円
顧客関連資産の償却額	5,233,360千円	5,241,252千円

(資産除去債務関係)

当社は建物所有者との間で不動産賃貸借契約を締結しており、賃借期間終了時に原状回復する義務を有しているため、契約及び法令上の資産除去債務を認識しております。

なお、当該賃貸借契約に関連する長期差入保証金(敷金)が計上されているため、資産除去債務の負債計上に代えて、当該敷金の回収が最終的に見込めないと認められる金額を合理的に見積り、そのうち当期の負担に属する金額を費用計上し、直接減額しております。

(セグメント情報等)

1. セグメント情報

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 関連情報

第33期(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)及び第34期(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(1) サービスごとの情報

サービス区分の決定方法は、損益計算書の営業収益の区分と同一であることから、サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

(2) 地域ごとの情報

営業収益

本邦の外部顧客に対する営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

(3) 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する営業収益で損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

(関連当事者情報)

1. 関連当事者との取引

(1) 親会社及び法人主要株主等

第33期(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

該当はありません。

第34期(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当はありません。

(2) 子会社及び関連会社等

第33期(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

該当はありません。

第34期(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当はありません。

## (3) 兄弟会社等

第33期(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

属性	会社等の名称	住所	資本金 又は 出資金	事業の 内容又 は職業	議決権 等の所 有(被 所有) 割合	関係内容		取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
						役員の 兼任等	事業上 の関係				
親会社 の子会社	株式会社 みずほ銀行	東京都 千代田 区	14,040 億円	銀行業	-	-	当社設定 投資信託 の販売	投資信託の 販売代行手 数料	6,470,802	未払 手数料	894,336
	みずほ証 券株式会 社	東京都 千代田 区	1,251 億円	証券業	-	-	当社設定 投資信託 の販売	投資信託の 販売代行手 数料	9,079,083	未払 手数料	1,549,208

第34期(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

属性	会社等の名称	住所	資本金 又は 出資金	事業の 内容又 は職業	議決権 等の所 有(被 所有) 割合	関係内容		取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
						役員の 兼任等	事業上 の関係				
親会社 の子会社	株式会社 みずほ銀行	東京都 千代田 区	14,040 億円	銀行業	-	-	当社設定 投資信託 の販売	投資信託の 販売代行手 数料	6,048,352	未払 手数料	915,980
								子会社株式 の取得	1,270,000	-	-
	みずほ証 券株式会 社	東京都 千代田 区	1,251 億円	証券業	-	-	当社設定 投資信託 の販売	投資信託の 販売代行手 数料	10,215,017	未払 手数料	1,670,194

## 取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注1) 投資信託の販売代行手数料は、一般的取引条件を勘案した個別契約により決定しております。
- (注2) 子会社株式の取得は、独立した第三者機関により算定された価格を基礎として協議の上、合理的に決定しております。
- (注3) 上記の取引金額には消費税等が含まれておりません。期末残高には、消費税等が含まれております。

## 2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

## (1) 親会社情報

株式会社みずほフィナンシャルグループ  
(東京証券取引所及びニューヨーク証券取引所に上場)

## (2) 重要な関連会社の要約財務諸表

該当はありません。

## (1株当たり情報)

	第33期 (自 2017年4月 1日 至 2018年3月31日)	第34期 (自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	1,667,445円37銭	1,708,727円13銭
1株当たり当期純利益金額	391,255円29銭	352,987円92銭

(注1) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(注2) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	第33期 (自 2017年4月 1日 至 2018年3月31日)	第34期 (自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日)
当期純利益金額	15,650,211千円	14,119,516千円
普通株主及び普通株主と同等の株主に帰属しない金額	-	-
普通株式及び普通株式と同等の株式に係る当期純利益金額	15,650,211千円	14,119,516千円
普通株式及び普通株式と同等の株式の期中平均株式数	40,000株	40,000株
(うち普通株式)	(24,490株)	(24,490株)
(うちA種種類株式)	(15,510株)	(15,510株)

(注1) A種種類株式は、剰余金の配当請求権及び残余財産分配請求権について普通株式と同等の権利を有しているため、1株当たり情報の算定上、普通株式に含めて計算しています。



## (1) 中間貸借対照表

(単位:千円)

	第35期中間会計期間末 (2019年9月30日現在)	
(資産の部)		
流動資産		
現金・預金		37,156,171
金銭の信託		18,742,684
有価証券		997
未収委託者報酬		11,945,046
未収運用受託報酬		3,120,602
未収投資助言報酬		332,118
未収収益		58,808
前払費用		781,218
その他		2,233,840
	流動資産計	74,371,488
固定資産		
有形固定資産		
建物	1	1,051,855
器具備品	1	311,144
無形固定資産		
ソフトウェア		3,323,996
ソフトウェア仮勘定		213,219
電話加入権		3,931
電信電話専用施設利用権		6
投資その他の資産		
投資有価証券		958,309
関係会社株式		4,499,196
長期差入保証金		1,307,197
繰延税金資産		2,036,732
その他		95,551
	固定資産計	13,801,139
	資産合計	88,172,628

(単位:千円)

	第35期中間会計期間末 (2019年9月30日現在)
(負債の部)	
流動負債	
預り金	5,192,317
未払金	5,043,713
未払収益分配金	1,047
未払償還金	48,441
未払手数料	4,707,236
その他未払金	286,987
未払費用	6,512,990
未払法人税等	3,526,134
未払消費税等	516,610
前受収益	40,684
賞与引当金	1,281,617
役員賞与引当金	34,112
流動負債計	22,148,179
固定負債	
退職給付引当金	1,993,829
時効後支払損引当金	169,869
固定負債計	2,163,698
負債合計	24,311,878
(純資産の部)	
株主資本	
資本金	2,000,000
資本剰余金	19,552,957
資本準備金	2,428,478
その他資本剰余金	17,124,479
利益剰余金	41,866,681
利益準備金	123,293
その他利益剰余金	41,743,387
別途積立金	31,680,000
繰越利益剰余金	10,063,387
株主資本計	63,419,638
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	441,111
評価・換算差額等計	441,111
純資産合計	63,860,750
負債・純資産合計	88,172,628

## (2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	第35期中間会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	
営業収益		
委託者報酬	42,425,693	
運用受託報酬	7,240,514	
投資助言報酬	601,626	
その他営業収益	57,443	
	営業収益計	50,325,278
営業費用		
支払手数料	17,730,384	
広告宣伝費	125,471	
公告費	125	
調査費	12,182,415	
調査費	4,742,559	
委託調査費	7,439,855	
委託計算費	421,559	
営業雑経費	538,430	
通信費	22,517	
印刷費	410,573	
協会費	34,596	
諸会費	16,711	
支払販売手数料	54,031	
	営業費用計	30,998,386
一般管理費		
給料	4,829,571	
役員報酬	87,372	
給料・手当	4,615,868	
賞与	126,330	
交際費	17,168	
寄付金	6,499	
旅費交通費	165,035	
租税公課	291,415	
不動産賃借料	749,406	
退職給付費用	254,598	
固定資産減価償却費	1 345,421	
福利厚生費	21,538	
修繕費	1,263	
賞与引当金繰入額	1,281,617	
役員賞与引当金繰入額	34,112	
機器リース料	138	
事務委託費	1,700,671	
事務用消耗品費	50,852	
器具備品費	490	
諸経費	100,495	
	一般管理費計	9,850,295
営業利益		9,476,595

(単位:千円)

	第35期中間会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	
営業外収益		
受取利息	1,075	
受取配当金	11,185	
時効成立分配金・償還金	608	
時効後支払損引当金戻入額	7,743	
投資信託償還益	2,466	
受取負担金	287,268	
雑収入	2,670	
	営業外収益計	313,018
営業外費用		
為替差損	9,702	
投資信託償還損	1	
金銭の信託運用損	18,907	
雑損失	104	
	営業外費用計	28,716
経常利益		9,760,897
特別利益		
投資有価証券売却益	634,060	
	特別利益計	634,060
特別損失		
固定資産除却損	7,444	
	特別損失計	7,444
税引前中間純利益		10,387,514
法人税、住民税及び事業税		3,299,452
法人税等調整額		109,246
法人税等合計		3,190,205
中間純利益		7,197,308

## (3) 中間株主資本等変動計算書

第35期中間会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金	
						別途 積立金	繰越利益 剰余金
当期首残高	2,000,000	2,428,478	17,124,479	19,552,957	123,293	31,680,000	14,146,079
当中間期変動額							
剰余金の配当							11,280,000
中間純利益							7,197,308
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)							
当中間期変動額 合計	-	-	-	-	-	-	4,082,691
当中間期末残高	2,000,000	2,428,478	17,124,479	19,552,957	123,293	31,680,000	10,063,387

	株主資本		評価・換算差額等		純資産 合計
	利益剰余金	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
	利益剰余金 合計				
当期首残高	45,949,372	67,502,329	846,755	846,755	68,349,085
当中間期変動額					
剰余金の配当	11,280,000	11,280,000			11,280,000
中間純利益	7,197,308	7,197,308			7,197,308
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)			405,643	405,643	405,643
当中間期変動額 合計	4,082,691	4,082,691	405,643	405,643	4,488,335
当中間期末残高	41,866,681	63,419,638	441,111	441,111	63,860,750

## 重要な会計方針

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>(1) 子会社株式及び関連会社株式 ：移動平均法による原価法</p> <p>(2) その他有価証券 時価のあるもの：中間決算日の市場価格等に基づく時価法 （評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定） 時価のないもの：移動平均法による原価法</p>
2. 金銭の信託の評価基準及び評価方法	時価法
3. 固定資産の減価償却の方法	<p>(1) 有形固定資産 定率法を採用しております。 ただし、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備については、定額法を採用しております。 なお、主な耐用年数は次のとおりであります。 建物 … 6～18年 器具備品 … 2～20年</p> <p>(2) 無形固定資産 定額法を採用しております。 なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。</p>
4. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準	外貨建金銭債権債務は、中間決算日の直物等為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。
5. 引当金の計上基準	<p>(1) 賞与引当金は、従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、将来の支給見込額に基づき当中間会計期間に見合う分を計上しております。</p> <p>(2) 役員賞与引当金は、役員に対して支給する賞与の支出に充てるため、将来の支給見込額に基づき当中間会計期間に見合う分を計上しております。</p> <p>(3) 退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、退職一時金制度について、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき当中間会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。 退職給付見込額の期間帰属方法 退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当中間会計期間末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法 過去勤務費用については、その発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（5年）による定額法により按分した額を費用処理しております。 数理計算上の差異については、各事業年度の発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（5年または10年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生の日翌事業年度から費用処理しております。</p> <p>(4) 時効後支払損引当金は、時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。</p>
6. 消費税等の会計処理	消費税及び地方消費税の会計処理は税抜き方式によっております。

## 注記事項

## （中間貸借対照表関係）

項目	第35期中間会計期間末 （2019年9月30日現在）	
1.有形固定資産の減価償却累計額	建物	274,959千円
	器具備品	965,214千円

## （中間損益計算書関係）

項目	第35期中間会計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	
1.減価償却実施額	有形固定資産	97,348千円
	無形固定資産	248,073千円

## （中間株主資本等変動計算書関係）

第35期中間会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

## 1.発行済株式の種類及び総数に関する事項

発行済株式の種類	当事業年度期首 株式数（株）	当中間会計期間 増加株式数（株）	当中間会計期間 減少株式数（株）	当中間会計期間末 株式数（株）
普通株式	24,490	-	-	24,490
A種種類株式	15,510	-	-	15,510
合計	40,000	-	-	40,000

## 2.配当に関する事項

## （1）配当金支払額

決議	株式の 種類	配当金の 総額 （千円）	1株当たり 配当額 （円）	基準日	効力発生日
2019年6月20日 定時株主総会	普通株式	11,280,000	282,000	2019年3月31日	2019年6月21日
	A種種類 株式				

（2）基準日が当中間会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間会計期間後となるもの  
該当事項はありません。

## (金融商品関係)

第35期中間会計期間末(2019年9月30日現在)

## 金融商品の時価等に関する事項

2019年9月30日における中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは含まれておりません(注2)参照)。

	中間貸借対照表計上額 (千円)	時価 (千円)	差額 (千円)
(1) 現金・預金	37,156,171	37,156,171	-
(2) 金銭の信託	18,742,684	18,742,684	-
(3) 未収委託者報酬	11,945,046	11,945,046	-
(4) 未収運用受託報酬	3,120,602	3,120,602	-
(5) 有価証券及び投資有価証券 その他有価証券	699,937	699,937	-
資産計	71,664,441	71,664,441	-
(1) 未払手数料	4,707,236	4,707,236	-
負債計	4,707,236	4,707,236	-

## (注1) 金融商品の時価の算定方法

資 産

## (1) 現金・預金

これは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

## (2) 金銭の信託

有価証券運用を主目的とする単独運用の金銭の信託において信託財産として運用されている有価証券について、投資信託は基準価額によっております。また、デリバティブ取引は取引相手先金融機関より提示された価格によっております。

## (3) 未収委託者報酬及び(4) 未収運用受託報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

## (5) 有価証券及び投資有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格によっており、投資信託は基準価額によっております。



## 負債

## (1) 未払手数料

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

## (注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

区分	中間貸借対照表計上額 (千円)
非上場株式	259,369
関係会社株式	4,499,196

非上場株式は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(5) 有価証券及び投資有価証券 その他有価証券」には含めておりません。

関係会社株式は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

## (有価証券関係)

第35期中間会計期間末

(2019年9月30日現在)

## 1. 子会社株式

関係会社株式(中間貸借対照表計上額4,499,196千円)は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。

## 2. その他有価証券

区分	中間貸借対照表 計上額(千円)	取得原価 (千円)	差額 (千円)
中間貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの			
株式	691,010	58,146	632,863
投資信託	5,937	3,000	2,937
小計	696,947	61,146	635,800
中間貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの			
株式	-	-	-
投資信託	2,990	3,000	9
小計	2,990	3,000	9
合計	699,937	64,146	635,791

(注) 非上場株式(中間貸借対照表計上額259,369千円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

## （企業結合等関係）

当社（以下「AMOne」という）は、2016年7月13日付で締結した、DIAMアセットマネジメント株式会社（以下「DIAM」という）、みずほ投信投資顧問株式会社（以下「MHAM」という）、みずほ信託銀行株式会社（以下「TB」という）及び新光投信株式会社（以下「新光投信」という）（以下総称して「統合4社」という）間の「統合契約書」に基づき、2016年10月1日付で統合いたしました。

## 1. 結合当事企業

結合当事企業	DIAM	MHAM	TB	新光投信
事業の内容	投資運用業務、投資助言・代理業務	投資運用業務、投資助言・代理業務	信託業務、銀行業務、投資運用業務	投資運用業務、投資助言・代理業務

## 2. 企業結合日

2016年10月1日

## 3. 企業結合の方法

MHAMを吸収合併存続会社、新光投信を吸収合併消滅会社とする吸収合併、TBを吸収分割会社、吸収合併後のMHAMを吸収分割承継会社とし、同社がTB資産運用部門に係る権利義務を承継する吸収分割、DIAMを吸収合併存続会社、MHAMを吸収合併消滅会社とする吸収合併の順に実施しております。

## 4. 結合後企業の名称

アセットマネジメントOne株式会社

## 5. 企業結合の主な目的

当社は、株式会社みずほフィナンシャルグループ（以下「MHFG」という）及び第一生命ホールディングス株式会社（以下「第一生命」という）の資産運用ビジネス強化・発展に対する強力なコミットメントのもと、統合4社が長年にわたって培ってきた資産運用に係わる英知を結集し、MHFGと第一生命両社グループとの連携も最大限活用して、お客さまに最高水準のソリューションを提供するグローバルな運用会社としての飛躍を目指してまいります。

## 6. 合併比率

「3. 企業結合の方法」の吸収合併における合併比率は以下の通りであります。

会社名	DIAM (存続会社)	MHAM (消滅会社)
合併比率(*)	1	0.0154

(\*) 普通株式と種類株式を合算して算定しております。

## 7. 交付した株式数

「3. 企業結合の方法」の吸収合併において、DIAMは、MHAMの親会社であるMHFGに対して、その所有するMHAMの普通株式103万8,408株につき、DIAMの普通株式490株及び議決権を有しないIA種種類株式15,510株を交付しました。

## 8. 経済的持分比率（議決権比率）

MHFGが企業結合直前に所有していた当社に対する経済的持分比率 50.00%

MHFGが企業結合日に追加取得した当社に対する経済的持分比率 20.00%

MHFGの追加取得後の当社に対する経済的持分比率 70.00%

なお、MHFGが所有する議決権比率については50.00%から51.00%に異動しております。

## 9. 取得企業を決定するに至った主な根拠

「3. 企業結合の方法」の吸収合併において、法的に消滅会社となるMHAMの親会社であるMHFGが、結合後企業の議決権の過半数を保有することになるため、企業結合の会計上はMHAMが取得企業に該当し、DIAMが被取得企業となるものです。

## 10. 会計処理

「企業結合に関する会計基準」(企業結合会計基準第21号 平成25年9月13日公表分)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日公表分)に基づき、「3. 企業結合の方法」の吸収合併及びの吸収分割については共通支配下の取引として処理し、の吸収合併については逆取得として処理しております。

## 11. 被取得企業に対してパーチェス法を適用した場合に関する事項

## (1) 中間財務諸表に含まれる被取得企業の業績の期間

2019年4月1日から2019年9月30日まで

## (2) 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価 MHAMの普通株式 144,212,500千円

取得原価 144,212,500千円

## (3) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

a. 発生したのれん金額 76,224,837千円

b. 発生原因 被取得企業から受け入れた資産及び引き受けた負債の純額と取得原価との差額によります。

c. のれんの償却方法及び償却期間 20年間の均等償却

## (4) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

a. 資産の額 資産合計 40,451,657千円

うち現金・預金 11,605,537千円

うち金銭の信託 11,792,364千円

b. 負債の額 負債合計 9,256,209千円

うち未払手数料及び未払費用 4,539,592千円

(注) 顧客関連資産に配分された金額及びそれに係る繰延税金負債は、資産の額及び負債の額には含まれておりません。

## (5) のれん以外の無形固定資産に配分された金額及び主要な種類別の内訳並びに全体及び主要な種類別の加重平均償却期間

a. 無形固定資産に配分された金額 53,030,000千円

## b. 主要な種類別の内訳

顧客関連資産 53,030,000千円

## c. 全体及び主要な種類別の加重平均償却期間

顧客関連資産 16.9年

## 12. 被取得企業に対してパーチェス法を適用した場合の差額

## (1) 貸借対照表項目

流動資産	- 千円
固定資産	99,557,407千円
資産合計	99,557,407千円
流動負債	- 千円
固定負債	9,515,195千円
負債合計	9,515,195千円
純資産	90,042,211千円

(注) 固定資産及び資産合計には、のれんの金額64,791,112千円及び顧客関連資産の金額37,384,808千円が含まれております。

## (2) 損益計算書項目

営業収益	- 千円
営業利益	4,477,219千円
経常利益	4,477,219千円
税引前中間純利益	4,551,164千円
中間純利益	3,763,741千円
1株当たり中間純利益	94,093円53銭

(注) 営業利益には、のれんの償却額1,905,620千円及び顧客関連資産の償却額2,574,777千円が含まれております。

## (資産除去債務関係)

当社は建物所有者との間で不動産賃貸借契約を締結しており、賃借期間終了時に原状回復する義務を有しているため、契約及び法令上の資産除去債務を認識しております。

なお、当該賃貸借契約に関連する長期差入保証金(敷金)が計上されているため、資産除去債務の負債計上に代えて、当該敷金の回収が最終的に見込めないと認められる金額を合理的に見積り、そのうち当期の負担に属する金額を費用計上し、直接減額しております。

(セグメント情報等)

第35期中間会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1.セグメント情報

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2.関連情報

(1)サービスごとの情報

サービス区分の決定方法は、損益計算書の営業収益の区分と同一であることから、サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

(2)地域ごとの情報

営業収益

本邦の外部顧客に対する営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

(3)主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する営業収益で損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

第35期中間会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	
1株当たり純資産額	1,596,518円75銭
1株当たり中間純利益金額	179,932円71銭

(注)潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

1株当たり中間純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	第35期中間会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
中間純利益金額	7,197,308千円
普通株主及び普通株主と同等の株主に帰属しない金額	-
普通株式及び普通株式と同等の株式に係る中間純利益金額	7,197,308千円
普通株式及び普通株式と同等の株式の期中平均株式数	40,000株
(うち普通株式)	(24,490株)
(うちA種種類株式)	(15,510株)

(注) A種種類株式は、剰余金の配当請求権及び残余財産分配請求権について普通株式と同等の権利を有しているため、1株当たり情報の算定上、普通株式に含めて計算しています。

#### 4【利害関係人との取引制限】

委託会社は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

- (1) 自己またはその取締役もしくは執行役との間における取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)
- (2) 運用財産相互間において取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)
- (3) 通常取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等(委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下(4)(5)において同じ。)または子法人等(委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。)と有価証券の売買その他の取引または店頭デリバティブ取引を行うこと。
- (4) 委託会社の親法人等または子法人等の利益を図るため、その行う投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額もしくは市場の状況に照らして不必要な取引を行うことを内容とした運用を行うこと。
- (5) 上記(3)(4)に掲げるもののほか、委託会社の親法人等または子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。

#### 5【その他】

(1) 定款の変更、事業譲渡又は事業譲受、出資の状況その他の重要事項  
該当事項はありません。

(2) 訴訟事件その他の重要事項

委託会社およびファンドに重要な影響を与えた事実、または与えると予想される事実はありません。

## 第2【その他の関係法人の概況】

## 1【名称、資本金の額及び事業の内容】

## (1) 三井住友信託銀行株式会社(「受託者」)

## a. 資本金の額

2019年3月末日現在、342,037百万円

## b. 事業の内容

日本において銀行業務および信託業務を営んでいます。

## (2) 販売会社

販売会社の名称、資本金の額および事業内容は以下の通りです。

名称	資本金の額 (単位:百万円)	事業の内容
株式会社SBI証券(1)	48,323	「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでおります。
みずほ証券株式会社(2)	125,167	「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでおります。
大山日ノ丸証券株式会社	215	「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでおります。
楽天証券株式会社(1)	7,495	「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでおります。
東海東京証券株式会社(3)	6,000	「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでおります。

(注) 資本金の額は2019年3月末日現在

- (1) 「マネープールファンド」の取扱いはありません。
- (2) 「メキシコペソコース」、「トルコリラコース」の新規の取得のお申込みのお取扱いを行っていません。
- (3) 「米ドルコース」、「豪ドルコース」、「メキシコペソコース」、「マネープールファンド」の取扱いはありません。

## 2【関係業務の概要】

「受託者」は以下の業務を行います。

- (1) 委託者の指図に基づく投資信託財産の保管、管理
- (2) 投資信託財産の計算
- (3) その他上記業務に付随する一切の業務

「販売会社」は以下の業務を行います。

- (1) 募集・販売の取り扱い
- (2) 受益者に対する一部解約事務
- (3) 受益者に対する一部解約金、収益分配金および償還金の支払い
- (4) 受益者に対する収益分配金の再投資
- (5) 受益権の取得申込者に対する目論見書の交付
- (6) 受益者に対する運用報告書の交付
- (7) 所得税および地方税の源泉徴収
- (8) その他上記業務に付随する一切の業務



### 3【資本関係】

該当事項はありません。

持株比率5%以上を記載します。

### 第3【参考情報】

ファンドについては、当計算期間において以下の書類が提出されております。

書類名	提出年月日
臨時報告書	2019年10月 9日
有価証券届出書	2019年12月25日
有価証券報告書	2019年12月25日
臨時報告書	2020年 1月16日

## 独立監査人の監査報告書

2019年5月30日

アセットマネジメントOne株式会社  
取締役会 御中

## EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 湯原 尚 印指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 山野 浩 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているアセットマネジメントOne株式会社の2018年4月1日から2019年3月31日までの第34期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

## 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、アセットマネジメントOne株式会社の2019年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注1) 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

(注2) XBR Lデータは監査の対象には含まれておりません。

## 独立監査人の監査報告書

令和2年5月8日

アセットマネジメントOne株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 長谷川 敬 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている新光グローバル・ハイイールド債券ファンド米ドルコースの令和1年9月26日から令和2年3月25日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

## 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、新光グローバル・ハイイールド債券ファンド米ドルコースの令和2年3月25日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 利害関係

アセットマネジメントOne株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注1) 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

(注2) XBR Lデータは監査の対象には含まれておりません。

## 独立監査人の監査報告書

令和2年5月8日

アセットマネジメントOne株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 長谷川 敬 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている新光グローバル・ハイイールド債券ファンド豪ドルコースの令和1年9月26日から令和2年3月25日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

## 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、新光グローバル・ハイイールド債券ファンド豪ドルコースの令和2年3月25日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 利害関係

アセットマネジメントOne株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注1) 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

(注2) XBR Lデータは監査の対象には含まれておりません。

## 独立監査人の監査報告書

令和2年5月8日

アセットマネジメントOne株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 長谷川 敬 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている新光グローバル・ハイイールド債券ファンドブラジルリアルコースの令和1年9月26日から令和2年3月25日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

### 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、新光グローバル・ハイイールド債券ファンドブラジルリアルコースの令和2年3月25日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 利害関係

アセットマネジメントOne株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注1) 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

(注2) XBR Lデータは監査の対象には含まれておりません。

## 独立監査人の監査報告書

令和2年5月8日

アセットマネジメントOne株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 長谷川 敬 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている新光グローバル・ハイイールド債券ファンドメキシコペソコースの令和1年9月26日から令和2年3月25日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

## 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、新光グローバル・ハイイールド債券ファンドメキシコペソコースの令和2年3月25日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 利害関係

アセットマネジメントOne株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注1) 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

(注2) XBR Lデータは監査の対象には含まれておりません。

## 独立監査人の監査報告書

令和2年5月8日

アセットマネジメントOne株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 長谷川 敬 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている新光グローバル・ハイイールド債券ファンドトルコリラコースの令和1年9月26日から令和2年3月25日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

### 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、新光グローバル・ハイイールド債券ファンドトルコリラコースの令和2年3月25日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 利害関係

アセットマネジメントOne株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注1) 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

(注2) XBR Lデータは監査の対象には含まれておりません。

## 独立監査人の監査報告書

令和2年5月8日

アセットマネジメントOne株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 長谷川 敬 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている新光グローバル・ハイイールド債券ファンドマネーブルファンドの令和1年9月26日から令和2年3月25日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

### 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、新光グローバル・ハイイールド債券ファンドマネーブルファンドの令和2年3月25日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 利害関係

アセットマネジメントOne株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注1）上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

（注2）XBRLデータは監査の対象には含まれておりません。



## 独立監査人の中間監査報告書

2019年11月28日

アセットマネジメントOne株式会社  
取締役会 御中

### EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	山野 浩 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	長谷川 敬 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているアセットマネジメントOne株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの第35期事業年度の中間会計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

#### 中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、アセットマネジメントOne株式会社の2019年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注1) 上記は中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

(注2) XBR Lデータは中間監査の対象には含まれておりません。